

平成20年度（2008年度）
岐阜大学大学院連合農学研究科
自己点検・評価報告書

「岐阜大学大学院連合農学研究科の
教育と研究の現状について」に関する
アンケート調査結果

平成21年2月

静岡大学・岐阜大学・信州大学

まえがき

岐阜大学大学院連合農学研究科は平成3年4月に発足し、平成20年3月で17年経過した。この間、平成8年度、平成11年度と平成12年度に自己点検・評価、平成13年度に外部評価を行って、それらの結果をもとに教育と研究の充実のための様々な取り組みを行ってきた。平成17年度は、修了生へのアンケート調査を行い、教育と研究の現状把握につとめ、改善を図っている。この度、教育・研究のより一層の充実を求めて平成20年5月から6月にかけて、修了生、修了生の勤務先、そして在校生へのアンケート調査を行った。本報告書はこれらのアンケート調査結果をまとめたものである。

就職先へのアンケート結果によると、就職先での本研究科の教育方法および出身者の評価はいずれも高く、各々、81%、86%を得ており、総合評価では不明の15%を除いた全員が高い評価を行っている。そして、今後も採用すると答えた回答が86%を占めた。したがって、改善努力を継続すれば修了生は間違いなく就職できると判断している。博士課程の修了者に対する能力としての重要度は、専門能力、問題解決能力、研究開発能力の順に考える職場がほとんどである。そして、その重要度に対する本研究科修了生の能力は74－78%の間で満足しており、さらに、即戦力、基礎力、素養、順応性、協調性という項目では100%以上の満足度である。一方、創造力、広い視野、国際性という項目では49－64%の満足度でこれらの項目の向上が課題である。したがって、基本的にはこれまでの教育方針、教育体制で進め、さらに、創造力、広い視野、国際性という項目の向上を図ることが大切であることがわかった。

修了生に対しては平成17年度と同じ設問のアンケート調査を行った。それらの結果を比較すると、全体的には修了生の受けた教育に対する評価は高いが、第1副指導教員と第2副指導教員の指導方法、指導体制の改善がいまだ途中であることがわかった。カリキュラムについては、修了生および在学生の両方から非常に評価の高い合宿形式のゼミナールを維持し、より教育と研究の関連性を明確にし、充実した研究支援を行うことが要求されている。

上記のほかにもたくさんの貴重なご意見やご提案をいただくことができた。これらを基に一層の改善と改革に臨みたいと考えている。

末筆ながら、ご多忙中にもかかわらずアンケート調査にご協力をいただいた関係各位と取りまとめの労をとられた教育支援スタッフにお礼申し上げる。

平成21年2月

連合農学研究科長
高見澤一裕

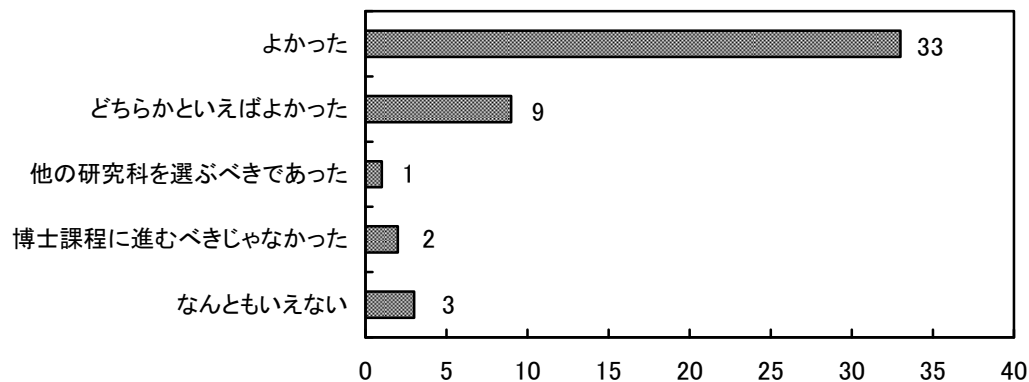
目 次

1. 在学生へのアンケート【集計】.....	1
2. 就職先へのアンケート【集計】.....	31
3. 修了生へのアンケート【全集計版】.....	43
修了生へのアンケート【日本人版】.....	59
修了生へのアンケート【留学生版】.....	83
4. 入学生数、退学者数【まとめ】.....	103

在学生へのアンケート【集計】

1. 連合農学研究科に入学したことをどのように考えていますか？

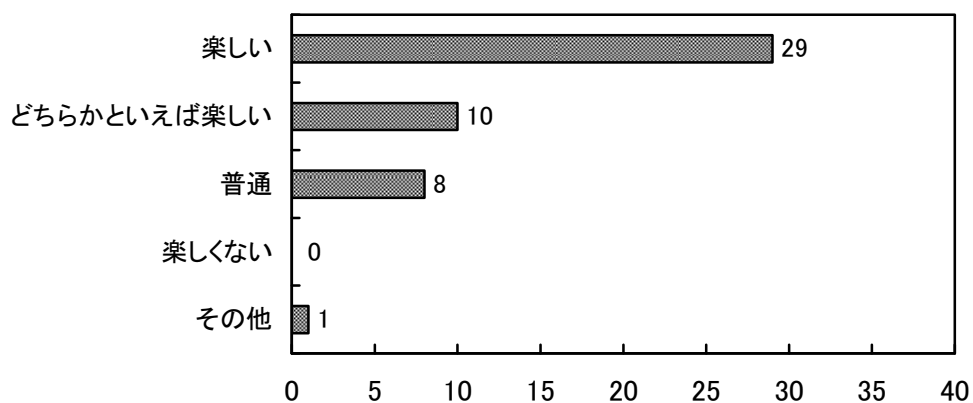
よかった	どちらかといえばよかった	他の研究科を選ぶべきであった	博士課程に進むべきじゃなかった	なんともいえない
33	9	1	2	3
69%	19%	2%	4%	6%



2. 博士論文のテーマについて

(1) 現在のテーマを研究していて楽しいですか？

楽しい	どちらかといえば楽しい	普通	楽しくない	その他
29	10	8	0	1
60%	21%	7%	0%	2%



その他の概要：

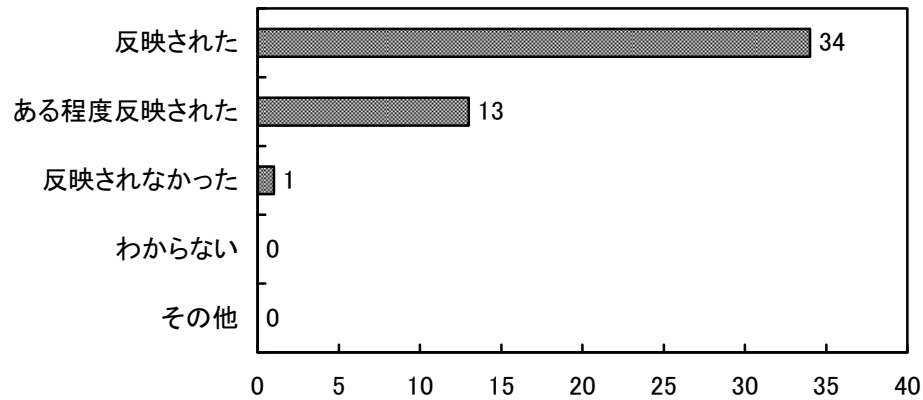
* “interesting”の意味で楽しいが、社会人との両立が大変で少し後悔しています。

なぜ楽しくない？：

* 博士課程での研究について仕事として捉えており、楽しいかどうかは特に考えていない。

(2) テーマを決めたとき、自分の考えが反映されましたか？

反映された	ある程度反映された	反映されなかった	わからない	その他
34	13	1	0	0
71%	27%	2%	0%	0%

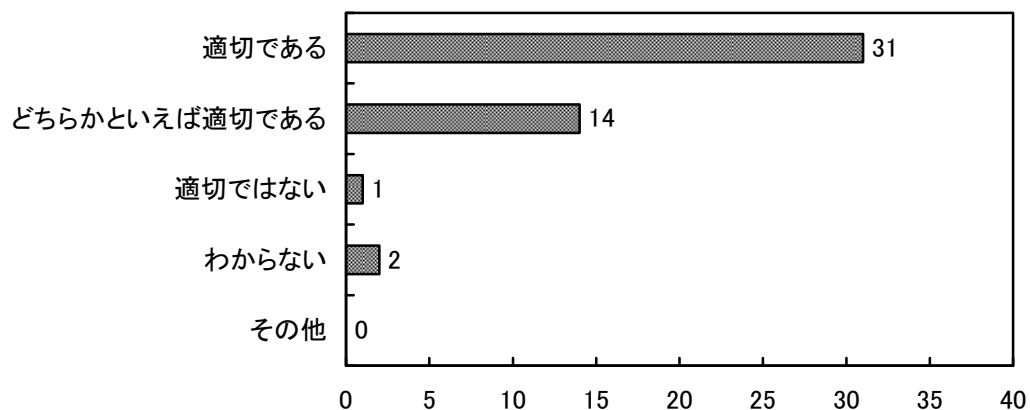


[反映されなかった]理由と改善策:

- * 後々、自分の考えを交えた実験を取り入れるようにする

3. あなたが判断して、現在のテーマはあなたに適切でしょうか？

適切である	どちらかといえば適切である	適切ではない	わからない	その他
31	14	1	2	0
65%	29%	2%	4%	0%

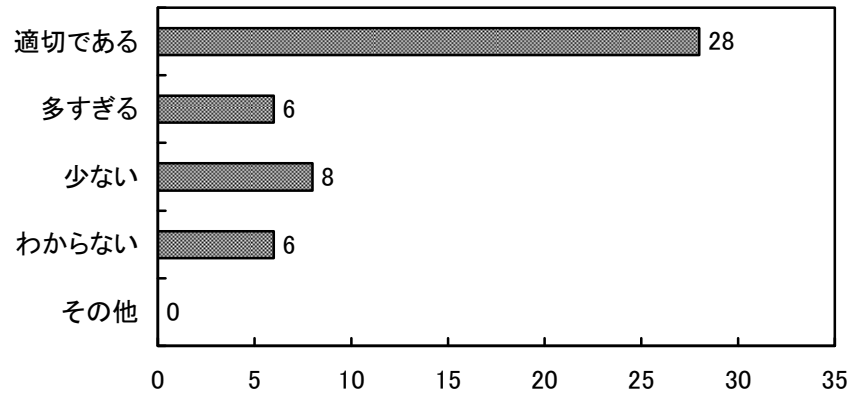


[適切ではない]理由と改善方法:

- * 選択の余地がなかった。

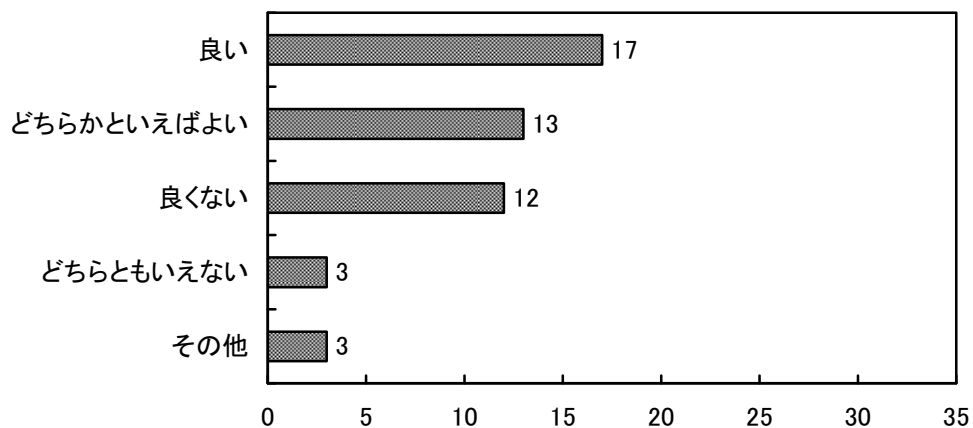
4. 所属する研究室について
(1) 在籍学生数について

適切である	多すぎる	少ない	わからない	その他
28	6	8	6	0
57%	13%	17%	13%	0%



(2) 研究室の面積について

良い	どちらかといえばよい	良くない	どちらともいえない	その他
17	13	12	3	3
36%	27%	25%	6%	6%

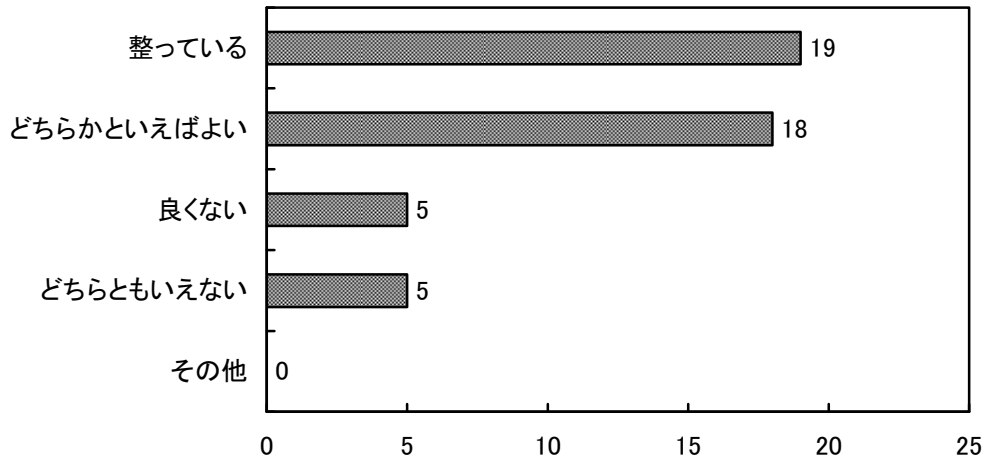


その他の概要:

- * 実験室が狭い
- * 外部研究機関に在籍しているため不明
- * 他の研究室、学部生、修士学生と大部屋をシェアしており、研究内容、研究に対するモチベーションなどに統一がとれず、部屋の環境が研究の妨げとなっている

(3) 研究設備について

整っている	どちらかといえばよい	良くない	どちらともいえない	その他
19	18	5	5	0
40%	38%	11%	11%	0%



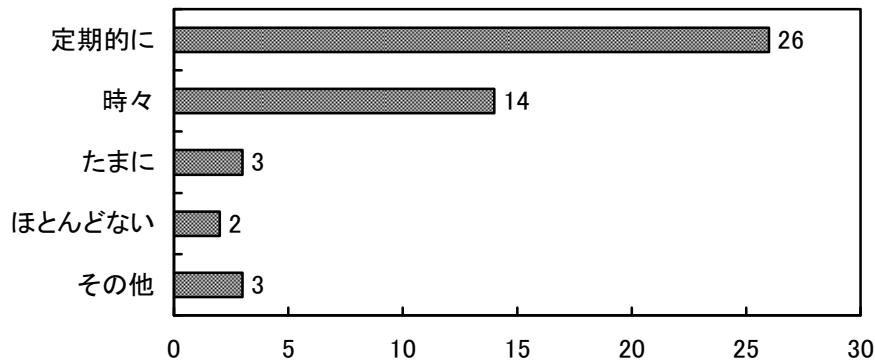
所属する研究室について改善策など:

- * ふつうの事務机ぐらいの大きさの机にしてほしいです。今は、少し狭すぎて、窮屈です。でも、研究室自体が狭すぎるので、難しい話だと思って、あきらめています。
- * お金があれば、ある程度は改善できる。当たり前か
- * 資金が少ないため仕方ないと思うが、企業の研究所に比べて施設が古い
- * 制度改革上仕方ないことかもしれないが、教授と准教で器具類を分けると効率が悪い。
- * もう少し部屋があると有難いです。
- * 博士学生、修士学生、学部生で研究に対するモチベーションが異なるので、部屋を分けるべきである。研究モチベーションが高ければ分野が違えどインターディシプリンのなディスカッションができるはずである。それが難しい場合はせめて研究室ごとで部屋を持つべきである。
- * Cooperation between students in the same laboratory is becoming a very important matter, especially for foreign students. It's because the incapability in reading kanji. Anyway, so far in my laboratory, everything is going smoothly.
- * If there are more facilities and equipment, it will be better for research.
- * If there is a manual of instrument in English, it will be better.

5. 教員の指導について

(1) 主指導教員からの指導を受ける頻度について

定期的に	時々	たまに	ほとんどない	その他
26	14	3	2	3
55%	29%	6%	4%	6%

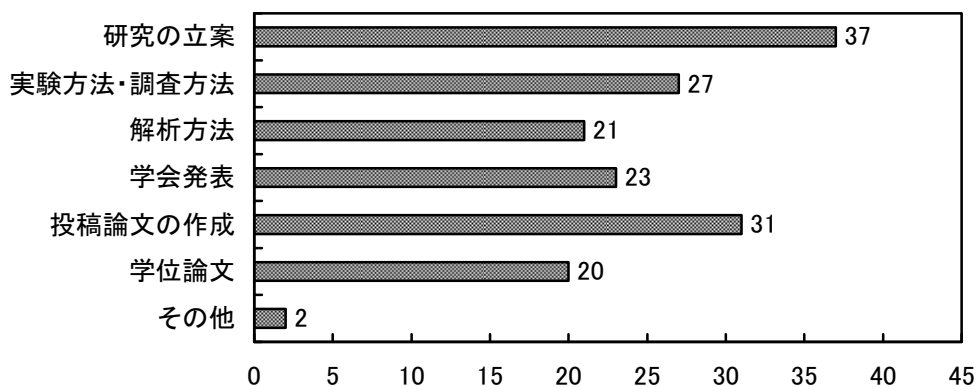


その他の概要:

- * 自主的に話を伺いにむかっている
- * I can consult with him whenever I have problems or questions

(2) 主指導教員から受ける指導の分野について

研究の立案	実験方法・調査方法	解析方法	学会発表	投稿論文の作成	学位論文	その他
37	27	21	23	31	20	2
24%	17%	13%	14%	19%	12%	1%

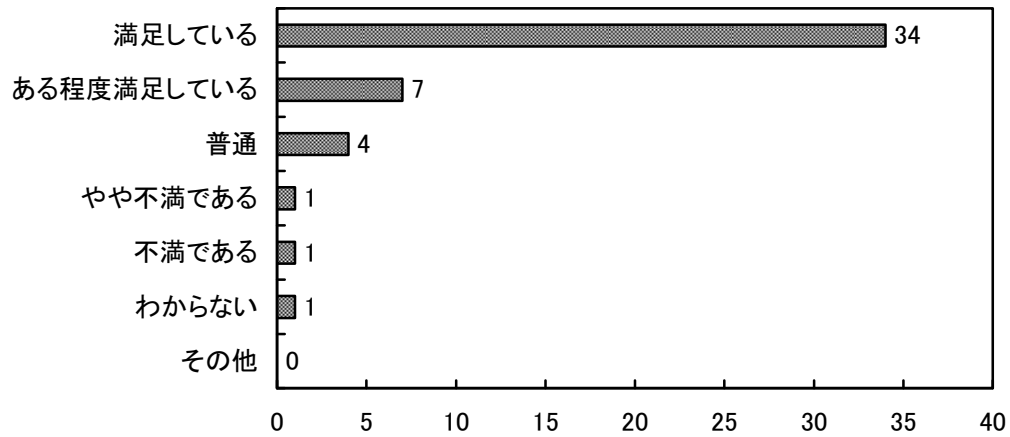


その他の概要:

- * その他研究機関との共同研究に関して
- * a～fのどっちについてもちゃんとした指導を受けています。

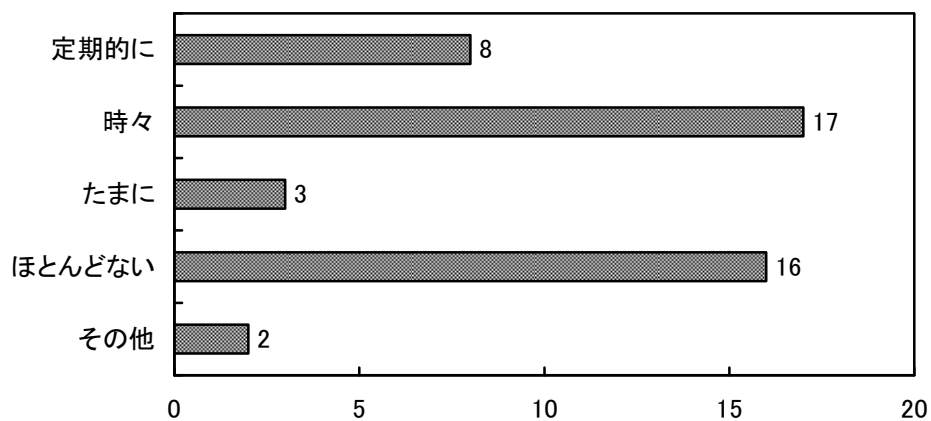
(3) 主指導教員の指導について

満足している	ある程度満足している	普通	やや不満である	不満である	わからない	その他
34	7	4	1	1	1	0
71%	15%	8%	2%	2%	2%	0%



(4) 第1副指導教員からの指導を受ける頻度について

定期的に	時々	たまに	ほとんどない	その他
8	17	3	16	2
17%	37%	7%	35%	4%

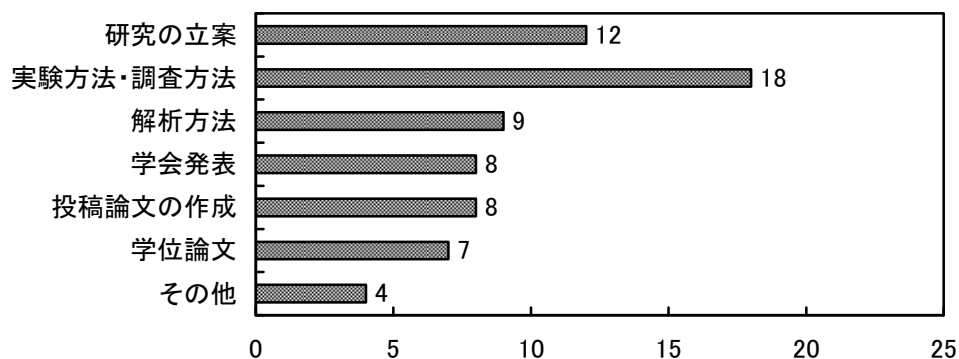


その他の概要:

- * まだ指導を受けたことがない
- * 現在、特に指導を受けていない
- * Whenever I need to get it

(5) 第1副指導教員から受ける指導の分野について

研究の立案	実験方法・調査方法	解析方法	学会発表	投稿論文の作成	学位論文	その他
12	18	9	8	8	7	4
18%	27%	14%	12%	12%	11%	6%

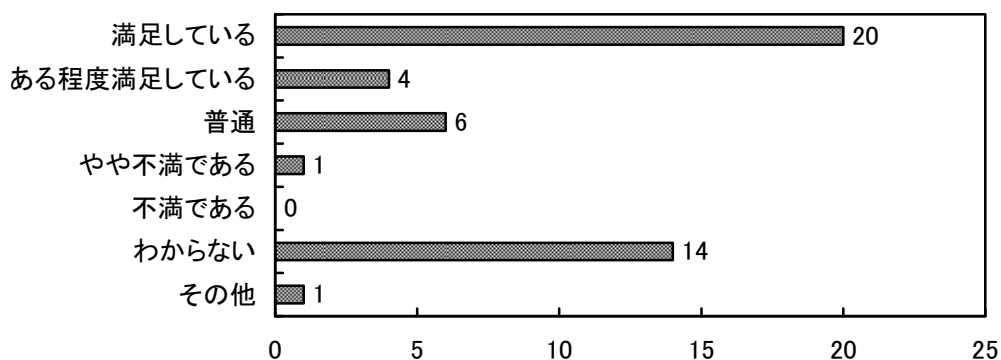


その他の概要:

- * 中間発表に立ち会って、アドバイスをいただく程度？とりわけて予定していません。
- * F(学位論文)の審査？
- * special comments or experiments suggested by him

(6) 第1副指導教員の指導について

満足している	ある程度満足している	普通	やや不満である	不満である	わからない	その他
20	4	6	1	0	14	1
44%	9%	13%	2%	0%	30%	2%

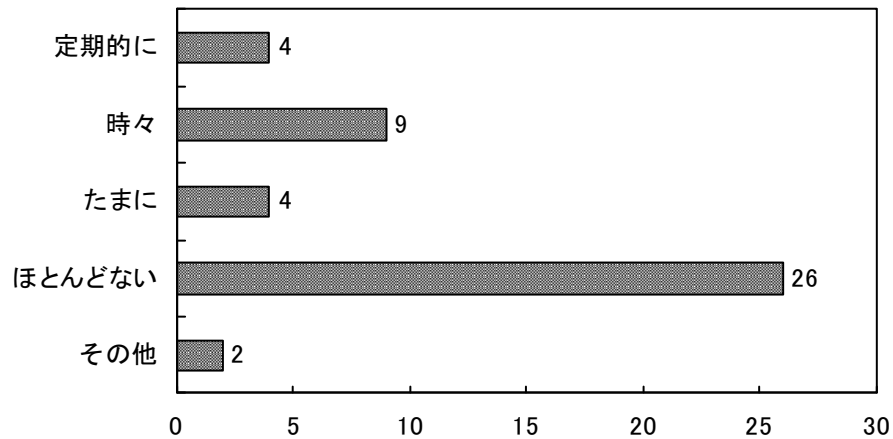


その他の概要:

- * まだ指導を受けたことがない
- * そのようなものだとして理解しているので、特に何も思いません。
- * 全くない; 副指導教員というのがどのようなシステムなのかよく知らない。副指導教員として登録した教官から、研究に関して何らかの指導を受けたことはない。学位論文の審査員として以外に何か役割があるのか？

(7) 第2副指導教員からの指導を受ける頻度について

定期的に	時々	たまに	ほとんどない	その他
4	9	4	26	2
9%	20%	9%	58%	4%

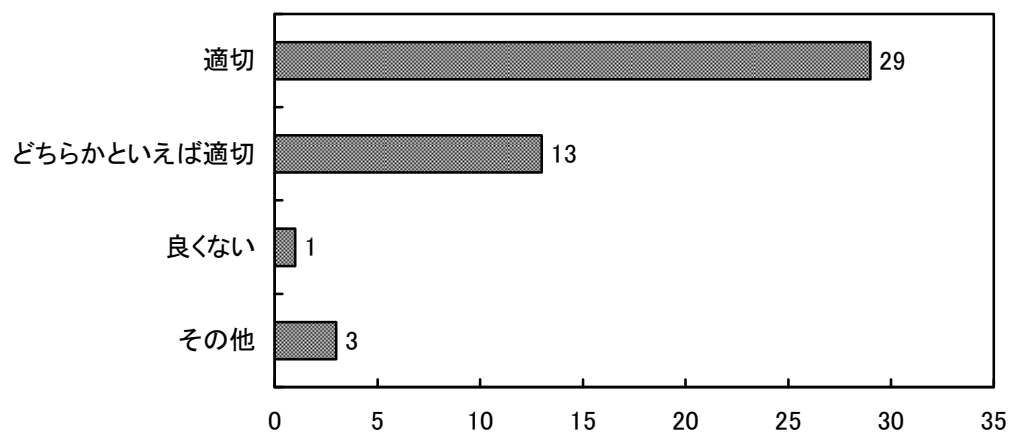


その他の概要:

- * まだ指導を受けたことがない

(8) 全般的な研究指導方法や内容について

適切である	どちらかといえば適切である	良くない	その他
29	13	1	3
63%	28%	2%	7%



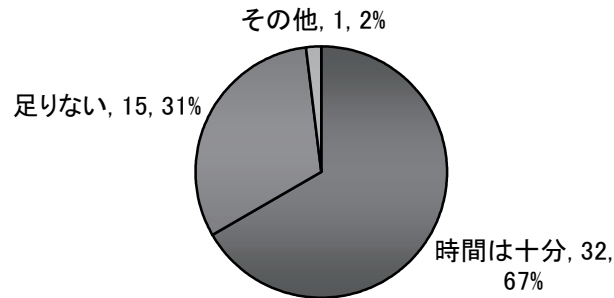
その他の概要:

- * 主・副指導教員という制度は機能していないと思う

6. あなたの研究について

(1) 研究時間

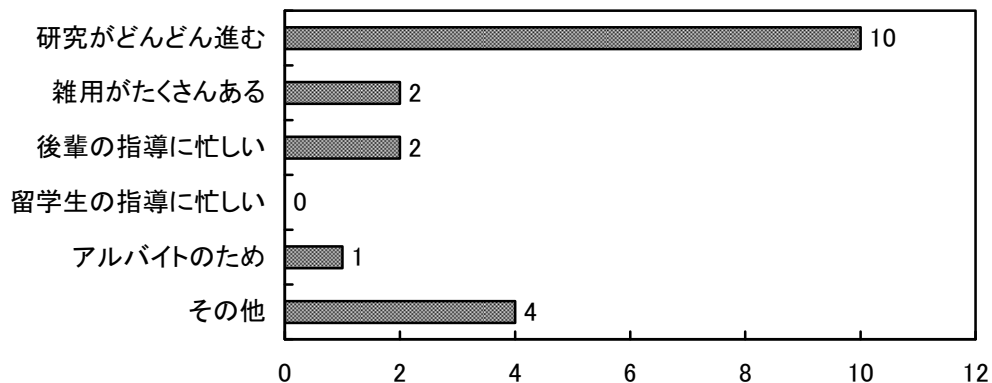
時間は十分にある	足りない	その他
32	15	1
67%	31%	2%



時間が足りないと回答された方へお尋ねします

・何故時間が足りないのですか？

研究がどんどん進む	雑用をたくさん任される	後輩の指導に忙しい	留学生の指導に忙しい	アルバイトのため	その他
10	2	2	0	1	4
52%	11%	11%	0%	5%	21%



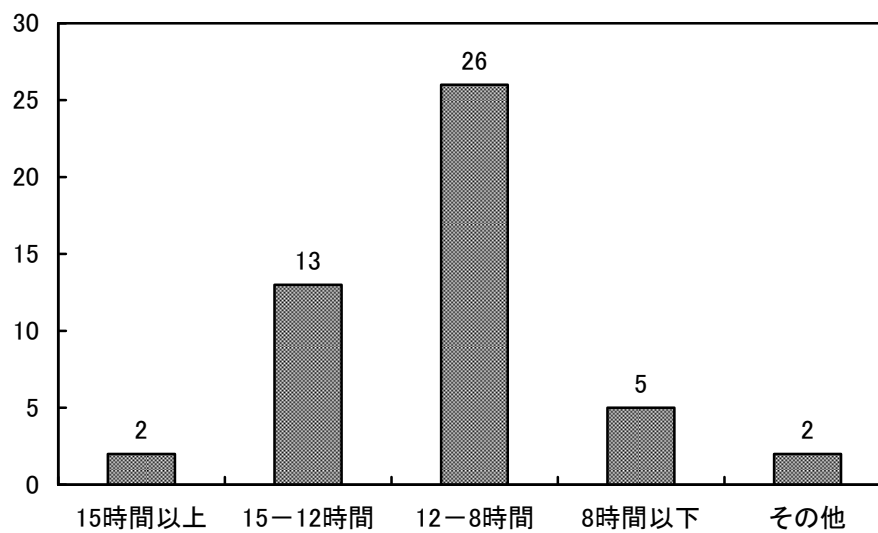
その他の概要：

- * 思うように進まないことからの焦り、共同研究(企業)から依頼されている仕事など…
- * 仕事をしているため※
- * 会社から配慮はしてもらっていますが、圧倒的に時間不足です※
- * 仕事との両立が困難※
- * 社会人のため会社の仕事の状況に左右されやすい※

※ これらの意見は全て社会人学生のものです。

(2) 1日あたりの研究時間はどれぐらいですか？

a. 15 時間以上	b. 15－12 時間	c. 12－8 時間	d. 8 時間以下	e. その他
2	13	26	5	2
4%	27%	55%	10%	4%



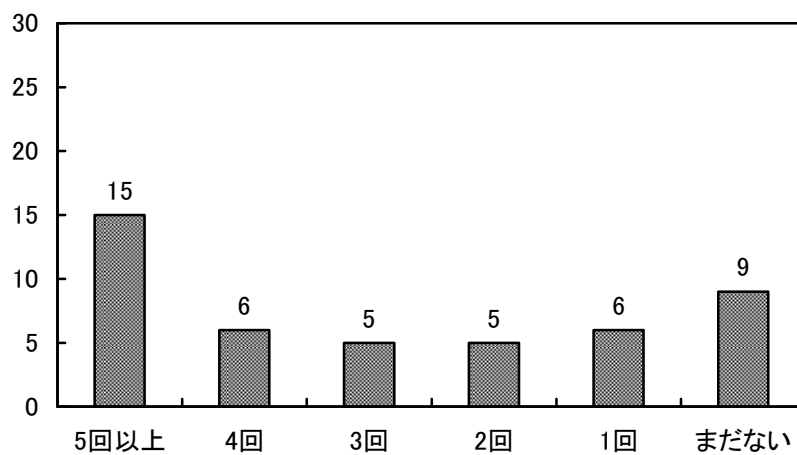
その他の概要:

- * ただし登校のみ
- * aとbの比率が半分ずつ

(3) これまでに学会発表や論文発表をどれぐらい行いましたか？

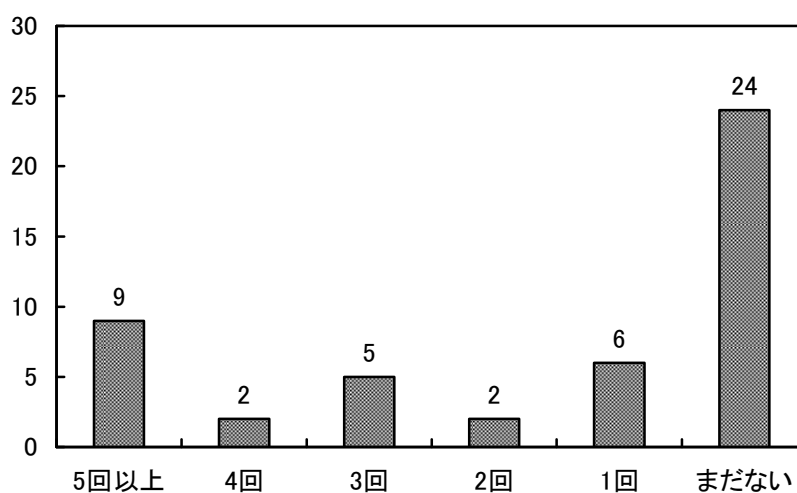
学会発表:トップネームで

5回以上	4回	3回	2回	1回	まだない
15	6	5	5	6	9
32%	13%	11%	11%	13%	20%



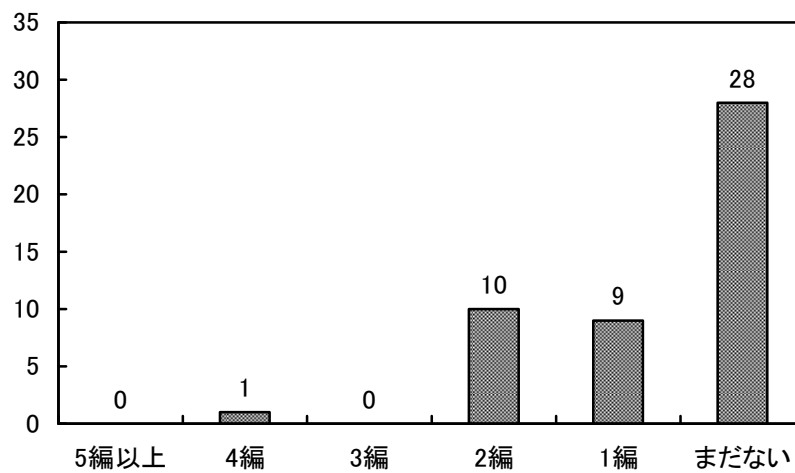
学会発表:共同研究者として

5回以上	4回	3回	2回	1回	まだない
9	2	5	2	6	24
19%	4%	10%	4%	13%	50%



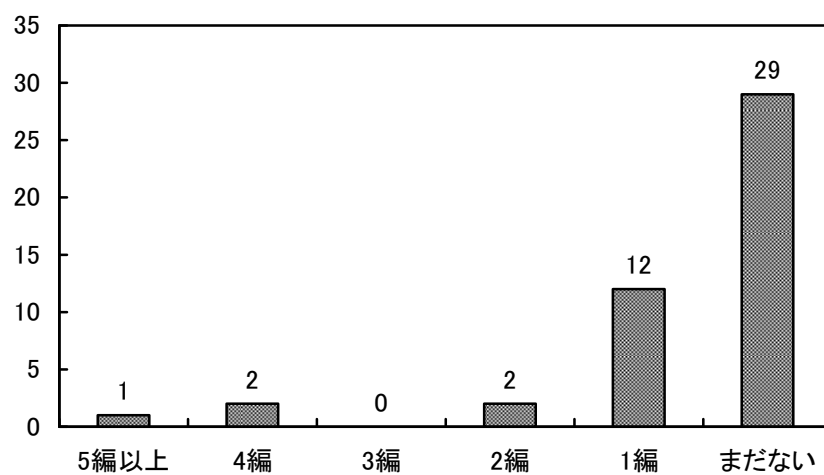
論文発表:トップネームで

5 編以上	4 編	3 編	2 編	1 編	まだない
0	1	0	10	9	28
0%	2%	0%	21%	19%	58%



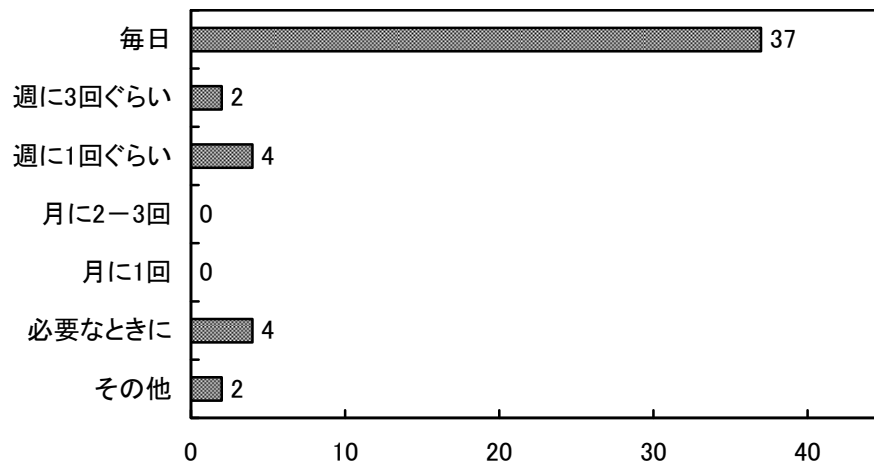
論文発表:共同研究者として

5 編以上	4 編	3 編	2 編	1 編	まだない
1	2	0	2	12	29
2%	4%	0%	4%	26%	64%



(4) どれぐらいの頻度で大学に通っていますか？

毎日	週に3回ぐらい	週に1回ぐらい	月に2-3回	月に1回	必要なときに	その他
37	2	4	0	0	4	2
76%	4%	8%	0%	0%	8%	4%

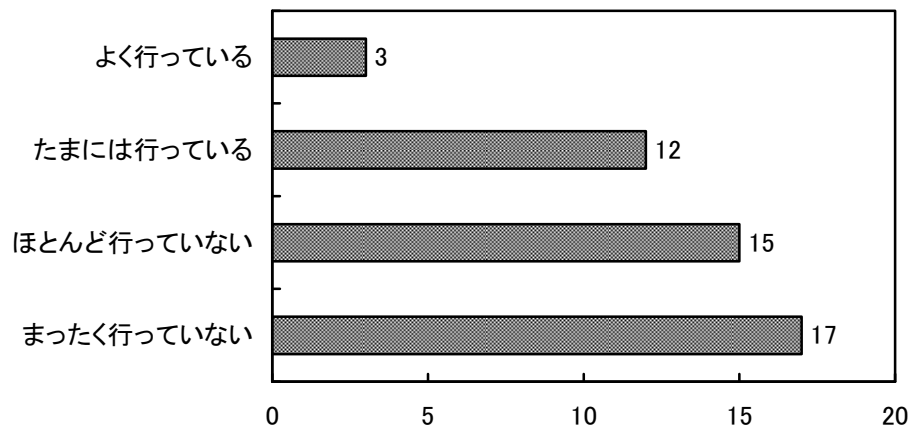


その他の概要:

- * 基本的に外部機関に毎日通っている。大学へは週に1回程度。
- * 平日の5日間と土日のどちらか
- * 6 days/week

(5) 他の構成大学の連合大学院学生との情報交換や交流を行っていますか？

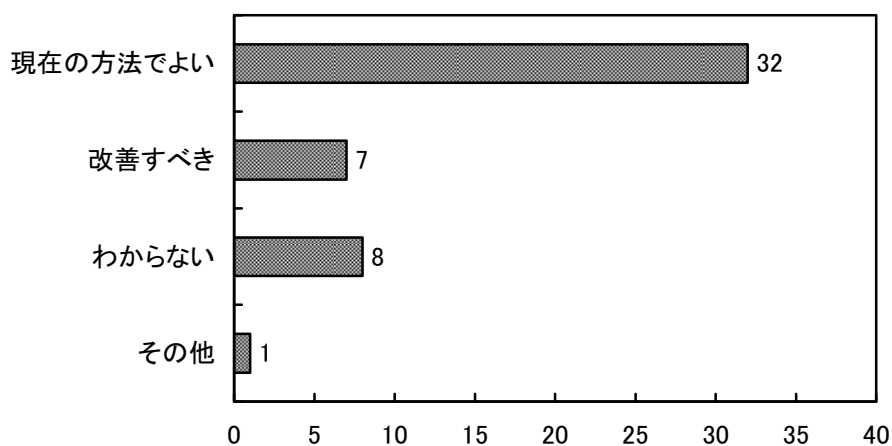
よく行っている	たまには行っている	ほとんど行っていない	まったく行っていない
3	12	15	17
6%	26%	32%	36%



7. 共通ゼミナール(一般)について

(1) 開講時期や運営方法について

現在の方法でよい	改善すべき	わからない	その他
32	7	8	1
66%	15%	17%	2%

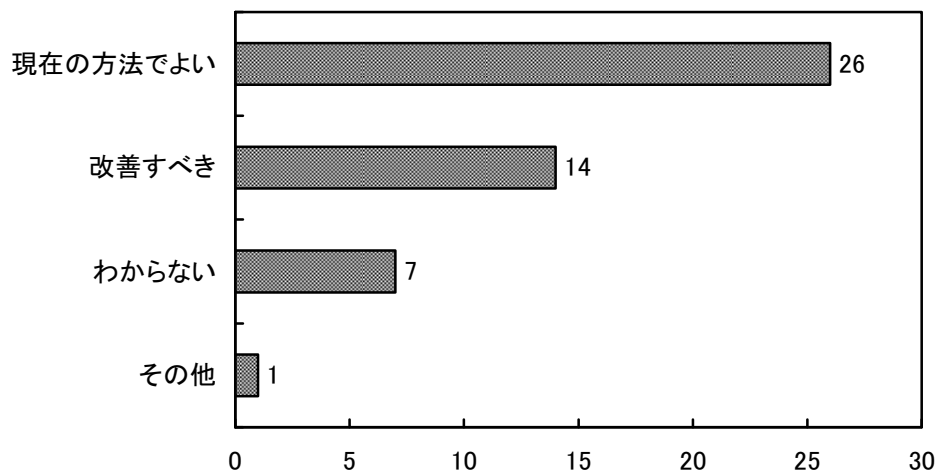


その他の概要:

* I have not yet attended

(2) 内容について

現在の方法でよい	改善すべき	わからない	その他
26	14	7	1
54%	29%	15%	2%



その他の概要:

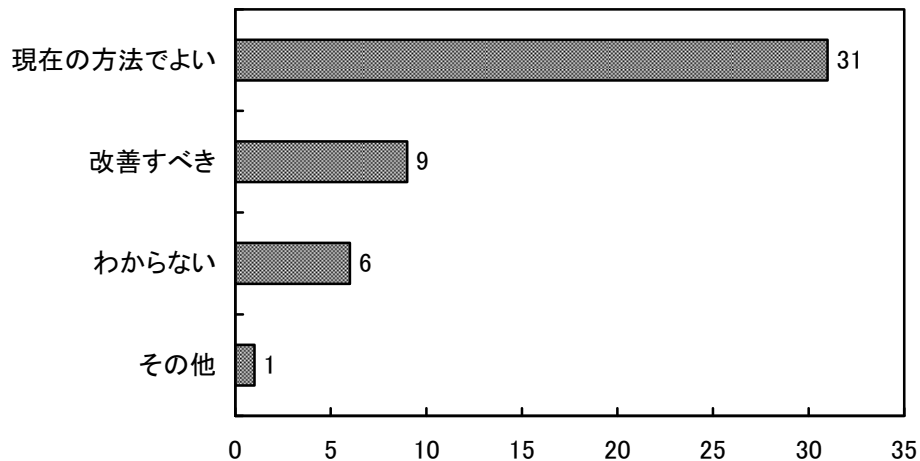
- * I have not yet attended

意見:

- * 共通ゼミ(一般)、共通ゼミ(特別)は名前が似ていて、区別しにくい。夏合宿とか通称をつけてほしい。
- * 信州大が参加しないのは不公平です
- * 現状がどのように行われているかは知らないが、合宿形式で講義を行うのは異なる研究室に所属する学生間で交流を図るためのよい機会であると思う。現在同様、合宿形式で続けるべきだと思う。ただ、内容については、常に改善を行うという意識が必要であると思う
- * 現在の方法がいいけど、一年生の時だけと言うのが、何か寂しいです。
- * I don't have any experiences in taking any general seminars yet.
- * Some presentations are in Japanese which is not apprehensible to some foreign students. We hope English handouts will be provided for the seminars in Japanese.
- * English of Japanese student should be improved

8. 共通ゼミナール(特別)について

現在の方法でよい	改善すべき	わからない	その他
31	9	6	1
66%	19%	13%	2%



その他の概要:

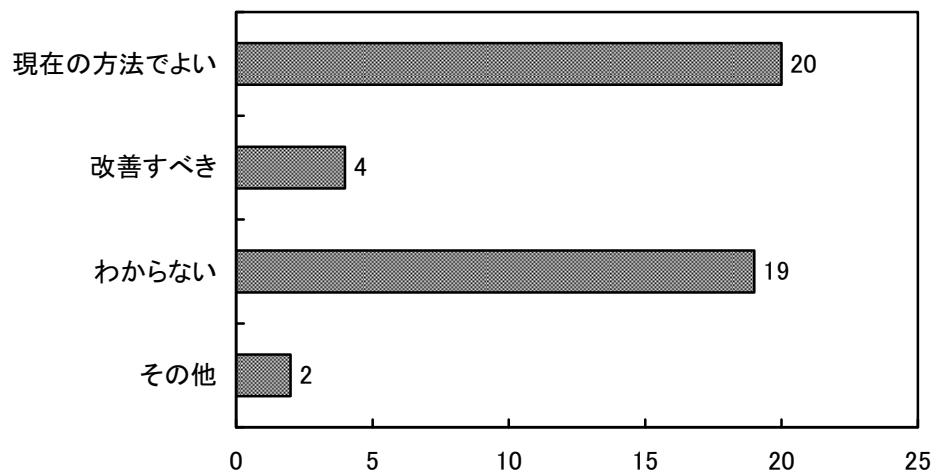
- * I have not yet attended

意見:

- * 履修の申し込みについて、各教員に申し込むのではなく事務の方で管理していただき、確実に講義が実施されるようにしていただきたい。
- * 講義の申請届けを提出に行った際に、講義はやらないが単位は出すと明言した教員がいた。実際に講義はなかったが、単位は出ている。このような状態で良いのか？
- * I don't have any experiences in taking any special seminars yet.
- * Is it possible to have some of the common seminars on SCS? Sometimes the places where they are held are so far away. Example: Shizuoka → Kagoshima or Okinawa
- * Every student should present paper or research plan

9. SCSゼミナール(日本語)について

現在の方法でよい	改善すべき	わからない	その他
20	4	19	2
45%	9%	42%	4%



その他の概要:

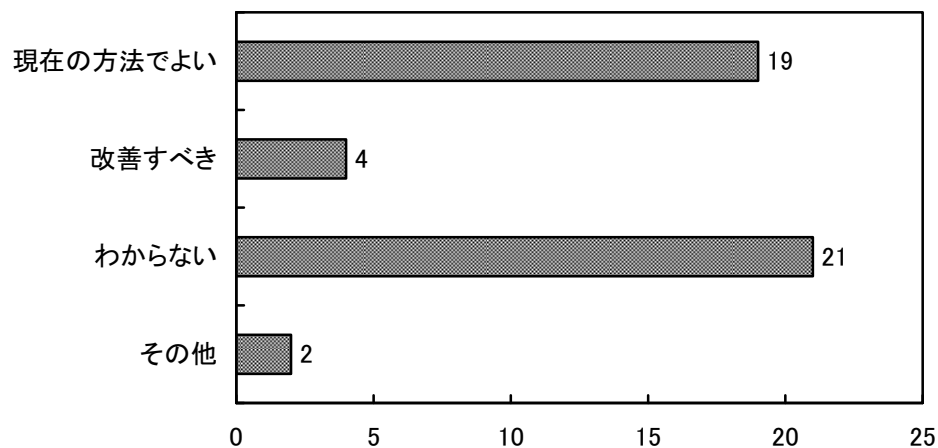
- * I have not yet attended

意見:

- * 開講の時期等、わからないところが多い
- * SCS というシステムの維持にどれくらいのコストがかかっているのか？ 用途・性能から考えた場合、別のシステムで行った方が安価なのではないか？(維持・稼動にかかるコストがどの程度かは把握していないが)
- * 単位が足りたと言って、取らない学生が多いと思います。
- * I don't have any experiences in taking any SCS seminars yet.

10. SCSゼミナール(英語)について

現在の方法でよい	改善すべき	わからない	その他
19	4	21	2
41%	9%	46%	4%



その他の概要:

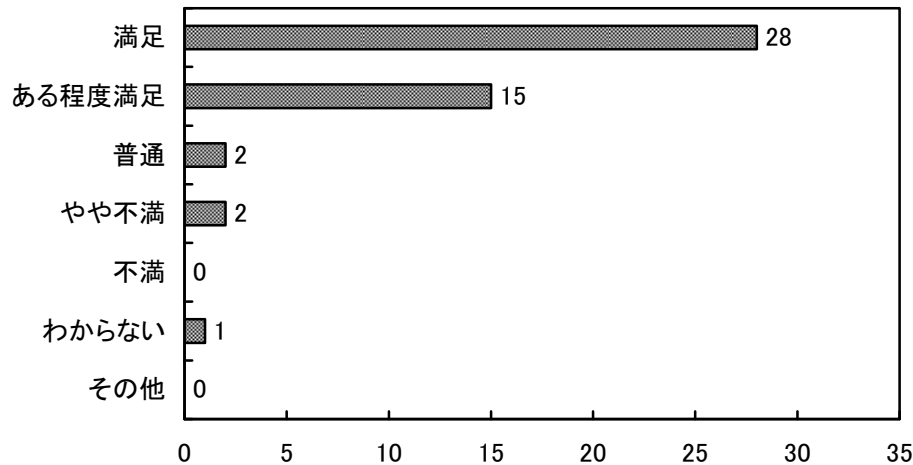
- * I have not yet attended

意見:

- * I don't have any experiences in taking any SCS English seminars yet.
- * I attended the SCS seminar. I really became to wonder watching such a system for a seminar. With the SCS seminar, we can learn about many research areas from different universities directly. It is really very appreciable.
- * Not so many topics related to my research.
- * The subject or lecture title should be selected based on the dissertation title of the students enrolled in the graduate school.

11. 事務サービスについて

満足	ある程度満足	普通	やや不満	不満	わからない	その他
28	15	2	2	0	1	0
59%	31%	4%	4%	0%	2%	0%



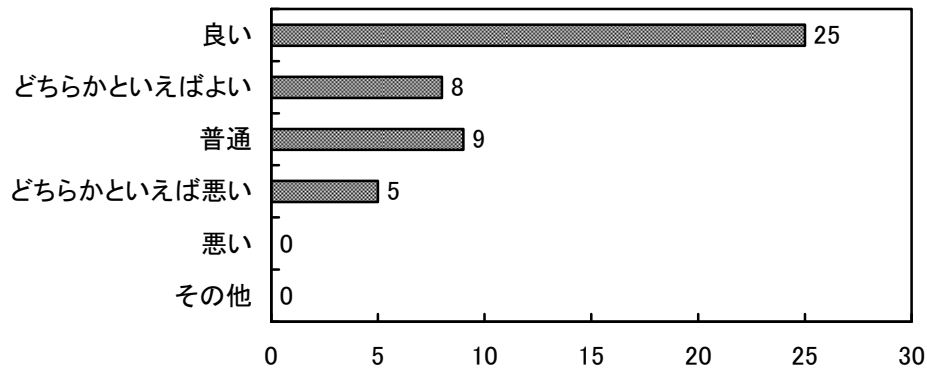
意見:

- * 連合農学の学務係様はすごく丁寧で親切です、感謝しています。しかしながら学務部学生支援課の対応が学生を馬鹿にしていると思えません。授業料免除のことで何回か電話したら、電話口から またかかってきた と聞こえたり、配置大学のほうに聞いてくれといった、高圧的な印象を受けます。
- * 配置大学の担当者が、事務について理解できていないケースがある。配置大学の事務を介せずに、直接岐阜大学との間でやりとりをするようにしたほうが良いのでは？
- * 連絡がメールで届くようになって安堵しています。
- * They are very kind in helping me as a foreign student especially in the administration fields.
- * I always find a satisfactory co-operation from the staffs of Rendai. They are always helpful to the students.
- * If it has more information in English, it will be better.
- * Emails written in English are more convenient than written in Japanese because I can't understand Japanese.
- * Thank you for providing English translations in al of the communications.
- * Office staffs should use some English during discussion with foreign students.
- * It should be better if the formal information from the offices (particularly, faculty of Agriculture, Shizuoka U.) will add the English translated issues to foreign students (or just a short message to conclude the information) is appreciated.
- * Present initiatives are more satisfactory

12. 健康状態について不安がありますか

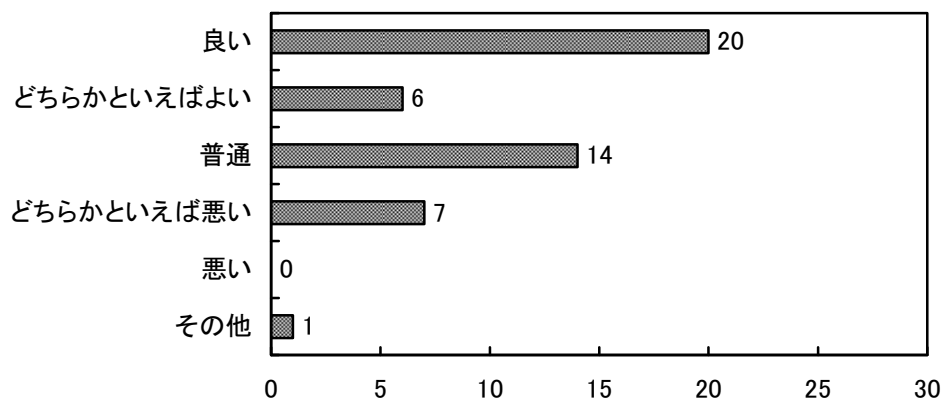
(1) 身体的なコンディションはどうですか

良い	どちらかといえばよい	普通	どちらかといえば悪い	悪い	その他
25	8	9	5	0	0
53%	17%	19%	11%	0%	0%



(2) 精神的なコンディションはどうですか

良い	どちらかといえばよい	普通	どちらかといえば悪い	悪い	その他
20	6	14	7	0	1
41%	13%	29%	15%	0%	2%



その他の概要:

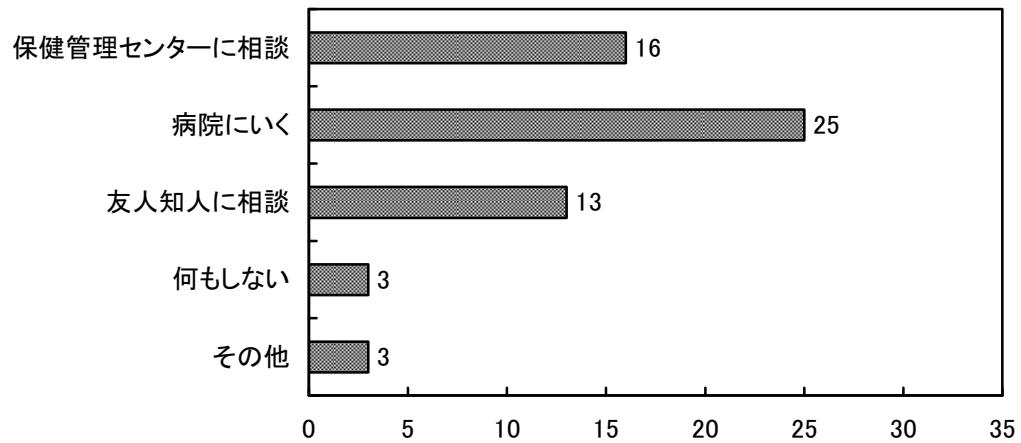
- * 一時期は嵌って辞めたいと思う時期もありました
- * 原因は大学生活とは無関係。だるかったり無気力なときが多い。

どのような問題がある？

- * 腰痛
- * 研究室にこもりつきりによる運動不足と将来に対する漠然とした不安感
- * Because my father died on 28 March, 2008, it was pretty hard to do research at that time.

(3) 健康状態で問題があった場合どのような対処をしますか？

保健管理センターに相談	病院に行く	友人知人に相談	何もしない	その他
16	25	13	3	3
27%	41%	22%	5%	5%



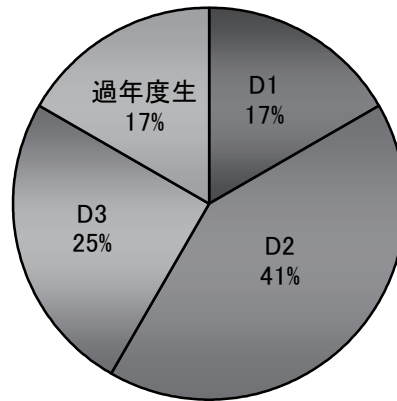
その他の概要:

- * I always consult my host family
- * I haven't had health problems as of yet
- * 肉親に相談する。

13. 卒業後の進路について

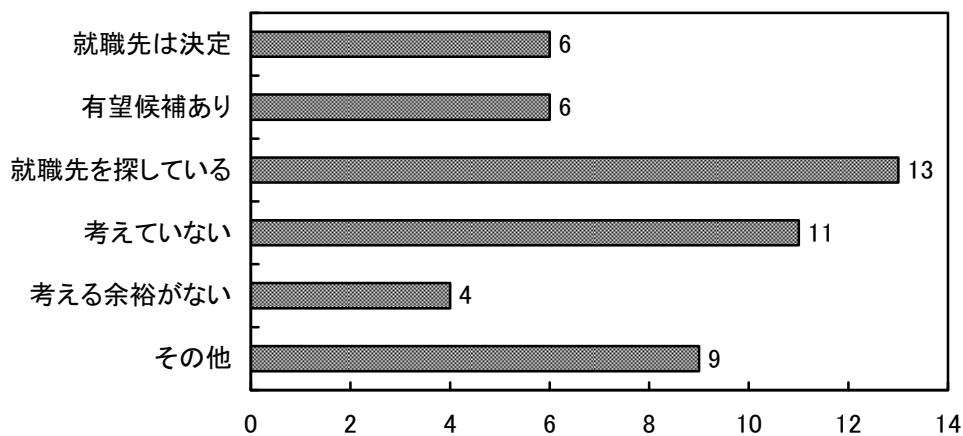
(1) 現在の学年

D1	D2	D3	過年度生
8	20	12	8
17%	41%	25%	17%



(2) 卒業後の進路はきまっていますか？

就職先は決定	有望候補あり	就職先を探している	考えていない	考える余裕がない	その他
6	6	13	11	4	9
12%	12%	28%	22%	8%	18%

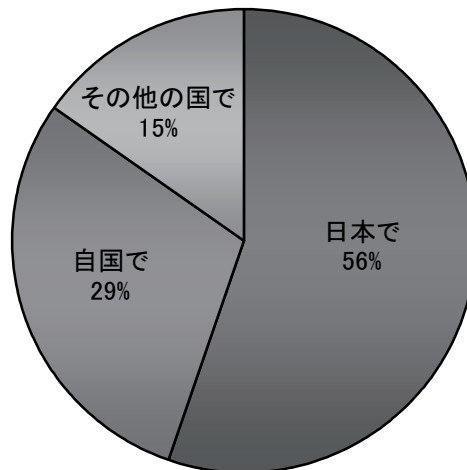


その他の概要:

- * すでに就職している x3
- * 卒業優先
- * 前の仕事に戻る
- * I would like to go back to my country and try to find a job
- * I want to continue my present research as a post-doctoral researcher

(3) 卒業後はどの国で働きたいですか

日本で就職を希望	自国で就職を希望	その他の国で就職希望
36	19	10
56%	29%	15%



その他の国名:

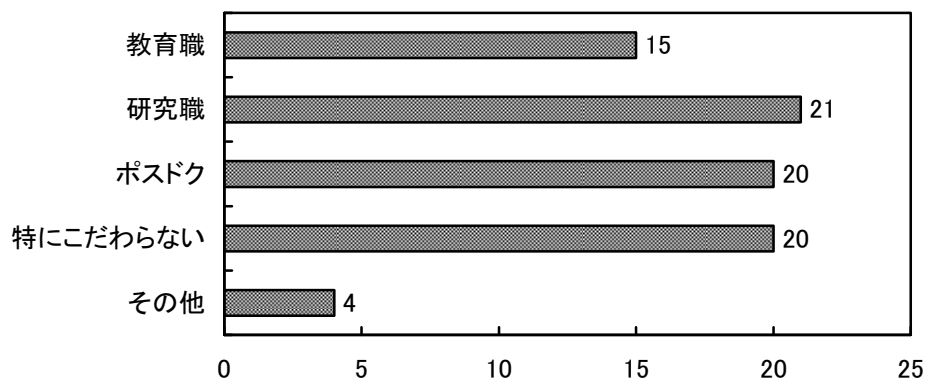
- * Canada/ Australia
- * USA x2
- * USA or UK

その他の意見:

- * If I have some opportunities to do the post-doctoral program, I will take it.
- * Not yet decided
- * I would like to work in my own country, preferably in collaboration with Japan
- * Anywhere is ok as long as the work is satisfying and would enable me to learn more
- * Any country

(4) 卒業後の進路について希望する職種は何ですか。

教育職	研究職	ポスドク	特にこだわらない	その他
15	21	20	20	4
19%	26%	25%	25%	5%

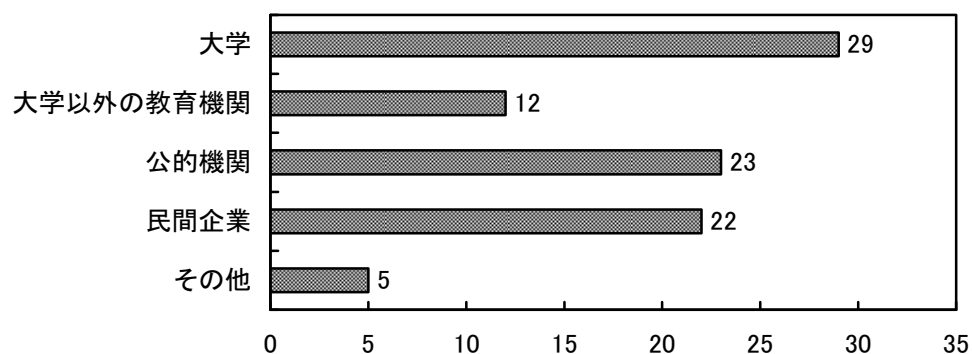


その他の概要:

- * 就職先で研究に携わっている。
- * Reproductive area [clinical / research] or Veterinary medicine

(5) 卒業後の進路について希望する業種は何ですか

大学	大学以外の教育機関	公的機関	民間企業	その他
29	12	23	22	5
33%	13%	25%	24%	5%

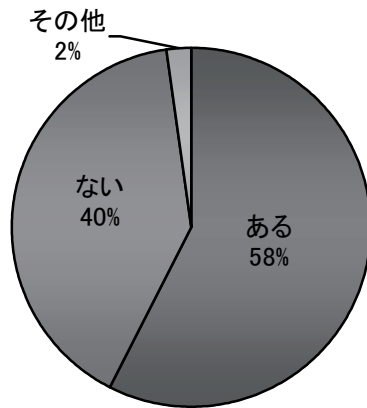


その他の概要:

- * こたわらない
- * 民間企業に就職しており転職するつもりはない
- * Research Institution
- * I am an Assistant Professor, in the Department of Plant Pathology, Bangladesh Agricultural University, Mymensingh, Bangladesh and I will continue my job

(6) 就職に関して不安がありますか。

ある	ない	その他
27	19	1
58%	40%	2%



その他の概要:

- * 公務員試験の勉強中である

理由:

- * 団塊世代の退職に伴う就職好景気が終わろうとしている為
- * ポスドクが多すぎることに
- * 就職活動に関する知識はまったく持っていない
- * 博士課程に進学すると、就職先の分野が狭くなると聞いたことがあるから。
- * 決まらないから
- * 博士は就職が大変とよく聞くので
- * 不安じゃない方がおかしい
- * 卒業時にタイミングよく適当な研究職の募集があるかどうか分からないため

- * すでに就職している x2
- * 就職に対する不安は誰にでもあると思いますが、それに対してどのような対処をするかが重要であると思います。私自身は、研究に関して博士課程で区切りをつけて、異分野、異業種へ移動しようと思っており、それなりに不安はありますが、どのような経験ができるのか楽しいにも感じています。
- * 博士の受け入れ先が人数に対して、少ない(ほとんどない)と感じているから
- * まだ就職のことを真剣に考えていないので、少し不安です。
- * 就業率が低いから
- * Some day I will go back to my own university in Indonesia as a lecturer.
- * Because after going back to my own country, I have to look for a suitable job. Yet I don't know about the situation of my related job in my country.
- * I am concerned but have not yet tried to find a job
- * If possible, I would like to be employed right after graduation and land on a job position that will commensurate my qualifications.
- * Because I would like to have continuity of work.
- * Sometimes, the high education is difficult to find a job especially doctorate degree. It takes a long time and limit in education field.
- * Because I have to secure my family's future, and I'm not sure if there are enough vacancies available which are in line with my education.
- * All advertisements are in Japanese
- * I have experience and I work hard

14. 連合農学研究科に対して意見

- * 1. 自由参加の交流会みたいなものがあると、気晴らしになるかもしれないと思います。(学生／先生参加型の) 2. 配置大学でも学割が簡単にとれるようにしてほしい。
- * 連合農学研究科とはまったく関係ないのですが、学生支援課から授業料免除の申請とか配置大学に聞けとか言われると 論文とか学会発表で岐阜大の名前を入れるのが嫌になります。
- * 事務の方々は普通に親切なので、特に困ったことがない。他の研究室はどうか分からないが、研究している内容のレベルも低くないので難しいことは多々あるが、やりがいはある。ただし、それは研究室のレベルであって、連合農学研究科に属していることが関係するとは思わない。
- * 静大、信大は岐大に比べて連絡や情報伝達が希薄になりやすいと思うので、配慮していただけるとありがたいです(現状に不満があるわけではありません)
- * 1. 発表会等について: 現行の中間発表・学位審査会を配置大学で行うというシステムを変更したらどうか? という思いを以前から感じています。現在は、各配置大学に主・副指導教官が集合して、中間発表会・学位審査会を行うというシステムになっていますが、この方法について、以下のことが考えられると思います。メリットとしては、1)発表学生・教員が移動しなくて良い、2)各大学の研究成果が大学内で発表されることで、配置大学としての権利が明確になる、3)大学内の関係者が研究発表を聞くことができる、ということが考えられます。その一方で、デメリットとして、1)教員の移動に対して、多大な時間・費用を要する、2)審査基準が不明確である(関係者のみの審査会となり、厳格な審査が行われない)、3)連合大学院全体で何をやっているのが、所属している学生が、他の学生の研究を聞く機会が無い、といったことが考えられます。改善案として、中間発表会・学位審査会を岐阜大学に集まって行ってはどうかと思います。学会のような感じで審査会を一括して行えば、1)所属学生が広範な研究課題について情報を得ることができる、2)教員の移動に要する時間が少なくて済む、3)連合研究科としての最先端の研究を集めた発表会として、社会にアピールする機会とすることができる、4)多数の教員の参加が可能となって審査の厳格化につながる、ということが期待できると思います。
- 2. 農学研究は、対象とする領域が広く、連合農学研究科という枠組みの中にも様々な分野の研究室が所属しています。多様な研究室が一同に介して発表会を行うことで、研究科に所属する学生・教員共にメリットはあるのではないのでしょうか。
- * まだ入学したばかりで、これから気づくことがあるかもしれませんが、現段階では比較的満足しています。連合農学系の皆様の対応もいつも非常に親切で感謝しております。
- * 1. 就職に対する支援を充実させてほしい。現在、修士課程においても、学部生同様に必須科目が増え、十分に研究に対しての時間が使えないとの声も聞く。博士課程修了者の就職状況の改善が、修士で研究も足りない学生を進学させるドライビングフォースになると考える。
- 2. 研究助成金情報を集めてほしい。研究助成金は、民間団体や民間企業などさまざまな団体が出している。私立大学では、学生に率先して、助成金をとるように薦める大学や、助成金獲得率を上げる為に、申請書の書き方講座まで設ける大学もある。講座の開講などは難しいかもしれないが、せめて、自分の研究分野でねえそうな助成金があれば応募を促すようなアナウンスがあればよいと思う。
- 3. 博士課程の社会的ニーズは、研究者育成コースから全人教育コースへと変わりつつあると考える。今後は従来どおりの研究者育成と共に、高学歴

人格者の育成機関として位置づけられるような教育も必要であると思う。

- * This year will be my third year living in Japan. There are so many unforgettable life experiences during this period. It includes life experiences outside the university. Talking about the United Graduate School of Agricultural Science, I think the decision for making a union between Gifu U., Shinshu U., and Shizuoka U. several years ago was a good decision. And about the curriculum, I cannot talk so much, because this is my first grade of doctoral student, and I hope after I know at least the form and educational system, maybe I will talk more.
- * Everything is well disciplined and almost everybody follows the rules and regulations. They all start in due time and end on the dot. Punctuality, efficiency and courtesy are probably the three unspoken pillars that have contributed immensely to the level of development today.
- * I am very much proud of doing my doctoral degree at this university. The system of the university is very good. We can get all the information related to our study in time. The staffs of UGSAS are very much cordial and sincere to cooperate with students. The university also does their best to give economical support to the private students by providing some scholarships. If this system is going on in the future, many foreign students will be encouraged to do their higher study here. There is also a good system for applying the reduction of tuition fees. The students can get relief if there is also a half reduction of tuition fees. If the economic problem of the students can settle down, they can give their mind soundly to their studies and can fulfill their future dreams after completing the higher study. So, really we must be grateful to the university. The UGSAS also gives many other facilities to the students, such as teaching assistantship, research assistantship, accommodation in student dormitory, etc. It is also appreciable. The university also arranges summer seminars in different places every year. In my case I enjoyed a lot attending such a seminar in a different environment. The common and special seminar is also very helpful for the student to brush up on their research. We also attended many professors' classes required for doctoral dissertations of UGSAS. The professors were also very helpful for taking the classes and I enjoyed the classes very much. We also enjoyed the SCS seminar arranged by UGSAS is really satisfactory and adjustable for us. So I want to give my sincere thanks for all the arrangement of UGSAS, Gifu U. At last but not least I want to say my profound thanks to my supervisor Prof. Dr. Fumiaki Suzuki of UGSAS, Gifu U., for his prudent guidance, continuous encouragement and valuable advice in my master's and doctoral study period.
- * First of all I would like to appreciate this type of query with the students. I think students can evaluate and according to that, the authority can pay attention upon this evaluation. For me, I feel delighted to be a part of the UGSAS. For my research to be pursued they provide me every support and cooperation. Both the academic & official purposes, they are quite helpful to me. I wish every success of the UGSAS.
- * Thank you very much for giving me the opportunity to be a part of planning to implement institutional reforms of Rendai by giving my opinions regarding to educational programs. I think it's a very good initiative to implement the idea from your

side. It's a matter of pleasure to inform you that I am very much satisfied with working here and got myself admitted into Ph.D. under Rendai. I think educational system in Rendai is very nice. The office staffs of Rendai are very good. Whenever I need, they extend their helping hands to us with great care. I am also pleased to meet with so many students from different countries. It would be very nice if my opinions regarding educational system could be of any use to you.

- * First, I would like to commend the school for its current policies and programs. Although the component institutions are spatially located far from each other, there is an effective communication system. I also appreciate the publication of a book containing articles from students regarding their life and researches, as well as other information regarding the school. It is also, however, a good news that an institutional reform is being planned. I would be very grateful if announcements and other communication and information coming from the office are always provided with English translations to us foreign students. I understand that our major professors can do the job of explaining the contents but it can also help a lot if we can read the information ourselves. I may not be speaking totally for myself since I can understand Japanese a little (although I had to ask to confirm most of the time). Recently, however, I observed that letters from the office are already with English translation and I am very much thankful for that. Finally, I look forward to new policies and programs to be implemented that will surely strengthen the institution.
- * The UGSAS is a good choice for advanced course of study and research. I am proud that I have belonged to the UGSAS, Gifu U., (Shinshu U). For some advice in the services, it will be better when the announcements or information from the office are in both in Japanese and English so every student can understand and participate in all activities.
- * UGSAS is a good place for me to fulfill my knowledge. I'm glad to study in UGS.
- * I have a very good impression of UGSAS. The standard of research within the school's curricula is very appropriate and of high standard. However, there is still room for improvement in facilities, research methodologies as well as the scope of research teaching and learning. More collaboration with other universities in and outside Japan and research exchange programs would add to the diversity already existing and is therefore welcomed.
- * Thank you for the reminders sent to our emails. Putting an English translation is a big help. It is very much appreciated.
- * UGSAS is serving the science and technology in a nice way.
- * People are good, responsible, and cooperative.
- * First of all, I would like to say thank you to the UGSAS giving me a good opportunity for a Ph.D. program. Overall, the program is good; however, I think we need more lectures and seminar to improve our acknowledgement.

- * UGSAS Gifu U. is a good place to study. Some difficulties have happened to me especially when the letter from Rendai comes. Sometimes there is no English version of that letter. As a foreign student who only has 3 years to study in doctor courses, it is not easy to read a letter in Japanese. I only knew few students in this UGS at the time of entrance ceremony. The common seminar in this UGS is a nice program. I can find all members from other universities. I think it is necessary to continue the common seminar program.
- * In my opinion, the UGSAS provided great opportunities, which is a special thing in life, for overseas students. Even though I am not familiar with the department management or general system of organization, I think this is one of an effective graduate school. However, in some aspects, I would like to leave a little comment that may be a benefit for our school. Although the common work or general life in my laboratory or university is quite well, it seems I have problems whenever I get the formal "Japanese" information from the faculty office. It is more difficult whenever I have to directly contact to the office because I don't understand Japanese language. Of course, almost all of our students had taken some Japanese language courses before applying to the program, thus they can communicate in Japanese very well. But some of us cannot read, write, or understand Japanese as well as others. So, I think it may be better for us if you kindly add a note or a brief information in English, accompanied with the Japanese documents (in the same case that you have done when sending emails to us) that is very nice. That will lead us to correct, rapid response.
- * I am highly glad to be enrolled as a PhD student in the UGSAS, Gifu U. The management of the graduate school seems to be nice and highly organized. Notably, the present initiatives are highly appreciable. Specially, the communications directly with the students are becoming more fruitful through emails. I had strong feelings about funding by the graduate school to attend in the International Conference. Strangely, it was announced very recently that the graduate school provide some funds to students who will attend in the conference. It is a great achievement of the present administration of the graduate school and also a real reflection of the students' expectations. The arrangement of the seminars was also good. However, mid-term presentation should be arranged for all the students belonging to the same semester in the common venue so that the students come to know the research plan of each other that may be helpful for their individual research plan. From my personal viewpoint, it seems to be difficult to publish two papers within 3 years time along with a dissertation. Thus, the graduate school should rethink the requirements for Ph.D. of a student under special doctoral course program. It may also be better for the career of a student if he/she can publish a very good paper in the journal with good impact points and international standards.
- * I enjoy studying at UGSAS. The most favorite is general seminar. Because I met friends from other universities, gotten knowledge from seminar, joined parties and activities, and also visited some sightseeing places. It was a nice experience.

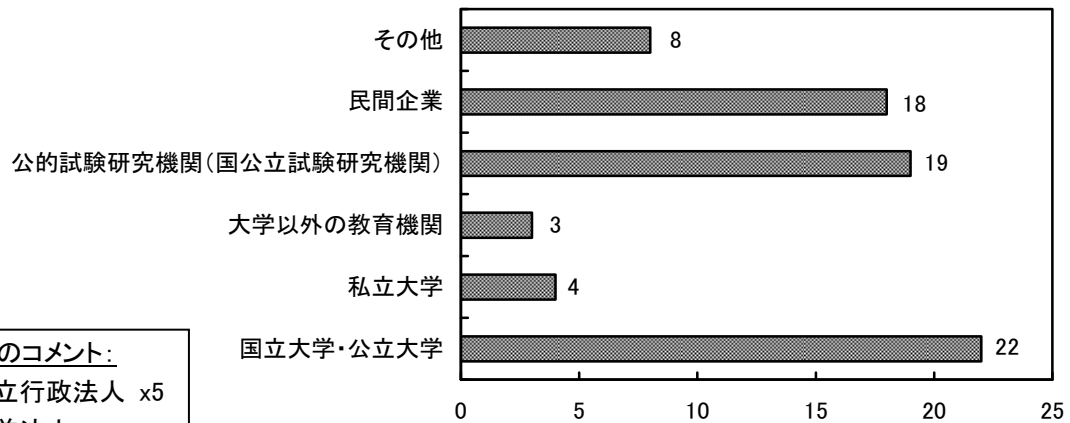
就職先へのアンケート【集計】

1. 貴企業・機関のお名前をお書きください。

- * Chulalongkorn University
- * King Mongkut's University of Technology Thonburi
- * 兵庫県立大学 自然環境科学研究所
- * 岐阜県立 岐阜農林高等学校
- * (株)環境アセスメントセンター 北信越支社
- * 王子製紙(株) 森林資源研究所
- * (独)農研機構 果樹研究所 カンキツ研究興津拠点
- * 合資会社湯浅商店
- * (株)遠藤造林
- * (株)キーテック
- * 岐阜県立 国際園芸アカデミー
- * 長良サイエンス(株)
- * (財)食品農医薬品安全性評価センター
- * 静岡大学
- * 新潟県農業総合研究所 園芸研究センター
- * 天然新素材科学研究所(株)
- * 北海道大学大学院農学研究院
- * 愛媛県 農林水産研究所 農業研究部 (旧愛媛県農業試験場)
- * メルシャン(株)
- * 名古屋栄養専門学校
- * サントリーフラワーズ(株)
- * 福井県 畜産試験場
- * (独)産業技術総合研究所 x3
- * 千葉県立 衛生短期大学
- * (独)農業環境技術研究所 生態系計測研究領域
- * 住友化学園芸(株) (旧 住化タケダ園芸)
- * 東海大学 糖鎖科学研究所 (本年4月より) ('07 は糖鎖工学研究施設)
- * RIDOY(株)
- * 和歌山大学教育学部
- * (株)ゲン・コーポレーション 免疫研究所
- * (独)農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター
- * Guangxi University, Department of Horticultural Sciences, Agricultural College
- * (独)国際農林水産業研究センター 熱帯・島嶼研究拠点
- * 畜産草地研究所
- * 広西大学農学院
- * Bangladesh Agricultural University x2
- * University of Medicine and Dentistry of New Jersey, Robert Wood Johnson Medical School
- * 白鳥製薬(株)
- * 第一ファインケミカル(株)
- * (株)真誠
- * (独)海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター(FRCGC)
- * (独)九州沖縄農業研究センター
- * (独)水産総合研究センター 北海道区水産研究所
- * (独)森林総合研究所 x2
- * (独)農業環境技術研究所 x2
- * 浜松市役所
- * (医)社団安津会
- * 国立感染症研究所 ウィルス第一部
- * 公立大学法人 大阪府立大学
- * (独)農業生物資源研究所
- * 南九州大学 環境造園学部
- * 永大産業(株)
- * 愛媛大学
- * 日本農薬(株)総合研究所
- * 福島学院大学
- * 岐阜県農業技術センター
- * かずさDNA 研究所
- * 岐阜女子大学
- * 昭和産業(株)総合研究所
- * 長野県短期大学
- * 岐阜県中山間農業研究所
- * 日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門
- * 筑波大学生命環境科学研究科
- * タカノ(株)
- * Brawijaya University
- * Lianing Academy of Agricultural Sciences
- * Gadjah Mada University x2
- * Eastern Liaoning University
- * 南京財経大学 糧食経済研究所

2. 貴企業・機関の業種は次のいずれでしょうか？

国立大学・公立大学	22	30%
私立大学	4	5%
大学以外の教育機関	3	4%
公的試験研究機関(国公立試験研究機関)	19	26%
民間企業	18	24%
その他	8	11%

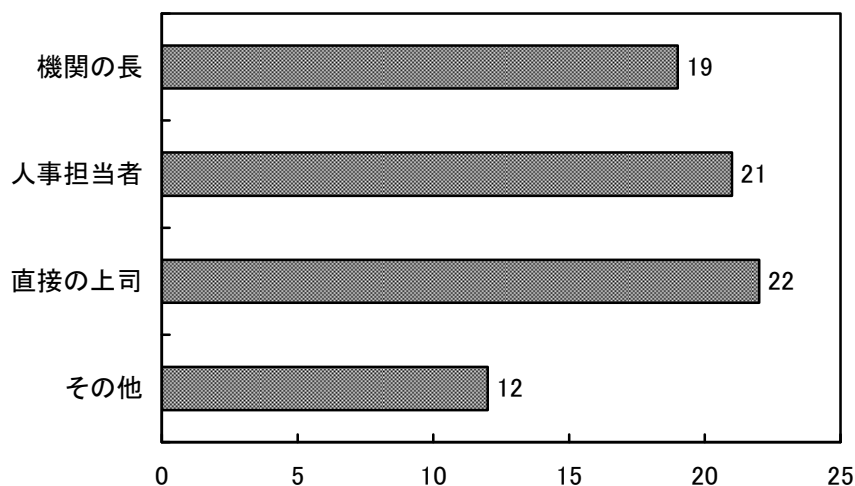


その他のコメント:

- * 独立行政法人 x5
- * 公益法人
- * 自営業
- * 医療法人
- 地方公共団体

3. 回答者の立場をお答えください。

機関の長	人事担当者	直接の上司	その他
19	21	22	12
26%	28%	30%	16%

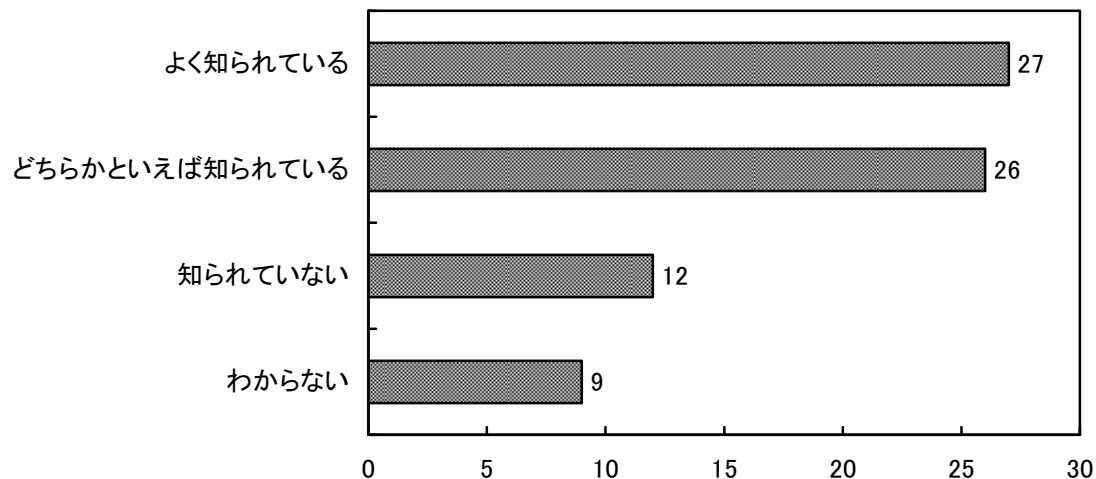


その他のコメント:

- * 上席研究員(旧室長)
- * 代表取締役
- * 部門の長
- * Head & Dean
- * Research Staff
- * 事務長
- * 管理部門担当者
- * 研究室長
- * Head of Department
- * Foreign Affairs Office
- * 事務担当者
- * Cooperation officer

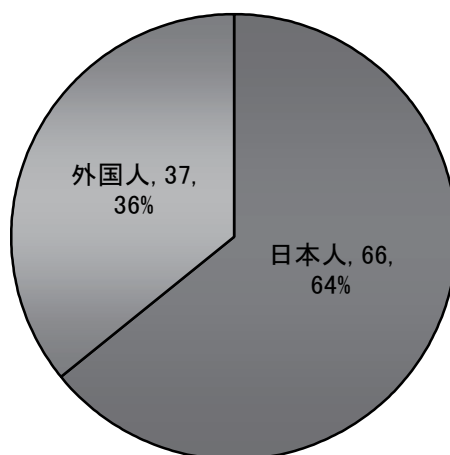
4. 本研究科は、貴機関内部で知られていますか？

よく知られている	どちらかといえば知られている	知られていない	わからない
27	26	12	9
37%	35%	16%	12%



5. 貴機関で今までに採用した本研究科の出身者(修了者・退学者)の人数を教えてください。

日本人	外国人
66	37
64%	36%



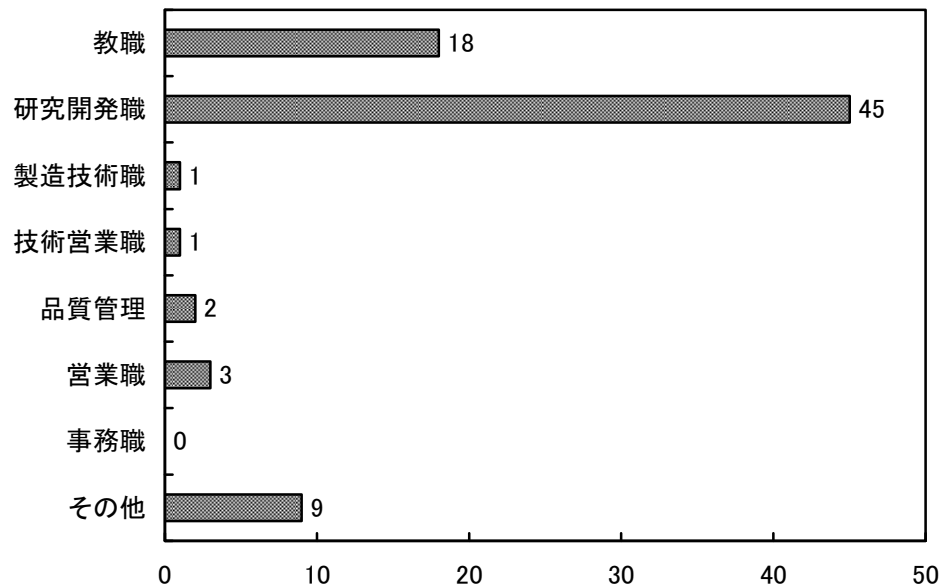
意見等:

- * 機関全体での人数はわかりません
- * 不明
- * 別の研究室にも1名いらっしゃいます
- * JSPS 研究員
- * 本人

- * 以下、回答可能な設問のみ回答します。
(貴研究科より学位を授与された論文博士はおります)
- * 非常勤
- * H20.5.23 現在の在職者を計上しました。
- * 古い方も含めて

6. 採用された本研究科の出身者(修了者・退学者)が従事している職種を教えてください。

教職	研究開発職	製造技術職	技術営業職	品質管理	営業職	事務職	その他
18	45	1	1	2	3	0	9

その他のコメント:

- * 調査研究職
- * 自営業なのでいろいろ
- * 開発営業
- * 日本学術振興会の特別研究員
- * 理事
- * PD
- * 海外営業
- * 兼研究
- * 研究職(任務期間 2001 年 4 月～2005 年 3 月)

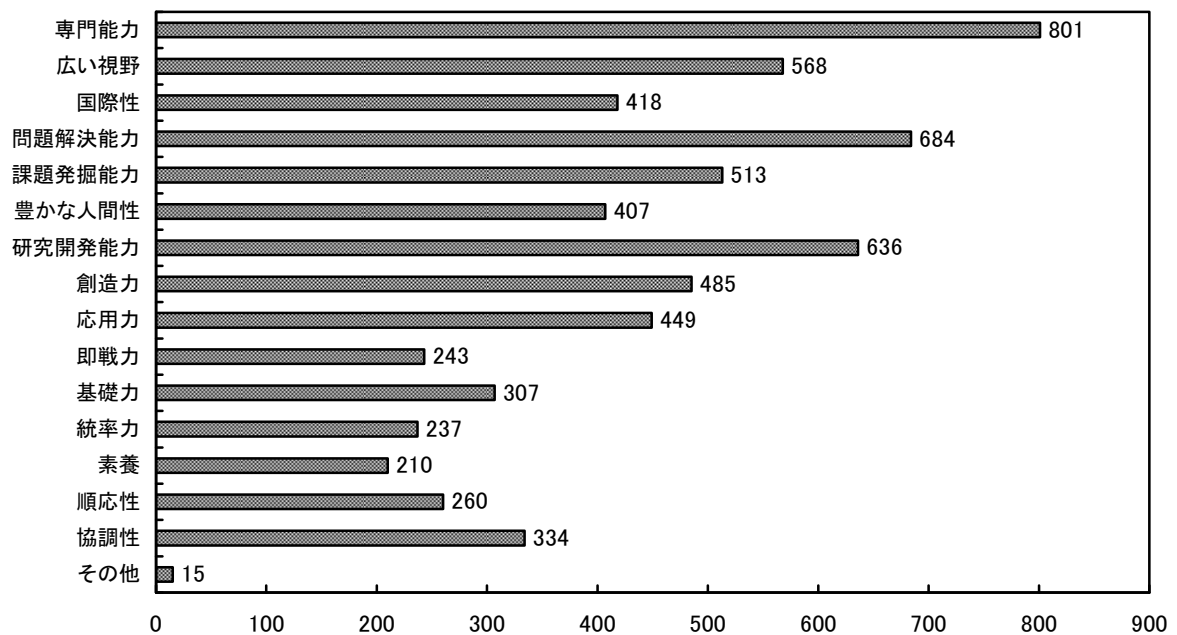
7. 博士課程の修了者に対する能力として次の項目の重要度についてお答えください。
重要度の高い順に、数字で順位をつけてください。

☆注1: 1位を15点、15位を1点とする点数制。

☆注2: 2ページ目にも続きがあることを知らずに、1ページ目、2ページ目だけで順序をつけた場合が見られた。(例: 1ページ目は1～9位、2ページ目は10～15位、等。) その場合は2ページ目のデータを全て削除した。

☆注3: 全ての項目に順序を付けずに、例えば6項目のみを1～6まで順位付けした場合や、全ての項目に順位付けをしたものの、例えば、1～4のみを使用したものや、1, 3, 8のみを使った場合も見られた。その場合のデータは使用した。

専門能力	広い視野	国際性	問題解決能力	課題発掘能力	豊かな人間性	研究開発能力	創造力	応用力	即戦力	基礎力	統率力	素養	順応性	協調性	その他
801	568	418	684	513	407	636	485	449	243	307	237	210	260	334	15



その他のコメント:

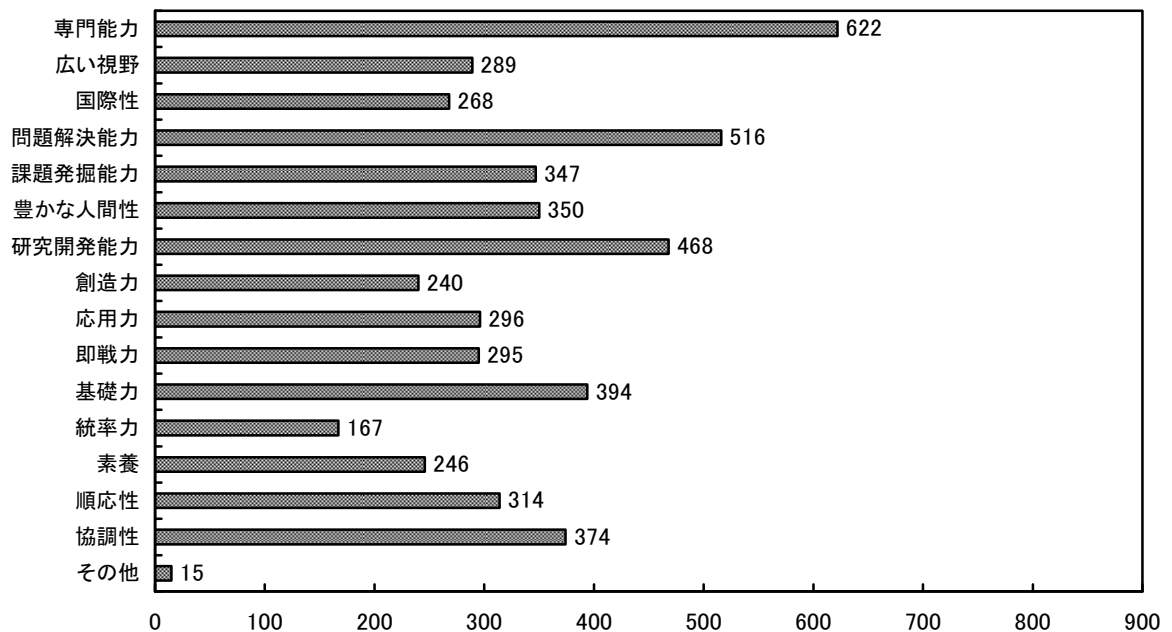
- * 自ら、営業上の問題点を発見し解決に関して一定の力があると感じられる
- * 博士課程修了者は、高い専門能力を有するのは当然のことであり、いかにチームワークを作
って必要な成果を出すかが重要である(天才の場合は別)
- * 順位をつけるのはふさわしくない
- * To increase inter-relation between 2 countries.
- * 検討しましたが、全項目の順位付けはできませんでした。

8. 採用いただいた本研究科出身者(修了者・退学者)は、どのような能力があると思われますか？能力が高い順に数字で順位をつけてください。

☆注1:1位を15点、15位を1点とする点数制。

☆注2:全ての項目に順序を付けずに、例えば6項目のみを1～6まで順位付けした場合や、全ての項目に順位付けをしたものの、例えば、1～4のみを使用したものや、1, 3, 8のみを使った場合も見られた。その場合のデータは使用した。

専門能力	広い視野	国際性	問題解決能力	課題発掘能力	豊かな人間性	研究開発能力	創造力	応用力	即戦力	基礎力	統率力	素養	順応性	協調性	その他
622	289	268	516	347	350	468	240	296	295	394	167	246	314	374	15

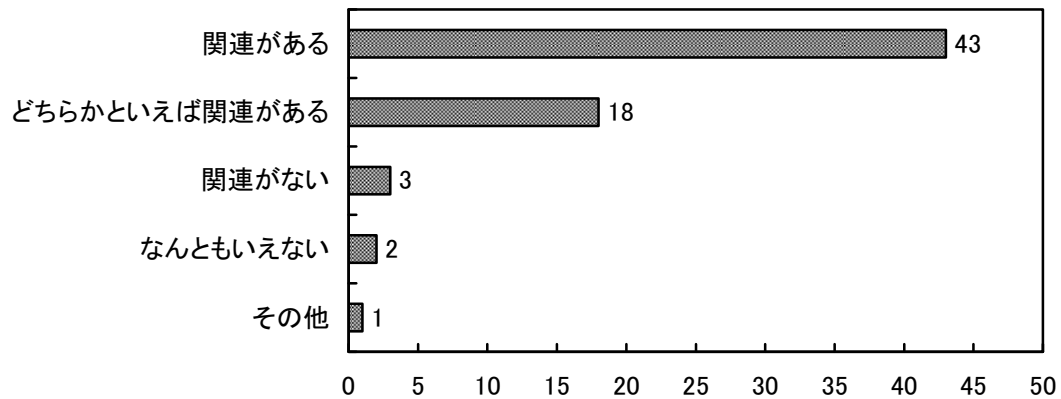


その他のコメント:

- * 十分に評価できる情報がない
- * とても優秀で、社内で要職に就いています。
- * 順位付けの意味が無い
- * humanities and moral aspects
- * 既に該当者が退職している(平成14年)のでわかりません。
- * 非常に優秀
- * 採用後20日では不明。上記項目に期待する
- * 検討しましたが、全項目の順位付けはできませんでした。
- * 対象者が1名ですので回答は控えさせていただきます

9. 採用された本研究科出身者(修了者・退学者)が本研究科で行っていた研究は、現在の職務と直接関連があると思われますか？

関連がある	どちらかといえば関連がある	関連がない	なんともいえない	その他
43	18	3	2	1
65%	27%	4%	3%	1%

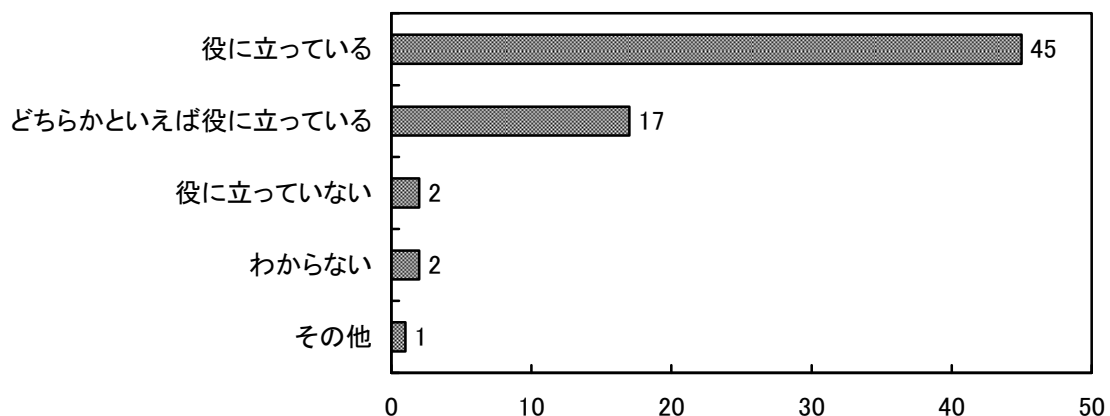


その他のコメント:

* わかりません

10. 採用された本研究科出身者(修了者・退学者)が本研究科で身に付けた専門能力、問題解決能力、課題発掘能力は職務に関する基礎力・応用力・創造力として役に立っているとお考えでしょうか？

役に立っている	どちらかといえば役に立っている	役に立っていない	わからない	その他
45	17	2	2	1
68%	25%	3%	3%	1%

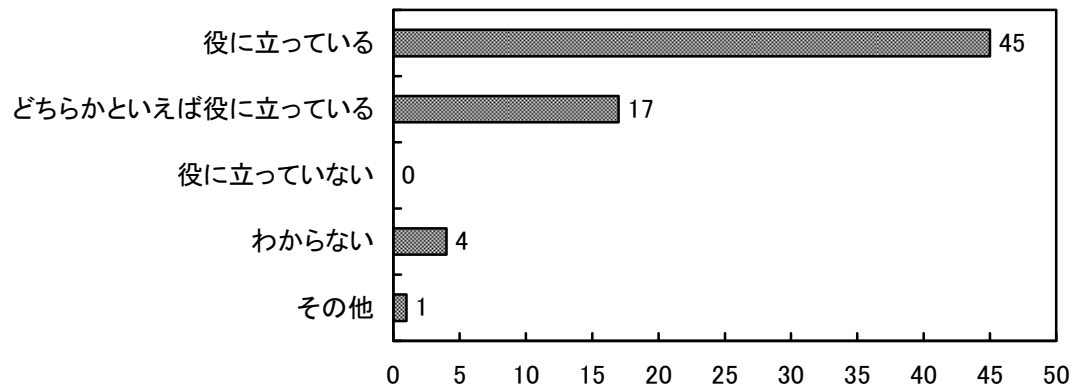


その他のコメント:

* わかりません

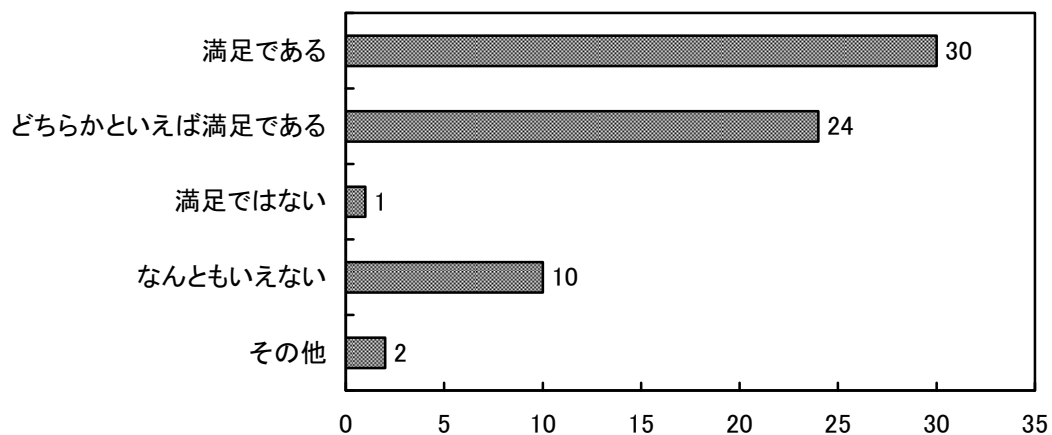
11. 採用された本研究科出身者(修了者・退学者)が、本研究科在学時に身に付けたものは、現在、職務遂行の上の素養として役に立っているとお考えでしょうか？

役に立っている	どちらかといえば役に立っている	役に立っていない	わからない	その他
45	17	0	4	1
68%	25%	0%	6%	1%



12. 採用された本研究科出身者(修了者・退学者)から判断して、本研究科の教育と研究は満足できるものとお考えでしょうか？

満足である	どちらかといえば満足である	満足ではない	なんともいえない	その他
30	24	1	10	2
45%	36%	1%	15%	3%

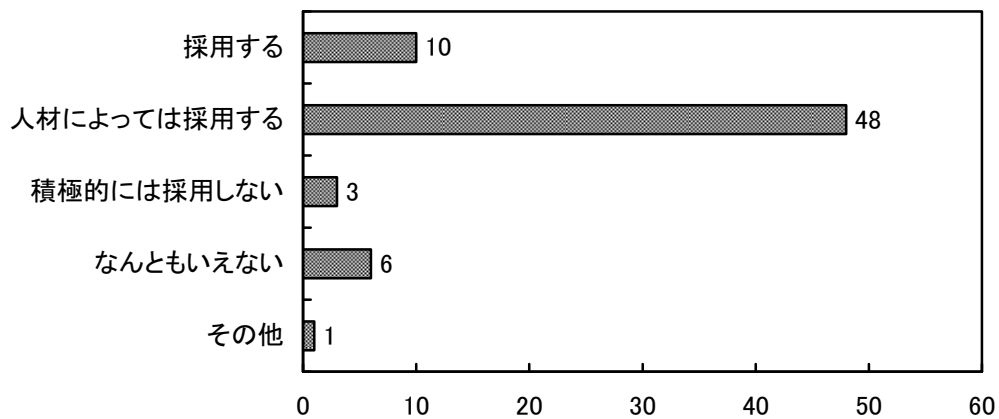


その他のコメント:

- * わかりません
- * 不明

13. 今後も求人の必要が生じたときには本研究科出身者(修了者・退学者)を採用いただけるでしょうか？

採用する	人材によっては採用する	積極的には採用しない	なんともいえない	その他
10	48	3	6	1
15%	71%	4%	9%	1%

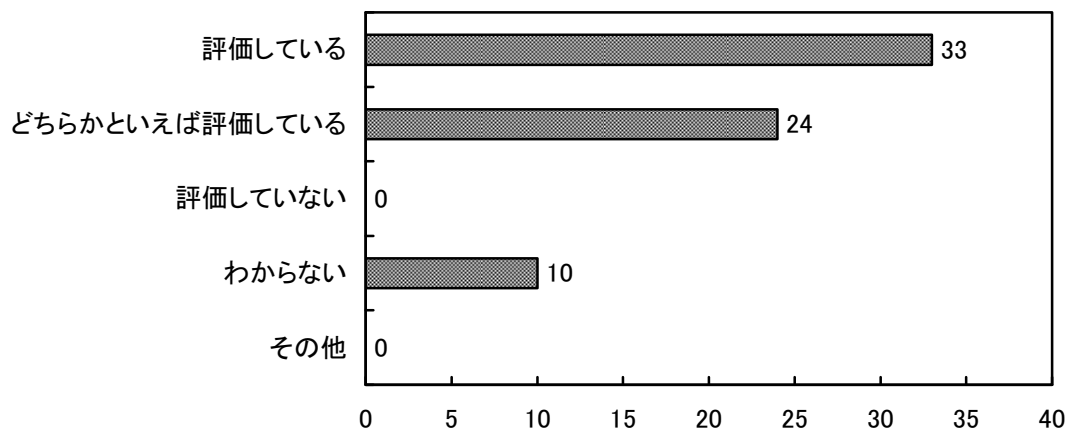


その他のコメント:

- * 不明。本人次第
- * 公募がメインです

14. 以上の事柄などを総合して本研究科の教育と研究をそのように評価いただけますか？

評価している	どちらかといえば評価している	評価していない	わからない	その他
33	24	0	10	0
49%	36%	0%	15%	0%



15. 本連合農学研究科について何か提言があれば是非お書きください。

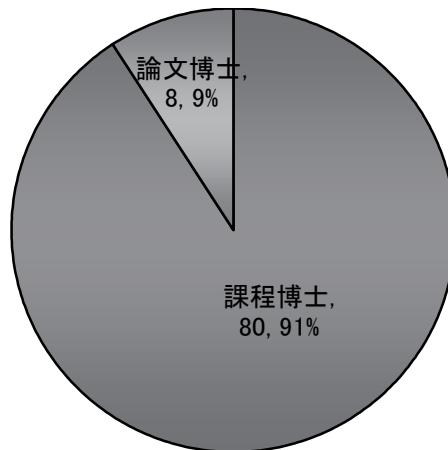
- * 国際性にはもう少し力を入れたほうが良いように思う
- * 採用したものの他にも、ポスドクとして貴研究科出身者が2名在籍しています。今後とも若手研究者の育成を期待しています。
- * We are still pleased to do collaboration with UGSAS.
- * 設問 7,8 は答えにくい設問です。
- * 設問 13.教員採用試験に合格させるようご指導ください。
- * 農業高校との連帯をさらに進めてください。
- * 貴研究科で育成を目指している修学状況人材イメージが不明ですので、貴研究科の評価は不能です。あくまでも人材の資質で判断しています。
- * 良い人材育成に期待いたします
- * 1. 外国人が多すぎて研究レベルを下げている 2. オーバーDr.が多すぎて、進学希望者が減少している。就職させられない研究室は博士院生を受け入れるべきでない
- * 一人の事例で、全体は語るできません。
- * 1. 研究環境のいっそうの充実 2. 外国人とのコミュニケーションが不足しているのでは？ 3. ペーパーの質の向上と3報以上のペーパー
- * We hope that we will have a better cooperation with respect to scientific research and student nurturing.
- * Need to establish linkage between our universities.
- * Currently, the Bangladesh Agricultural University has a linkage program with the Gifu University to facilitate academic and research exchange in the fields of Agricultural Sciences. A few of our graduates and faculty-members who had their higher education at Gifu University are now engaged in teaching and research in respective disciplines, and thus, contributing significantly to the development of Bangladesh Agriculture. Four more faculty members are at present pursuing their higher studies at Gifu University, and we believe, they will apply their knowledge for the benefit of our national economy when they return. It is, therefore, recommended that the current MoU between the BAU and the Gifu University be further strengthened by extending opportunity for higher studies of our young faculty members in greater number at Gifu University. The Gifu University may also come forward to help establish relevant research labs at BAU for proper application of the gained knowledge and skills as well.

- * Applied research on common crops of developed countries should be emphasized for the betterment of poor countries.
- * I will appreciate it if we have more seminar courses with higher levels or from other countries. I think it is very important for a Ph.D. candidate student to acquire some international skills with outside researchers and also is useful to their future careers.
- * 個人的に優秀な人物を採用したとも考えられ、貴大学の評価として受け止められるのは早計か。
- * 外国人については協調性についての重要性に指導をより強化していただけたら幸いです
- * 今後ともよろしくお願いいたします。
- * More open to strangers (?) students (graduate or non-degree courses/summer schools scholarship by UGSAS).
- * 当研究所は 総合企画部 研究開発化の傘下の研究所で、当初独自での採用や採用方針がないため、適切な回答ができません。(中略)このような案件は 岐阜県庁 研究開発課へ問い合わせただけだと、情報が入手できるかと思います

修了生へのアンケート【全集計版】

1. 取得した学位

課程博士	論文博士
80	8
91%	8%

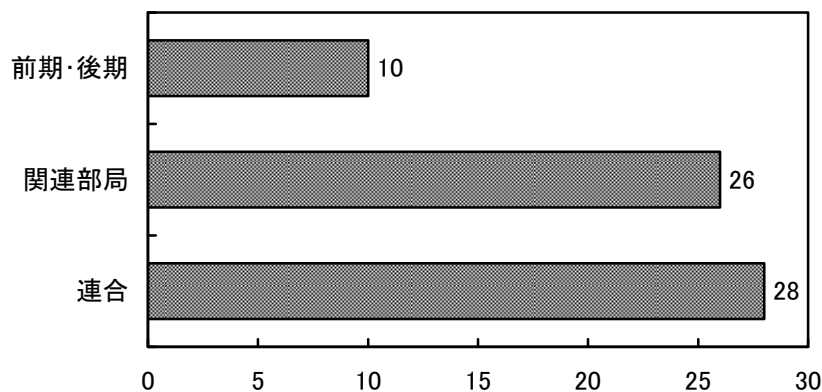


2. あなたはどのような大学院博士課程の構築を望めますか。

- ア. 学部に積み上げた形で博士前期・後期課程として大学院を構築する方法
- イ. 修士課程までは学部に積み上げ、博士課程は大学内の関連部局と一緒に構築する方法(自然科学系研究科等の独立大学院)
- ウ. 複数の大学の関連研究科が連合を組んで博士課程のみを構築する方法(本研究科該当)

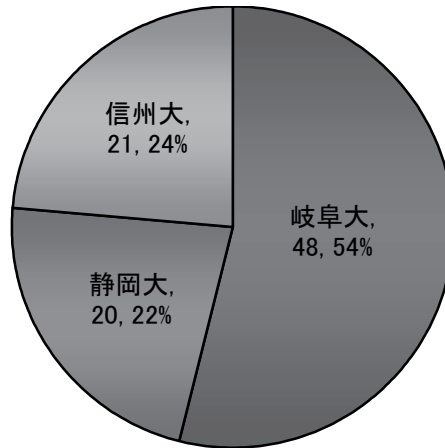
注: 英語版のアンケートにはこの設問はなかったため、集計は日本語版の回答のみを使った。

前期・後期	関連部局	連合
10	26	28
16%	41%	43%



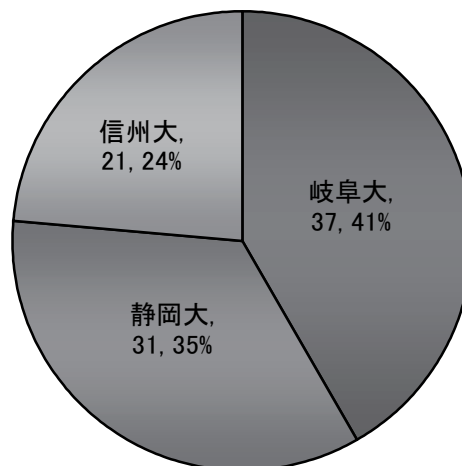
3. 配置大学名

岐阜大	静岡大	信州大
48	20	21
54%	22%	24%



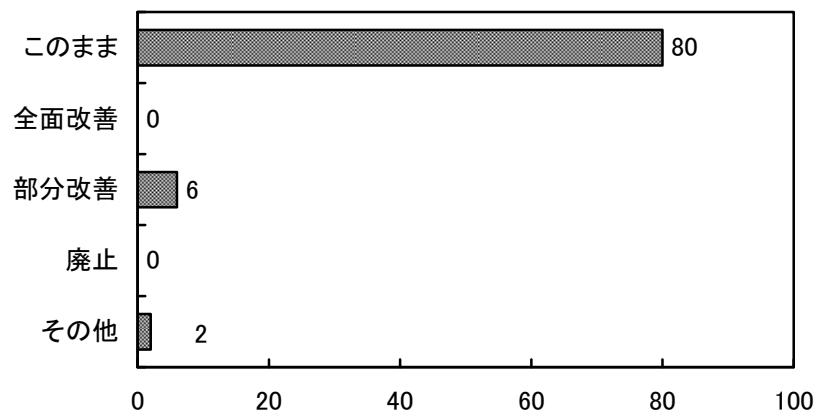
4. 第2副指導教員の配置大学

岐阜大	静岡大	信州大
37	31	21
41%	35%	24%



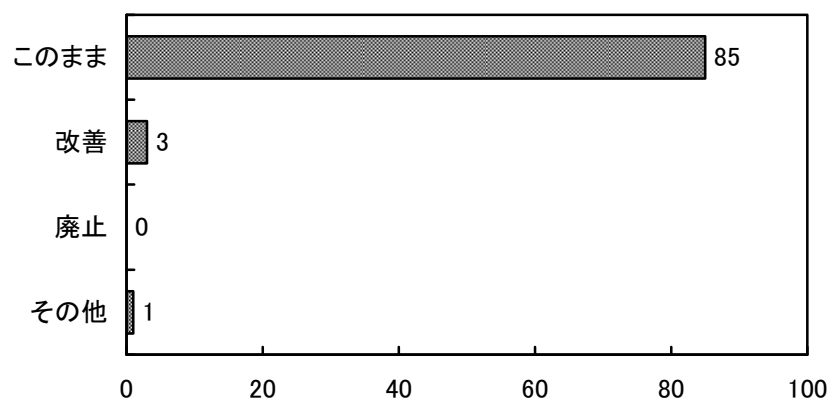
5. 入学試験方法について

このままでよい	全面的に改善すべき	部分的に改善すべき	廃止すべき	その他
80	0	6	0	2
91%	0%	7%	0%	2%



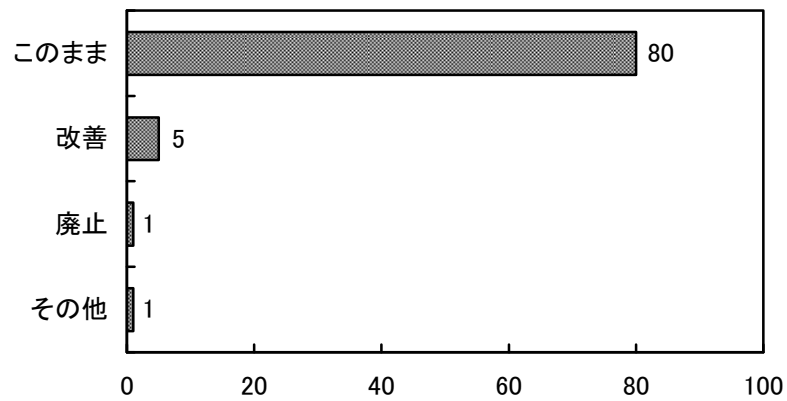
6. 入学試験の時期と回数について（現在は、9月と2月の2回行っております。英語特別コースは別途行っております。）

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
85	3	0	1
96%	3%	0%	1%



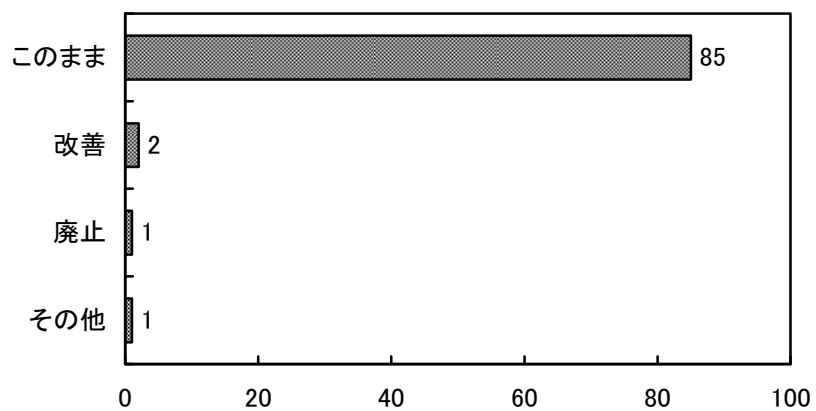
7. 入学式について(4月と10月の2回です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
80	5	1	1
92%	6%	1%	1%



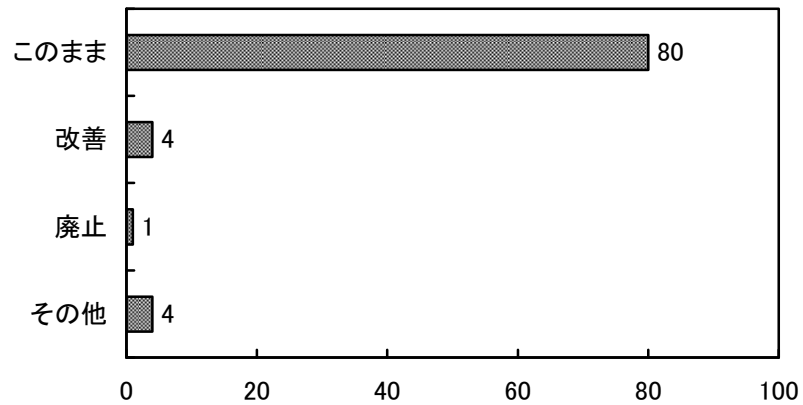
8. オリエンテーションについて

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
85	2	1	1
96%	2%	1%	1%



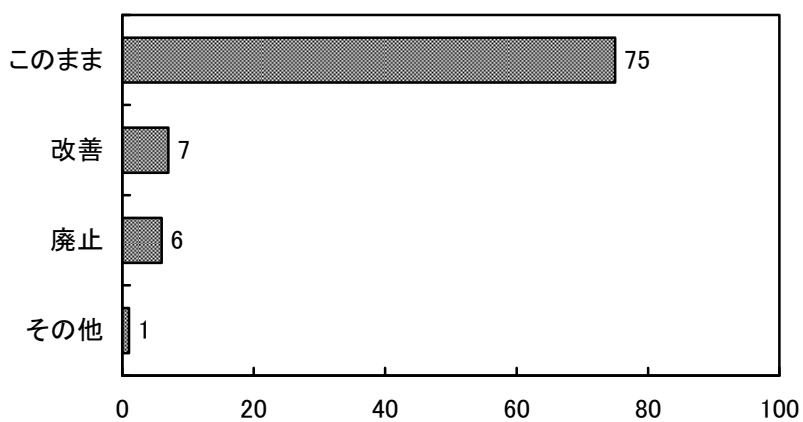
9. 入学時の研究計画書の書き方

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
80	4	1	4
91%	4%	1%	4%



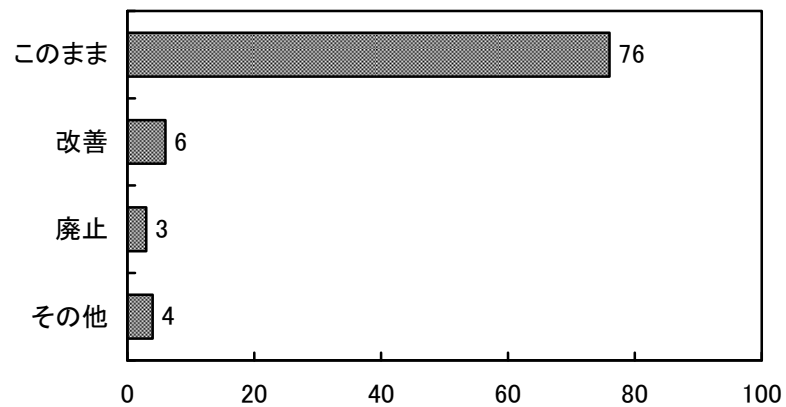
10. ゼミナール(一般)(合宿形式のゼミナールです)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
75	7	6	1
84%	8%	7%	1%



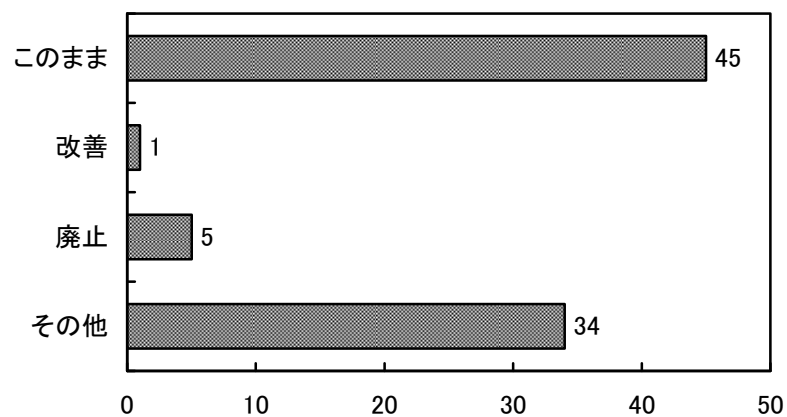
11. 共通ゼミナール(特別)(各教員が行う集中講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
76	6	3	4
86%	7%	3%	4%



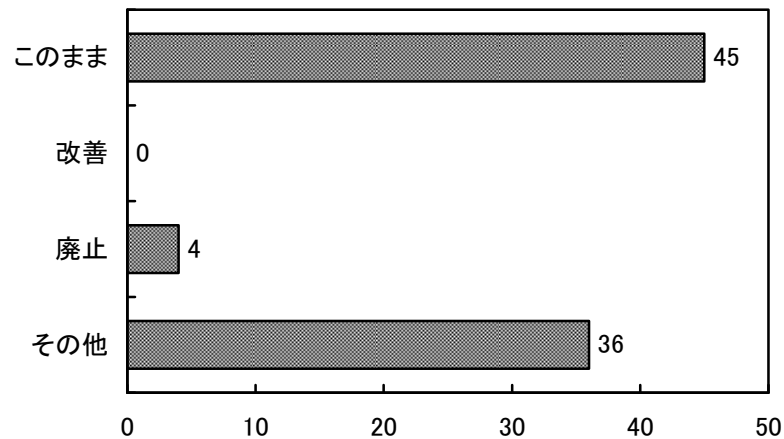
12. SCS連合一般ゼミナール(日本語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う日本語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
45	1	5	34
53%	1%	6%	40%



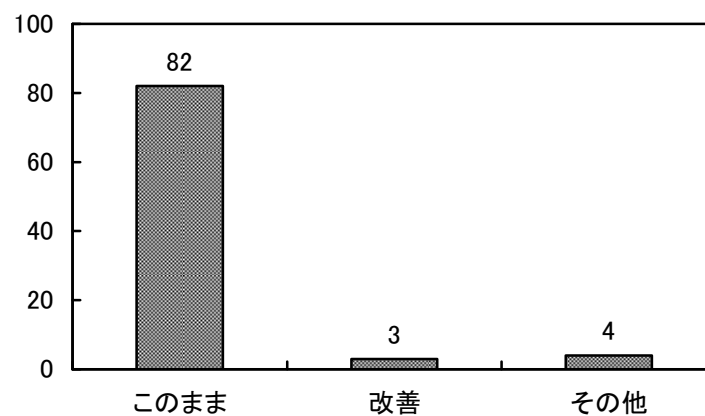
13. SCS連合一般ゼミナール(英語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う英語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
45	0	4	36
53%	0%	5%	42%



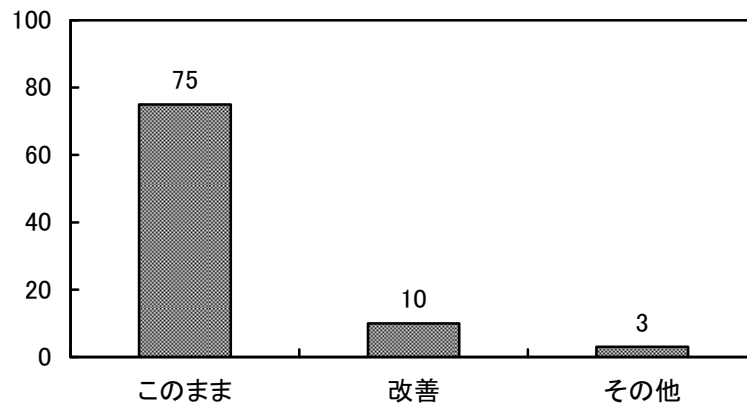
14. 主指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
82	3	4
93%	3%	4%



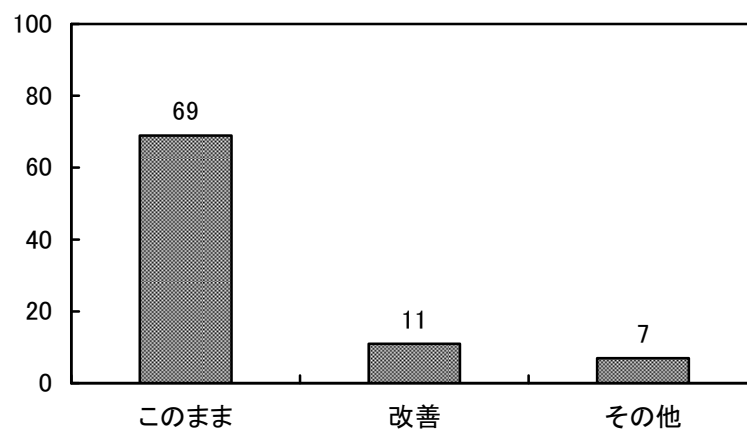
15. 第1副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
75	10	3
86%	11%	3%



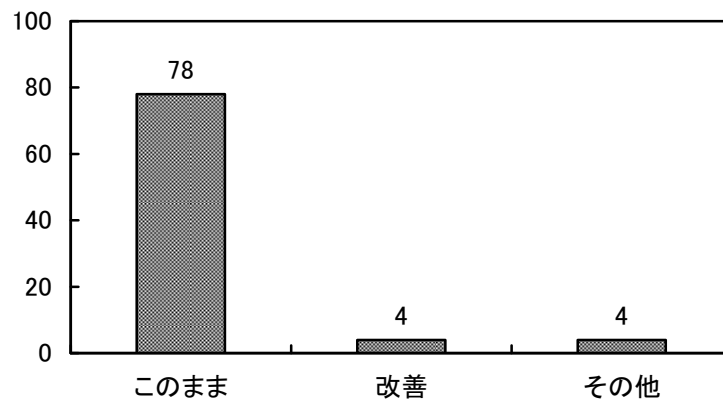
16. 第2副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
69	11	7
79%	13%	8%



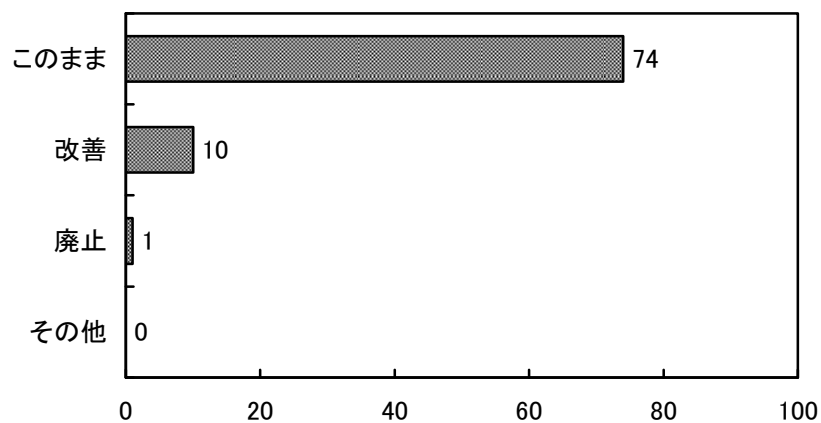
17. 専任教員（Prof. Shinoda）の指導及び対応について

このままでよい	改善すべき	その他
78	4	4
90%	5%	5%



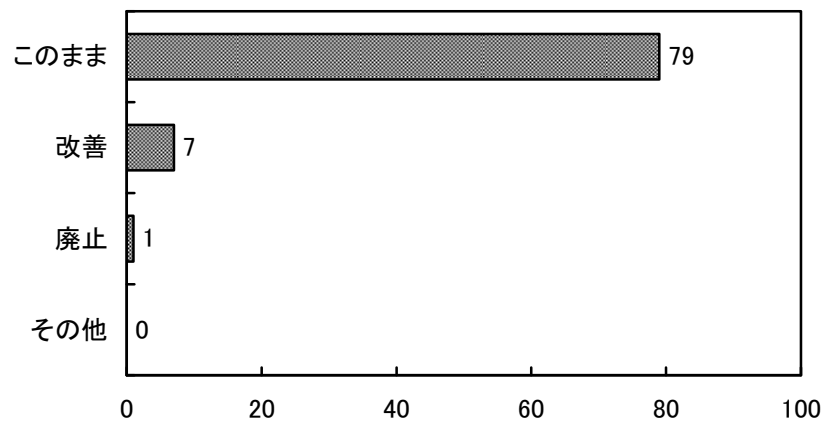
18. 中間発表の時期について(修了年度の夏頃に行っております)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
74	10	1	0
87%	12%	1%	0%



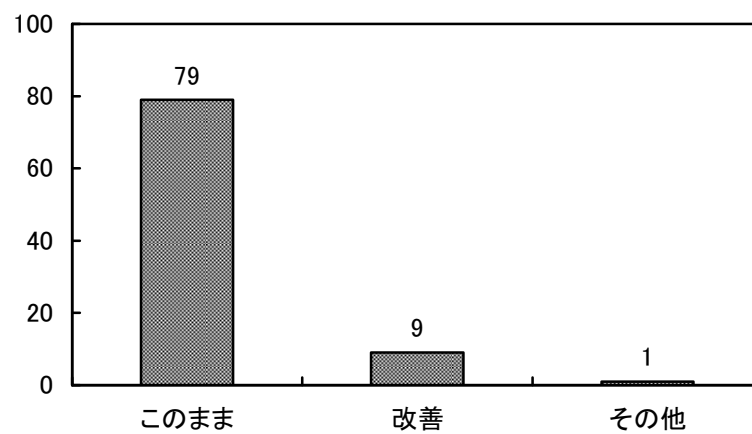
19. 中間発表の方法について(レジメの提出と40分程度の発表です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
79	7	1	0
91%	8%	1%	0%



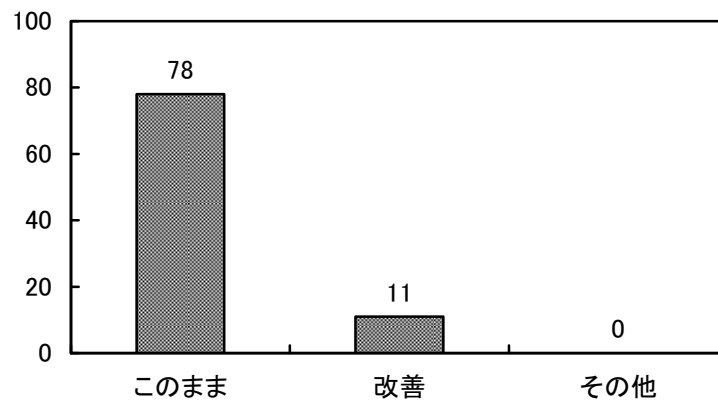
20. 学位申請時期(12月と6月が締め切りです)

このままでよい	改善すべき	その他
79	9	1
89%	10%	1%



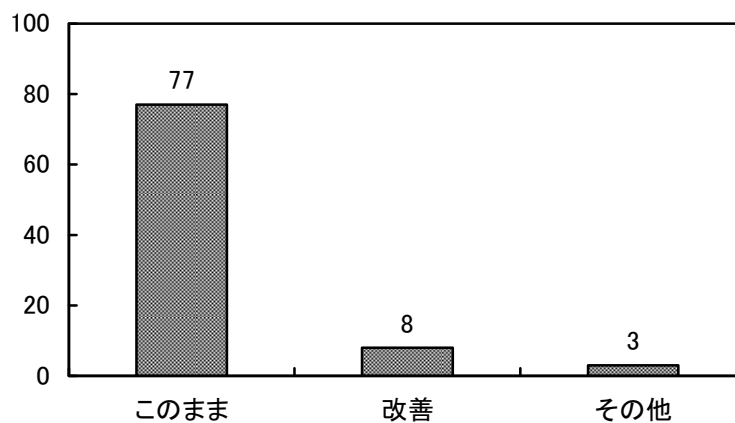
21. 学位申請条件(最低トップオーサーで国際雑誌に2報を要求しております)

このままでよい	改善すべき	その他
78	11	0
88%	12%	0%



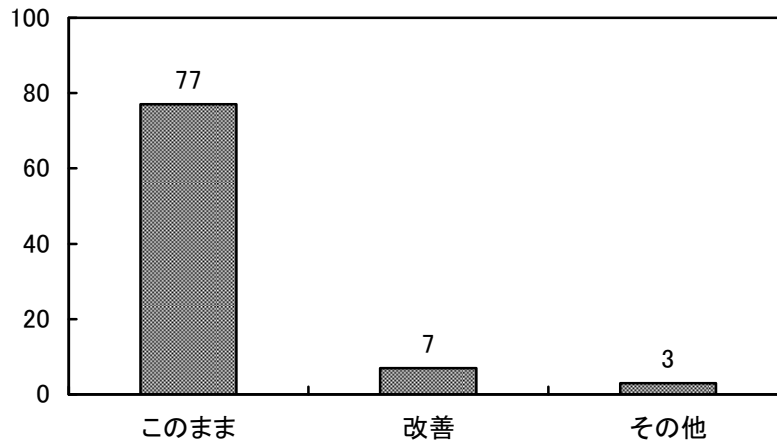
22. 学位記の記載事項(現在は、設置校名(岐阜大学)で発行しております)

このままでよい	改善すべき	その他
77	8	3
88%	9%	3%



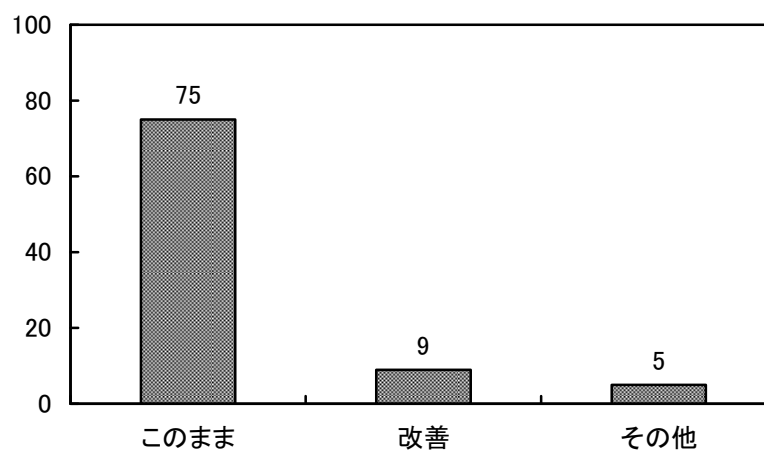
23. 学位記の種類について(現在は、博士(農学)です)

このままでよい	改善すべき	その他
77	7	3
89%	8%	3%



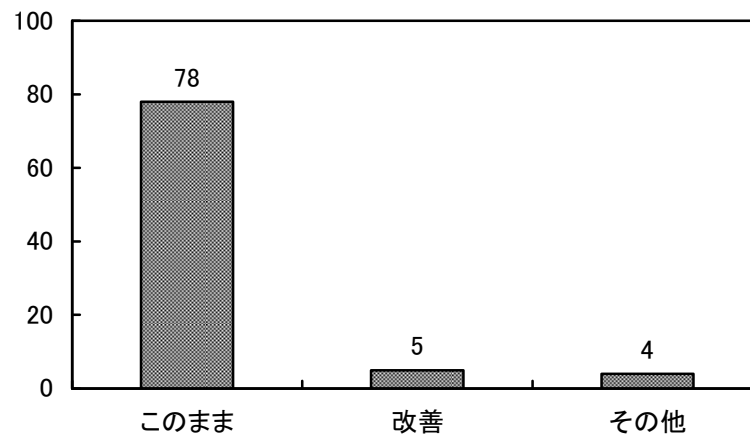
24. 学生への通知文書のありかた

このままでよい	改善すべき	その他
75	9	5
84%	10%	6%



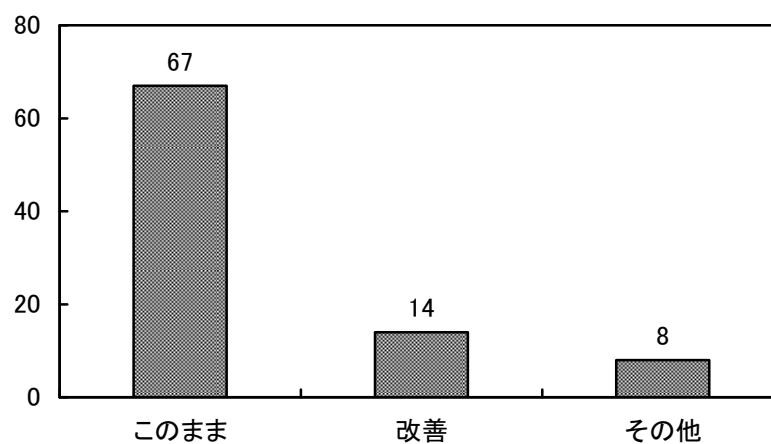
25. 職員の対応

このままでよい	改善すべき	その他
78	5	4
89%	6%	5%



26. 学生へのバックアップ体制について

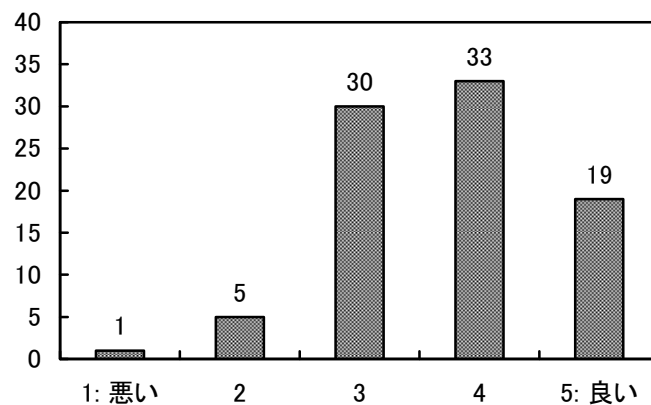
このままでよい	改善すべき	その他
67	14	8
75%	16%	9%



27. 次の各項目は、1から5にランクしてあります。「標準を3とし、1が最低、5が最高」です。適切と思う番号に○をつけてください。

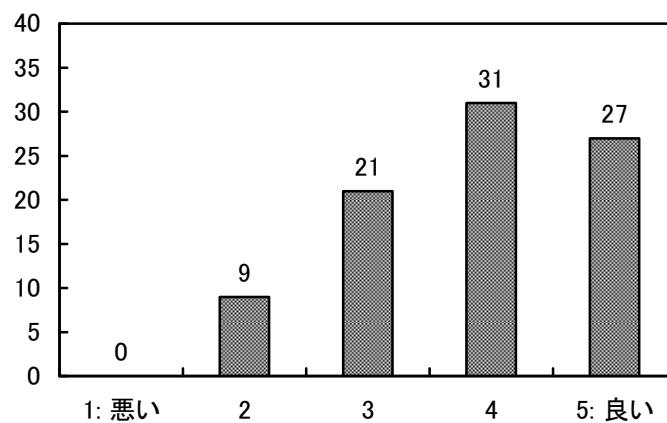
A. 連合農学研究科での学生生活はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
1	5	30	33	19
1%	6%	34%	37%	22%



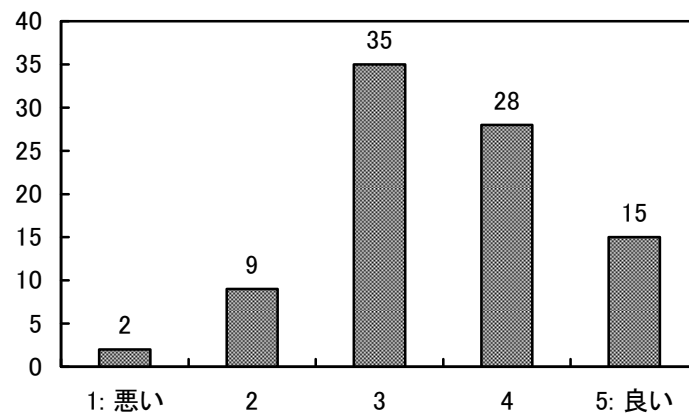
B. 指導体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
0	9	21	31	27
0%	10%	24%	35%	31%



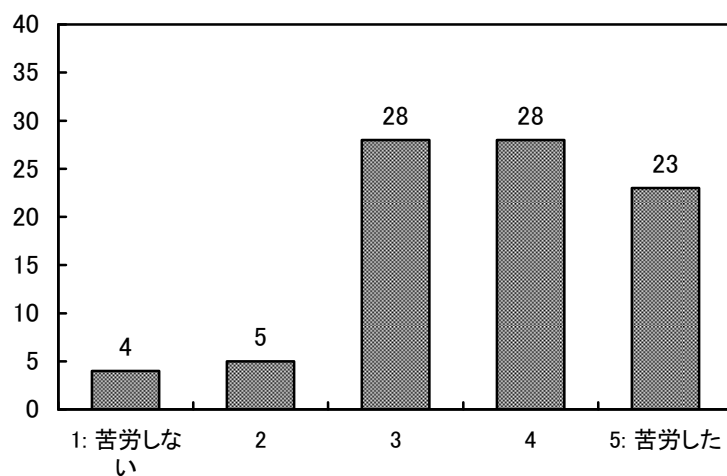
C. 事務などのサポート体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
2	9	35	28	15
2%	10%	40%	31%	17%



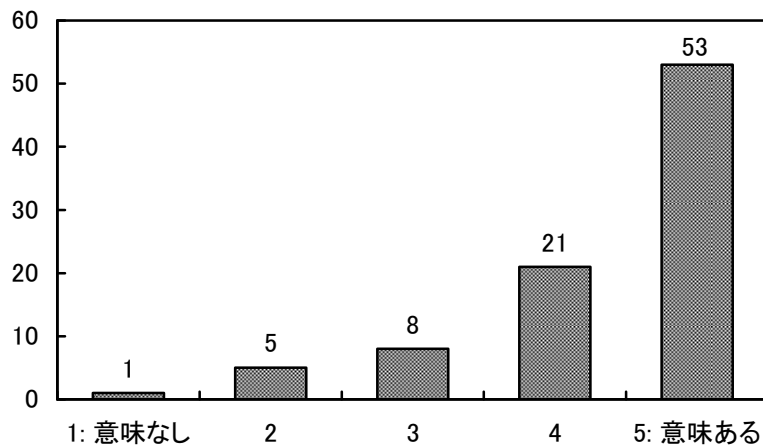
D. 学位を取得するのに苦労しましたか。

1: 苦労しない	2	3	4	5: 苦労した
4	5	28	28	23
5%	6%	31%	32%	26%



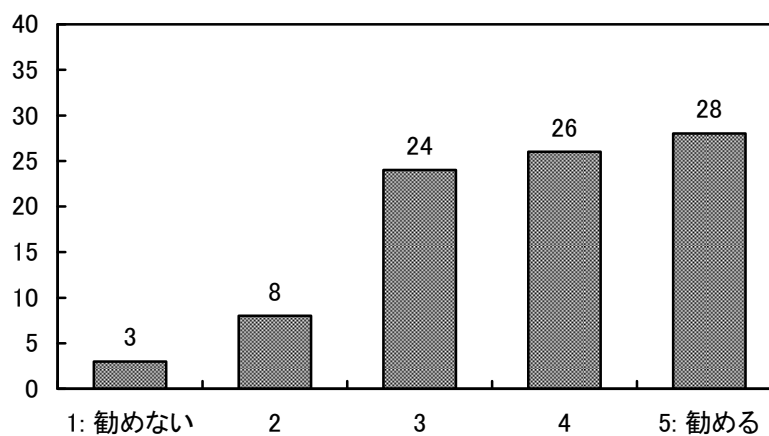
E. 学位を取得した意味はありますか。

1: 意味なし	2	3	4	5: 意味ある
1	5	8	21	53
1%	6%	9%	24%	60%



F. あなたは岐阜大学大学院連合農学研究科を後輩に勧めますか。

1: 勧めない	2	3	4	5: 勧める
3	8	24	26	28
3%	9%	27%	29%	32%



注:コメント等は全て省略

修了生へのアンケート【日本人版】

1. 取得した学位

課程博士	論文博士
58	0
100%	0%

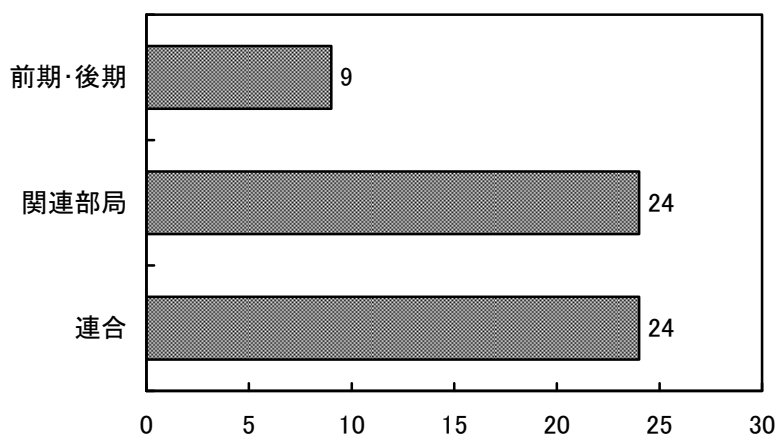
<取得年月>

1994.3	1994.9	1995.3	1996.3	1996.9	1997.3	1997.9	1998.3	1998.9	1999.3	1999.9
2	1	3	1	1	2	1	5	1	5	2
4%	2%	5%	2%	2%	4%	2%	9%	2%	9%	4%
2000.3	2001.3	2001.9	2002.3	2003.3	2004.3	2004.9	2005.3	2006.3	2007.3	2008.3
4	1	1	3	7	4	3	4	4	1	1
7%	2%	2%	5%	12%	7%	5%	7%	7%	2%	2%

2. あなたはどのような大学院博士課程の構築を望めますか。

- ア. 学部に積み上げた形で博士前期・後期課程として大学院を構築する方法
- イ. 修士課程までは学部に積み上げ、博士課程は大学内の関連部局と一緒に構築する方法
(自然科学系研究科等の独立大学院)
- ウ. 複数の大学の関連研究科が連合を組んで博士課程のみを構築する方法(本研究科該当)

前期・後期	関連部局	連合
9	24	24
16%	42%	42%

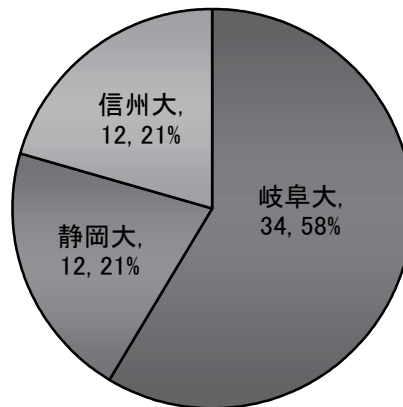


その他の意見:

* 利点欠点が分からないので○をつけるのは控えます。

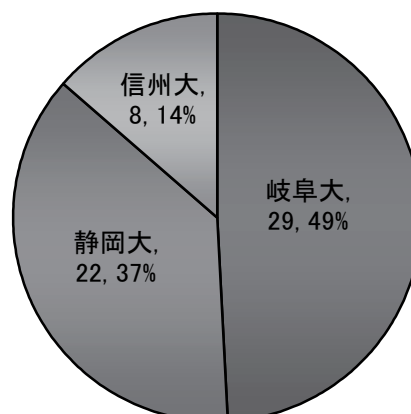
3. 配置大学名

岐阜大	静岡大	信州大
34	12	12
58%	21%	21%



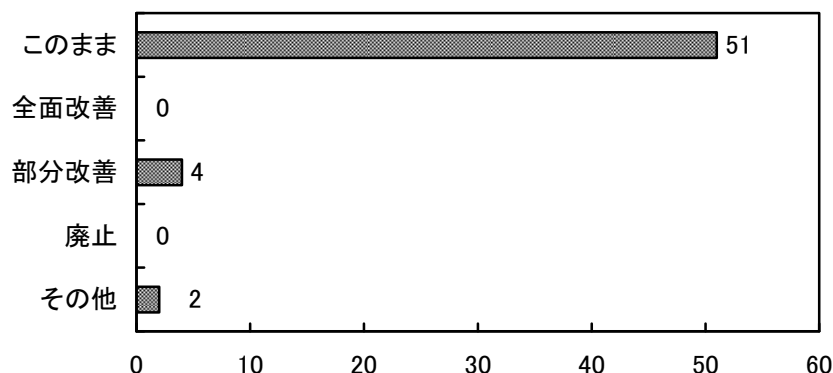
4. 第2副指導教員の配置大学

岐阜大	静岡大	信州大
29	22	8
49%	37%	14%



5. 入学試験方法について

このままでよい	全面的に改善すべき	部分的に改善すべき	廃止すべき	その他
51	0	4	0	2
89%	0%	7%	0	4%



前面、部分改善、の例:

- * TOEIC, TOEFL のスコアが良好ならば、外国語受験は免除; 専門は従来通り
- * もう少し英語を重視した入試にしてはどうでしょうか?
- * 配置大学

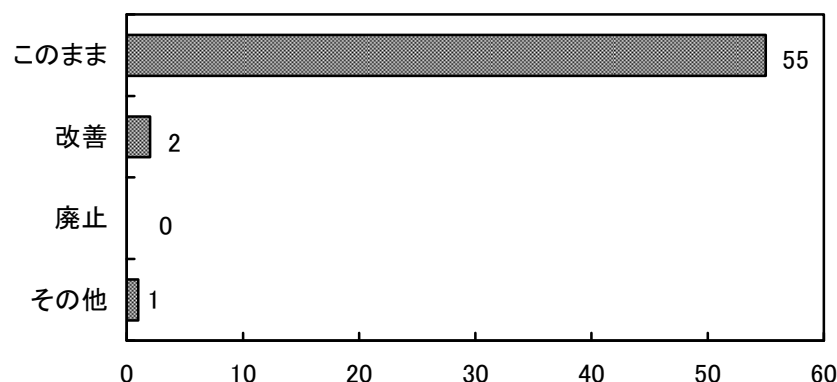
- * (主指導教員の) 専門科目は知っていて当然である→縮小可

その他の意見:

- * 指導教員に任せる(主査)

6. 入学試験の時期と回数について(現在は、9月と2月の2回行っております。英語特別コースは別途行っております。)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
55	2	0	1
95%	3%	0%	2%

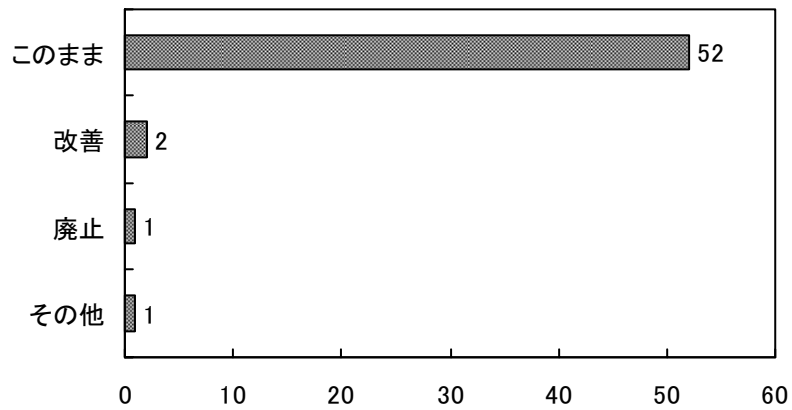


改善の例:

- * 英語特別コースはいらない。入学形態を少なくするべき、大変だから。
- * 社会人留学などを考慮して、随時試験を行っては？入学期とは別。

7. 入学式について(4月と10月の2回です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
52	2	1	1
92%	4%	2%	2%

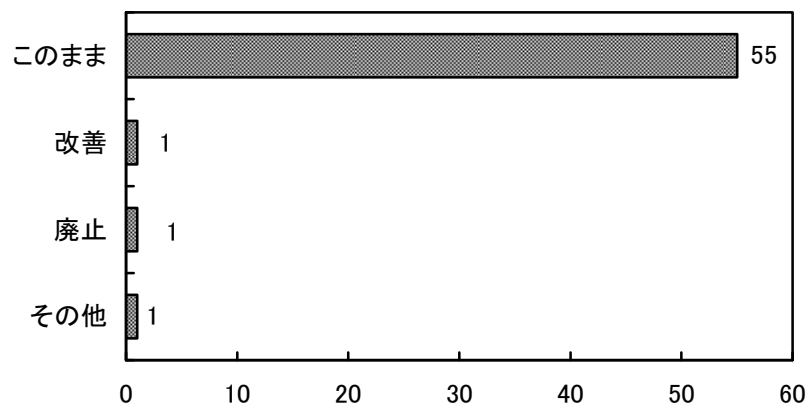


改善の例:

* 4月の1回 x2

8. オリエンテーションについて

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
55	1	1	1
94%	2%	2%	2%



改善の例:

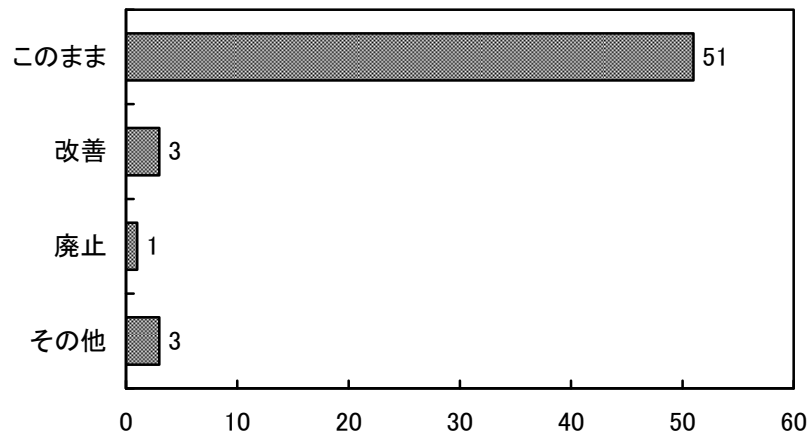
* もっと短くできないか

その他の意見:

* 現状が分からない

9. 入学時の研究計画書の書き方

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
51	3	1	3
88%	5%	2%	5%



改善の例:

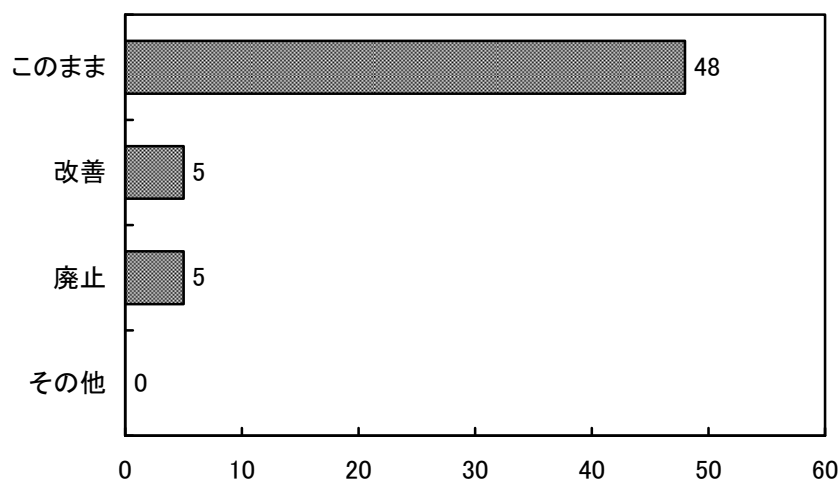
- * 書きっぱなしで、後から「実際はどうだったか」見直した記憶がない。見直して計画を作り直す、とか反省するとかの機会があっても良いのではないかな？
- * 博士課程に入って研究テーマが決まるような場合は、ある程度研究の方向性が決まってからでよいのでは。
- * アクションプランをより明確に

その他の意見:

- * 指導教員との覚書程度、研究の進捗しだいに変更できるよう flexible に構えては？
- * 書いた記憶がありません

10. ゼミナール(一般)(合宿形式のゼミナールです)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
48	5	5	0
82%	9%	9%	0%



改善の例:

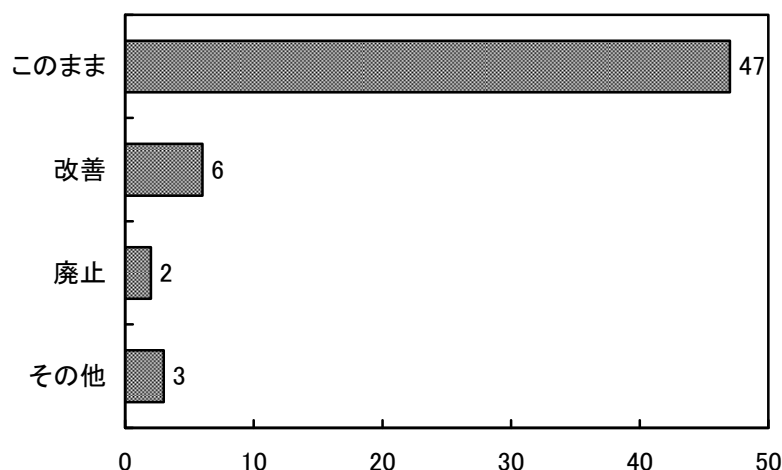
- * 専門外の学識を習得させ、農学全体を大所高所から見渡す機会として意義がある。その意味では教員よりもOB,OGで独法等の研究所、大学教員をしている者を演者として呼んでみてはどうか？
- * 研究の進め方、方法論、あるいは教官の苦労話等研究を続ける上で参考になる話、等、専門分野だけでなく、他の分野の現状等の講義、ディスカッションがあればよい。「研究交流」等の時間はあるが、1年生より、2年、3年生のほうがいろいろ話せるのではないだろうか？
- * 英語ですべてやってはどうでしょうか？
- * 合宿形式の廃止、各分野の先端研究者による講義の導入

その他の概要:

- * 日常の研究と違う切り口で学問に接することが出来る貴重な機会だと思っております。

11. 共通ゼミナール(特別)(各教員が行う集中講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
47	6	2	3
82%	10%	3%	5%



改善の例:

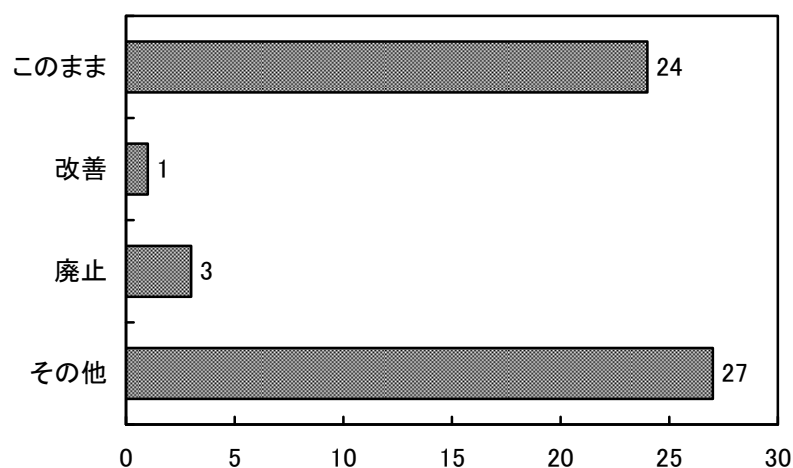
- * 必ず3大学を回るようにする
- * 回数を増やす
- * 講義分野に偏りがある。学生の多い専攻、少ない専攻があるから仕方ない?
- * レポート提出だけでよいなど、形式化している
- * 時間の制約が厳しいので、減らしてもよいのでは
- * 英語(論文執筆)講義を集中的に行ったほうがよい

その他の概要:

- * 時間をもっと増やしてもいいと思う
- * 内容を知らない
- * 記憶にない

12. SCS連合一般ゼミナール(日本語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う日本語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
24	1	3	27
44%	2%	5%	49%



改善の例:

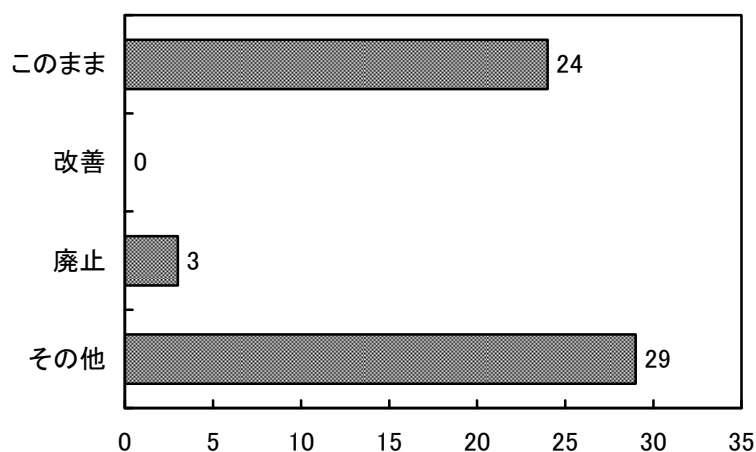
- * 回数を増やす

その他の概要、意見:

- * 受講していないのでわからない x16
- * 私の在学中、このような講義はありませんでしたので、実態は承知しておりませんが、離れたキャンパスに在学する学生が同じ講義を映像で共有できるのはよいことだと思います。

13. SCS連合一般ゼミナール(英語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う英語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
24	0	3	29
43%	0%	5%	52%

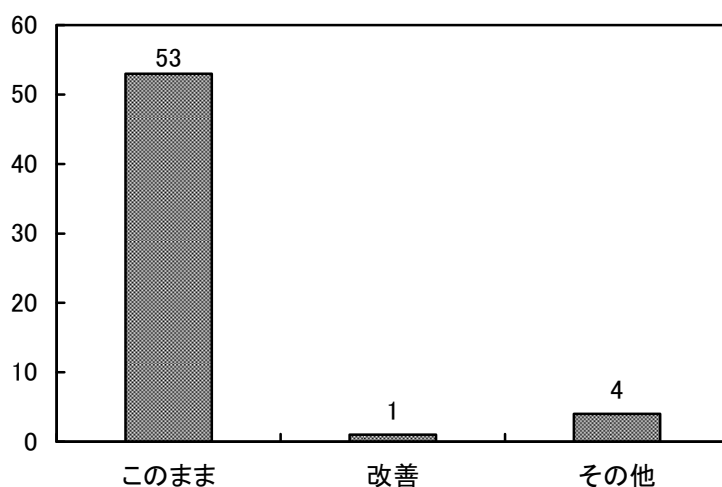


その他の概要、意見:

- * わからない、受講していないのでわからない x16
- * 私の在学中、このような講義はありませんでしたので、実態は承知しておりませんが、離れたキャンパスに在学する学生が同じ講義を映像で共有できるのはよいことだと思います。これに加えて留学生は日本語での講義は単に形式的に聴いているだけになりやすく、英語で講義が行われれば、より実効性のあるものになると思います。

14. 主指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
53	1	4
91%	2%	7%



改善の例:

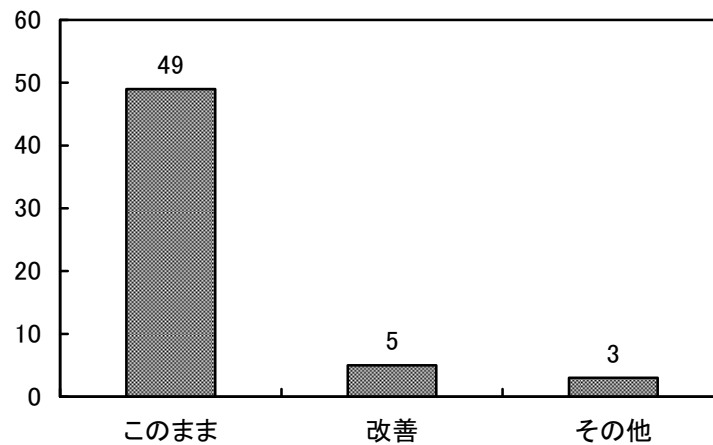
- * 英語指導教員を特別に加えた方がよい

その他の概要、意見:

- * 設問の意図がよく分からないが、指導方法は、教員により、様々であるので、選択肢から選ぶものでもない。
- * 教員ごとに問題がある場合もある

15. 第1副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
49	5	3
86%	9%	5%

改善の例:

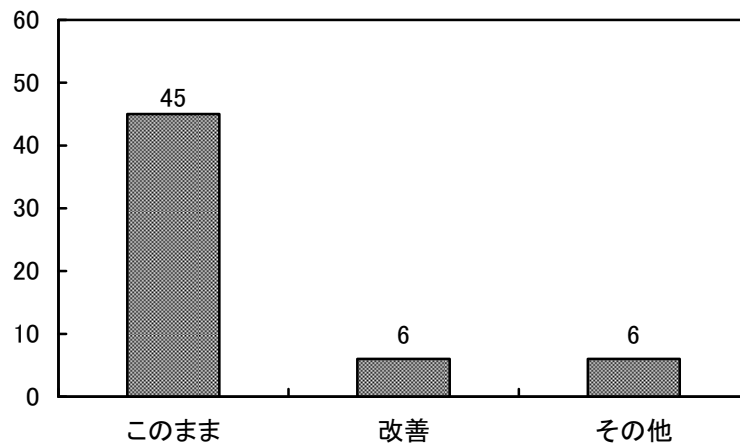
- * 課程の中で関わり方をより深めるべき
- * 廃止するか、連絡指導を密にするか。
- * 第1、第2とも副指導教員の先生方から実際にご指導を受けることは少なかったと思います。
- * 英語指導教員を特別に加えた方がよい
- * 年に一回ぐらいは研究の進歩を報告する(受ける)機会を設けるべき。現在、中間発表のみ？副指導教員としての役割が不透明。

その他の概要、意見:

- * 設問の意図がよく分からないが、指導方法は、教員により、様々であるので、選択肢から選ぶものでもない。

16. 第2副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
45	6	6
78%	11%	11%



改善の例:

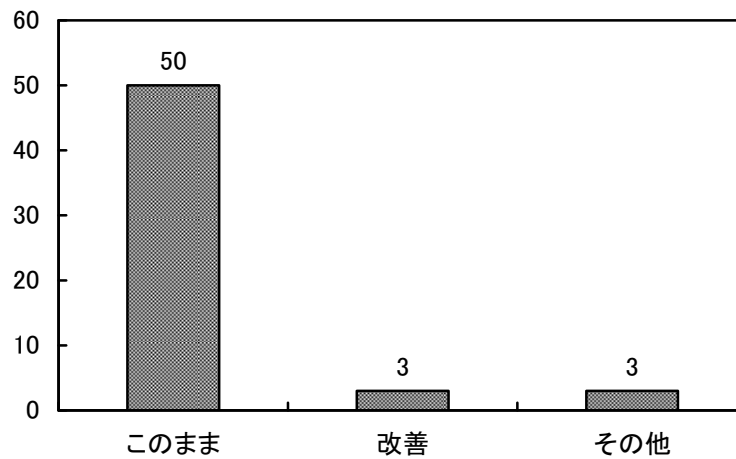
- * 課程の中で関わり方をより深めるべき
- * 普段お会いできないので、コンタクトを取れる方法を考える
- * 廃止するか、連絡指導を密にするか。
- * 第1、第2とも副指導教員の先生方から実際にご指導を受けることは少なかったと思います。
- * 英語指導教員を特別に加えた方がよい
- * 年に一回ぐらいは研究の進歩を報告する(受ける)機会を設けるべき。現在、中間発表のみ？副指導教員としての役割が不透明。

その他の概要、意見:

- * 専任教官等が入ったほうが良い。兼任で4年生、修士も指導されているのを見ると大変だと思う。
- * 学位論文作成以外の指導は受けなかった。
- * 設問の意図がよく分からないが、指導方法は、教員により、様々であるので、選択肢から選ぶものでもない。

17. 専任教員の指導及び対応について

このままでよい	改善すべき	その他
50	3	3
90%	5%	5%

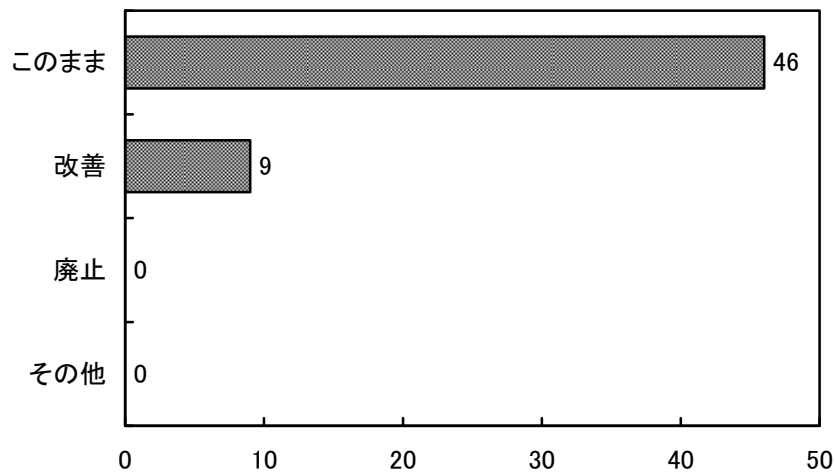


改善の例:

- * 現状の複数の大学が連合を組む方式ならば、大学毎に専任教員が一名以上居たほうが良いと思う。
- * 学生から見た場合の専任教員の役割が不明瞭でしたので、研究活動をプロモートするご活躍を望みます
- * 英語指導教員を特別に加えた方がよい

18. 中間発表の時期について(修了年度の夏頃に行っております)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
46	9	0	0
84%	16%	0%	0%

改善の例:

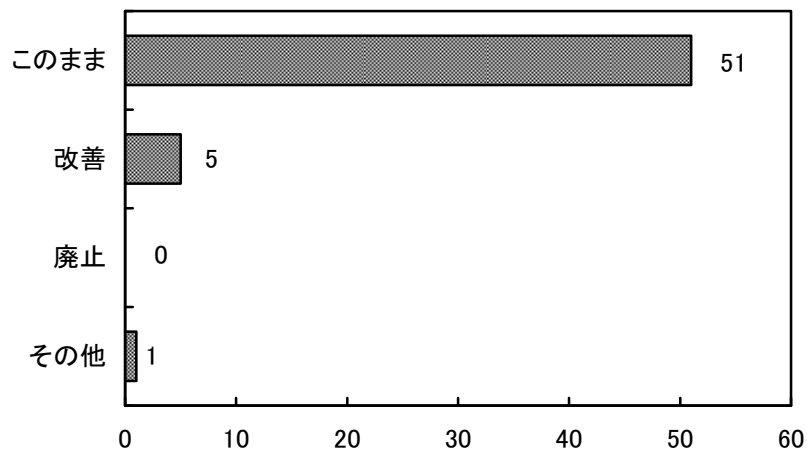
- * 3 年次夏にメドが立たない者(実験の失敗、学会での審査の遅れ等)もいるはずだから学位取得前に、例えば論文提出後に一回実施し、最終審査の予行的着色付け(?)とする
- * もう少し(半年)早めても良いのでは
- * 2 年次の夏期が望ましく思います。修了年度の夏では、提出までの残余期間が短く、中間発表としての意義が薄れる感があります。
- * 修了年度の一年前か一年半前くらい
- * 一年次修了時を追加する
- * 修了年度が始まった頃
- * もう少し前に行く。研究データや方針の再検討が必要となると、早い時期であることが望ましい。
- * もう少し早い時期

その他の意見:

- * 在学時には行われていなかったと思います。

19. 中間発表の方法について(レジメの提出と40分程度の発表です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
51	5	0	1
89%	9%	0%	2%



改善の例:

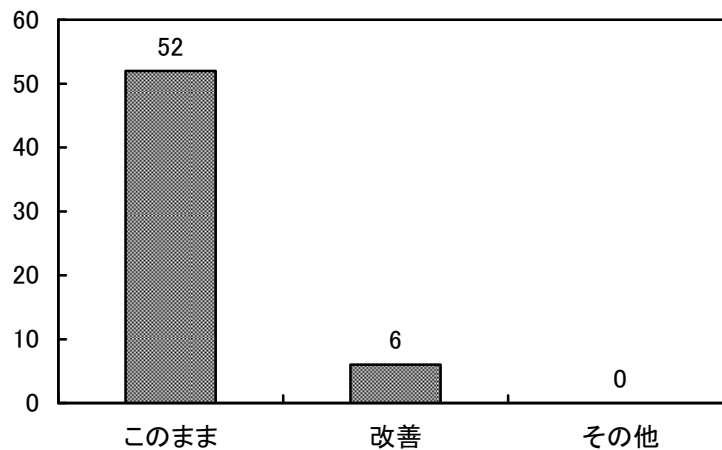
- * 類似分野の合同形式
- * 今後の研究の進め方についての検討を含める
- * 20分、ただし質問も20分
- * 中間発表の時期にも関係すると思う。早期であれば40分程度でもよいが、現在の時期では60分程度。
- * レジメ不要

その他の意見:

- * 在学時には行われていなかったと思います。

20. 学位申請時期(12月と6月が締め切りです)

このままでよい	改善すべき	その他
52	6	0
90%	10%	0%

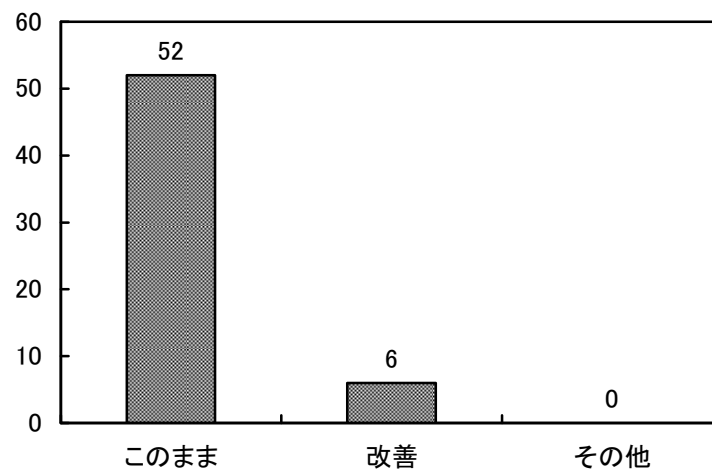


改善の例:

- * トップオーサー2 報出せばいつでも申請できるように前倒しできる自由度があっても良いように思います。
- * 12 月は少し早い気がします。
- * いつでも申請、学位がもらえるようにすべき
- * あと2 週間か3 週間遅くてもよいのでは？
- * 12 月、3 月、6 月、9 月、を締め切りにしたほうがよいと思います。
- * 投稿論文の受理は審査員の怠慢等によって遅れることもあるので、締切を若干遅くしてもよいのではないかと考えます。

21. 学位申請条件(最低トップオーサーで国際雑誌に2報を要求しております)

このままでよい	改善すべき	その他
52	6	0
90%	10%	0%



改善の例:

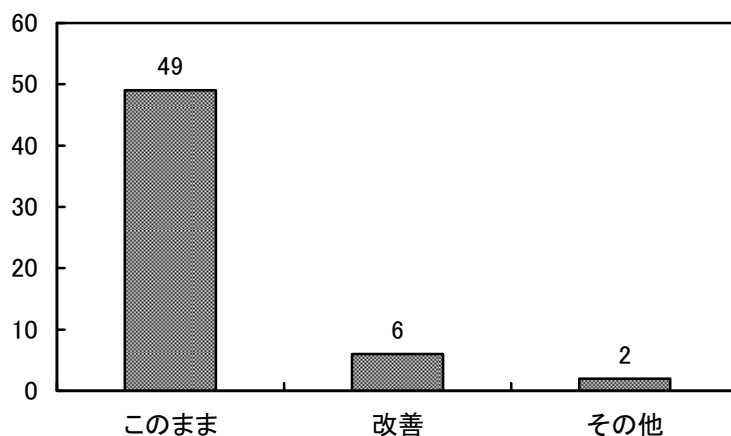
- * 指導教員の判断で、レベルの高い学術誌に1報のればよいと思う
- * 有名誌なら1報でOKにするべき。無名すぎる雑誌は×
- * 国際雑誌にトップオーサーで1報
- * 3報位あった方がレベルが向上するのではないか。(1報はファーストでなくても可)
- * 1報
- * 「トップ2」or「トップ1+セカンド2」など、研究内容によって選択

その他の意見:

- * 当初は国内雑誌(学会3人以上)でもよかったのでは？

22. 学位記の記載事項(現在は、設置校名(岐阜大学)で発行しております)

このままでよい	改善すべき	その他
49	6	2
85%	11%	4%



改善の例:

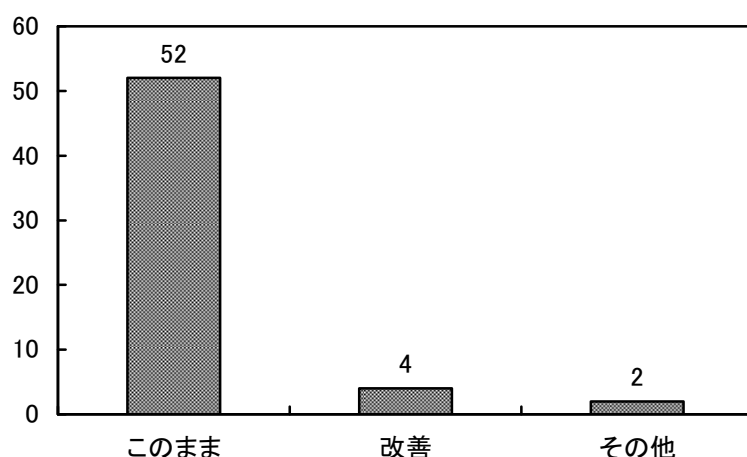
- * 在籍する大学名
- * 配置大学
- * 岐阜大学に統一でもいいと思います。
- * 各大学(出身の大学)の方が実際にそくしている
- * 配置大学でも可とする
- * 配置大学への思いもあるので例えば併記する等

その他の意見:

- * 連名にするか、主に研究を行った大学にしては、と思うことがありました。「改善すべき」とまでは感じませんでしたので「ウ. その他」に致しました。
- * ア. 岐阜大学単独で設置する場合 イ. 他の構成大学名を入れるべきだと思います。
- * 実際に指導を受けた大学が明記されていさえすれば現状のままで問題ないと思います。

23. 学位記の種類について(現在は、博士(農学)です)

このままでよい	改善すべき	その他
52	4	2
90%	7%	3%

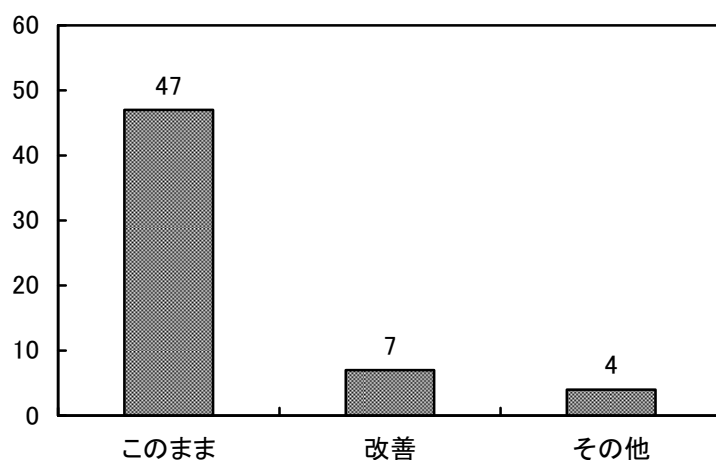


改善の例:

- * 博士(学術)など。「農学」に合致しない研究も多いと思われる。
- * 実質的には「農学」が合っていない
- * 知名度の向上。世間ではまだ「農学博士」。
- * 「農学博士」との違いはあるのか?よく質問される

24. 学生への通知文書のありかた

このままでよい	改善すべき	その他
47	7	4
81%	12%	7%



改善の例:

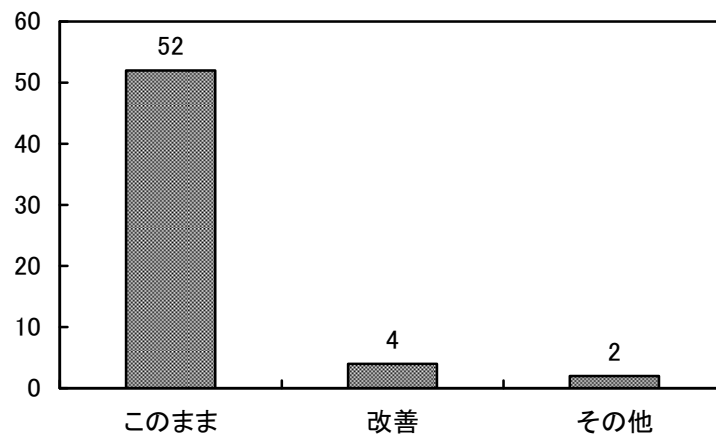
- * email の活用で助成金情報を流すなど
- * 留学生に対応して英語表記を徹底すべき
- * 岐阜をすべての窓口にしてもよいと思います。
- * 直接本人(FAX でも郵送でも)に送付してほしかった(すべて指導教官から渡されていた)
- * email とウェブサイトの活用
- * 社会人の場合、指導教官と本人に通知がほしい
- * メール配信を加える

その他の意見:

- * 覚えていない

25. 職員の対応

このままでよい	改善すべき	その他
52	4	2
90%	7%	3%



改善の例:

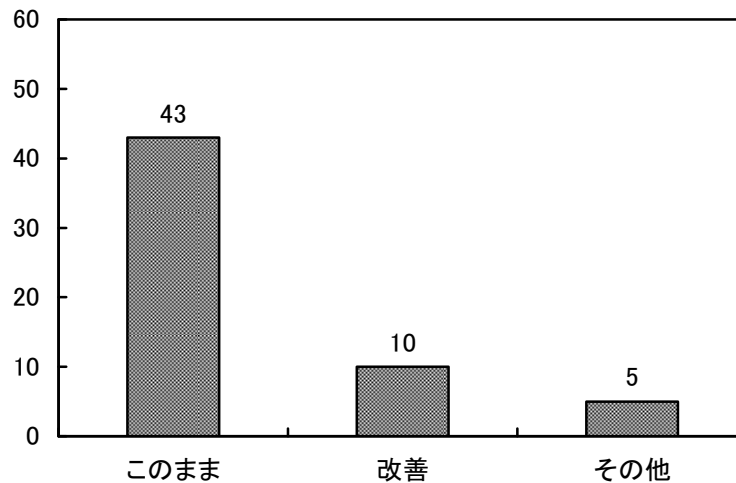
- * (当時は)非常に態度が悪い方がいた(威張っていたり、面倒臭そうだったり)
- * 配置大学の職員が不明瞭で内容をよく知らない
- * 留学生へのケアを充実させるべき
- * 連合大学では書類の郵送に時間がかかる。できるだけ対応を早くした方がいい

その他の意見:

- * 岐阜大の先生、職員方は、とても親切に対応してくれています。
- * 卒業後、数年後に証明書の取り寄せをお願いした時、とても丁寧にご対応いただきました。今でも、よく記憶に残っています。

26. 学生へのバックアップ体制について

このままでよい	改善すべき	その他
43	10	5
74%	17%	9%



改善の例:

- * 修了後、3年～5年間の任期付助手として研究生のスタートアップを支援すべき。どうしても・・・クラスの者より就職で・・・リスクが高い以上、期限付きでも安心して研究生活を送り、研究成果を出す機会を与えるべき。
- * 就職の支援を切に要望します。
- * (当時を考えて)バックアップ体制を学生にアピールしていただきたい。迎え入れる雰囲気づくりを心がけて頂きたい。
- * 留学生へのケアを充実させるべき
- * 連絡を密にしたほうがよいと思います。
- * 授業料の免除制度は、どんな場合においても公平に審査されるべき
- * 就職支援
- * 投稿可の雑誌一覧を
- * 就職情報など

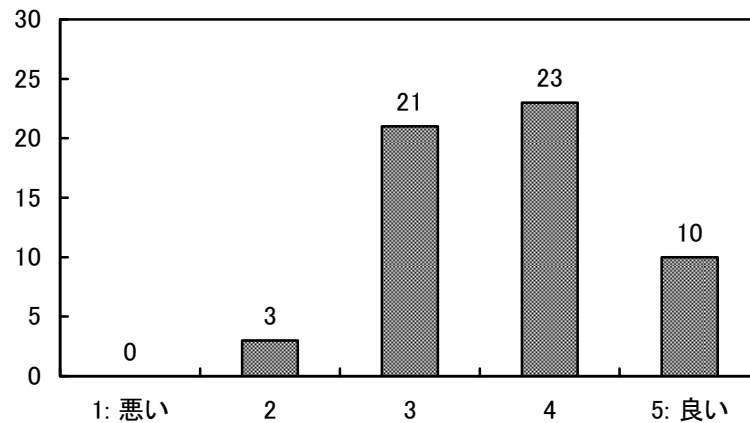
その他の意見:

- * 私の在学時にどのようなバックアップ体制がとられていたのかわかりませんので、無回答とします。
- * 学位取得後の対応が、冷たいのではないかな？

27. 次の各項目は、1から5にランクしてあります。「標準を3とし、1が最低、5が最高」です。適切と思う番号に○をつけてください。

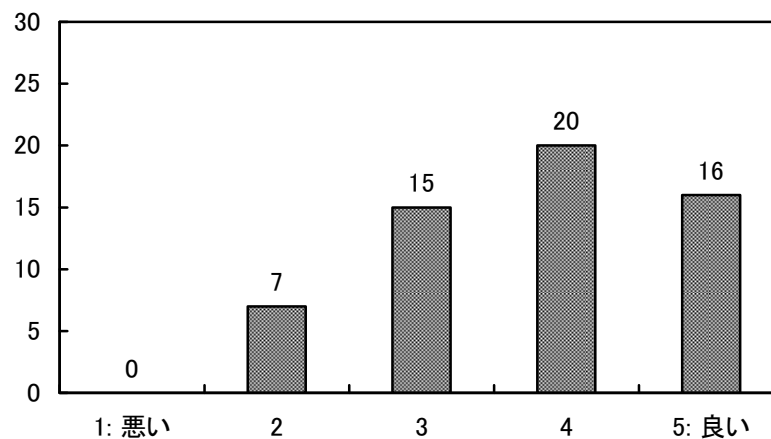
A. 連合農学研究科での学生生活はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
0	3	21	23	10
0%	5%	37%	40%	18%



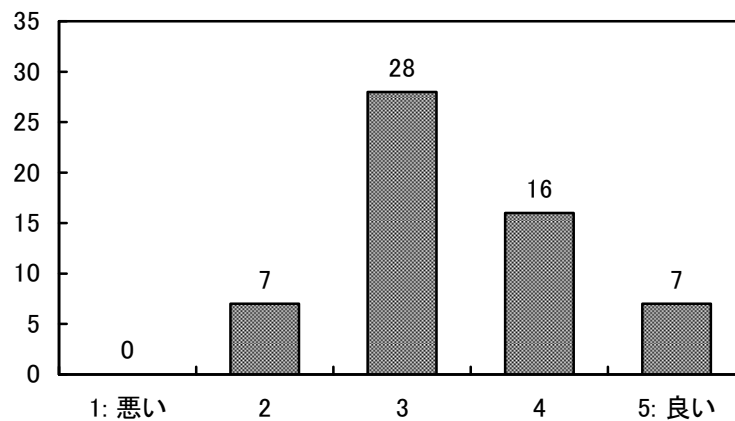
B. 指導体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
0	7	15	20	16
0%	12%	26%	34%	28%



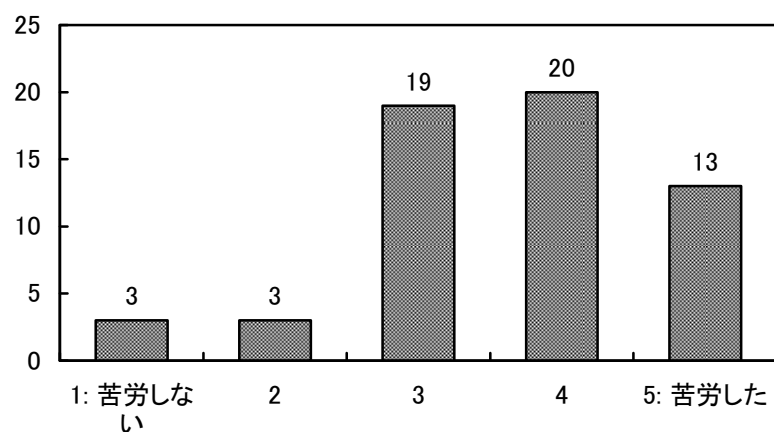
C. 事務などのサポート体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
0	7	28	16	7
0%	12%	48%	28%	12%



D. 学位を取得するのに苦労しましたか。

1: 苦労しない	2	3	4	5: 苦労した
3	3	19	20	13
5%	5%	33%	35%	22%

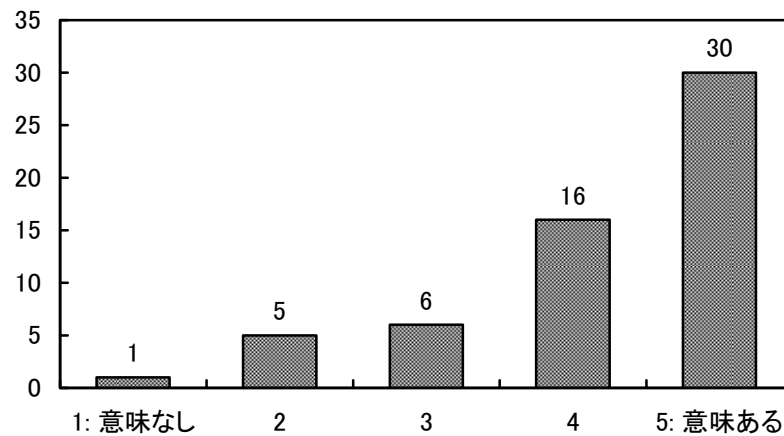


意見等:

- * 1と5、どちらが苦労した方ですか？この設問ではわかりません。とりあえず私はわりと苦労しました。

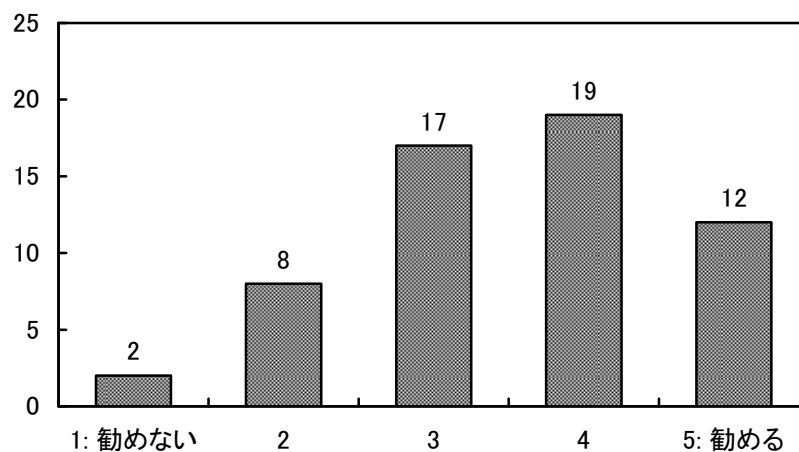
E. 学位を取得した意味はありますか。

1: 意味なし	2	3	4	5: 意味ある
1	5	6	16	30
2%	9%	10%	28%	51%



F. あなたは岐阜大学大学院連合農学研究科を後輩に勧めますか。

1: 勧めない	2	3	4	5: 勧める
2	8	17	19	12
3%	14%	29%	33%	21%



意見等：

* 自信を持って勧めます

28. その他、連合農学研究科に対する希望やご意見をお書きください。

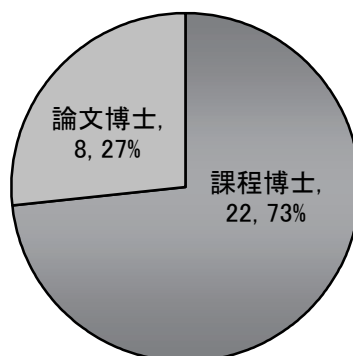
- * 信州大が離脱する形のようにですが、やはり同じ大学内の他学部と連合して大学院を構築するほうが自然のように思います。博士取得者は、なかなか企業が採用しませんが、専門分野に特化しすぎて専門馬鹿になっている、という偏見があるように思います。それに対抗するには、他学部との交流による教育がされている…という主張ができる大学院にしたらどうでしょうか？
- * 卒業してから「母校」ということを意識するようになりました。それは、やはり、きちっと育てていただいた大学への感謝、教育者(先生方)への感謝に基づくものであります。そういった思いを抱きつつ大学教員に自分もなりました。ますますの御発展を心より願っております。
- * 当時の体験では、留学生への事務的サポートが不十分で、英語コースがありながら、英語で対応できる方がいらっしやなかったです。少なくとも大学の最高機関である博士課程において、英語での対応ができる事務体制は整備する必要があるかと思います。
- * 信州大学が離脱するということですが、信州大学大学院出身者としては複雑な気持ちです。これからの組織作りも数年で枠組みが変わることのないようによく検討していただきたく存じます。
- * 留学生へのサポート体制が行き届かなければ、主指導教官や周辺の日本人学生の負担となり、そして何よりも留学生にとって負担が大きすぎる。この点が在学中、特に気になっていた。
- * 縦横のつながりが皆無なのは、連合である意味がない。
- * 無名雑誌 2 報では卑怯だ。いくらでもやれてしまう。OK な雑誌リストを作るべき。
- * 連大だけに責任はないけれども、オーバードクターの就職が解決しない限り、後輩には進学は勧められない。
- * 社会人大学院生としては大変遂行しやすい体制でした。学部、修士から進学した学生には、もう少し目標とチェック機能(PDCA)を明確にしてやらないと、最近の学生には大変かもしれません。
- * お世話になりました。学位取得はとても大変でしたが、今後は誇りを持って行動したいと思います。ありがとうございました。
- * 学位取得後のことを考えると後輩に自信を持って進めることは難しいです。岐阜大学大学院だけのことでないですが…
- * 一般ゼミナール、また共通ゼミナールにおいても静岡大学、信州大学の先生方、学生の方々と交流ができ、とても刺激になりました。外国人留学生とは国際交流も出来、よい思い出、経験となっています。連合することで、物的、人的なパワーが出来、チャンスも生じやすいと思いました。

- * 現在、学位が必要の無い職に就いていることから、このことに意見を述べるのはおこがましいですが、興味を持った分野に対して、学問的見地から考察を加え、自己の見識を深め、それにより意思表示の意味合いに奥行きを持たせることが出来るようになった、と思っております。時間に余裕があり、知的好奇心がある人間には、重要なところであると感じております。
- * 専門研究の御指導は十分だと思います。英語論文執筆、発表のテクニックなどの指導ができる専門の教員が必要である。課程博士の学生を増やすべきではない。
- * 私の在籍時には、「連合」であるメリットが全然感じられませんでした。大学間の連携がより密接であるといいのですが…。研究上の協力などは、あるのでしょうか？ 在籍中にもっと外部の研究所、大学との交流をしてみたかったです。視野も広がると思います。
- * 私は社会人学生で、日常は職場（東京）で、夏休みや土日などは信州大に行って実験棟を行っていました。大学院で学んだこと、得たことはとても多く、大学院に行って良かったと心から思っていますが、東京と長野の行き来などを考えると、後輩に勧めるのは躊躇してしまいます。
- * 社会人としての課程博士は時間の制約も多く、大変でした。関係皆様の支援うれしかったです。今後も仕事を続けながら学位が取れるシステムの充実を希望します。

修了生へのアンケート【留学生版】

1. 取得した学位

課程博士	論文博士
22	8
73%	27%

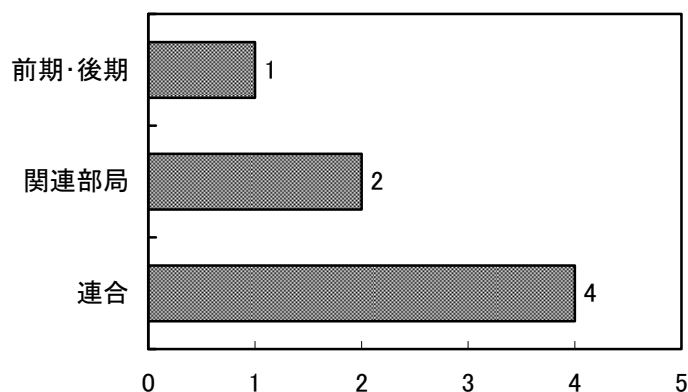


2. あなたはどのような大学院博士課程の構築を望めますか。

- ア. 学部に積み上げた形で博士前期・後期課程として大学院を構築する方法
- イ. 修士課程までは学部に積み上げ、博士課程は大学内の関連部局と一緒に構築する方法(自然科学系研究科等の独立大学院)
- ウ. 複数の大学の関連研究科が連合を組んで博士課程のみを構築する方法(本研究科該当)

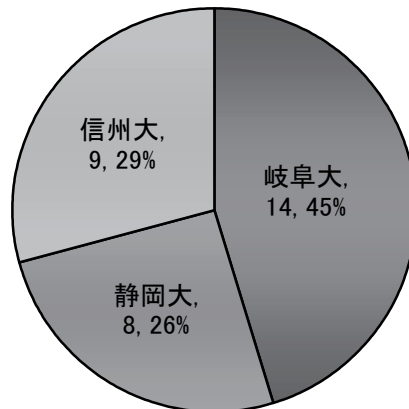
注:英語版のアンケートにはこの設問はなかったため、集計は日本語版の回答のみを使った。

前期・後期	関連部局	連合
1	2	4
14%	29%	57%



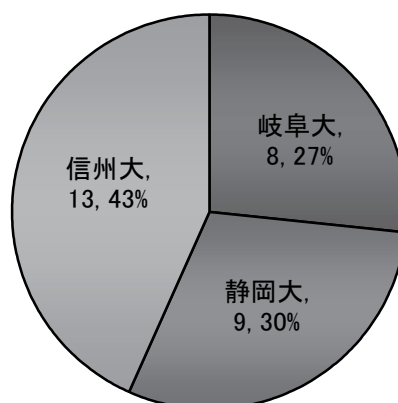
3. 配置大学名

岐阜大	静岡大	信州大
14	8	9
45%	26%	29%



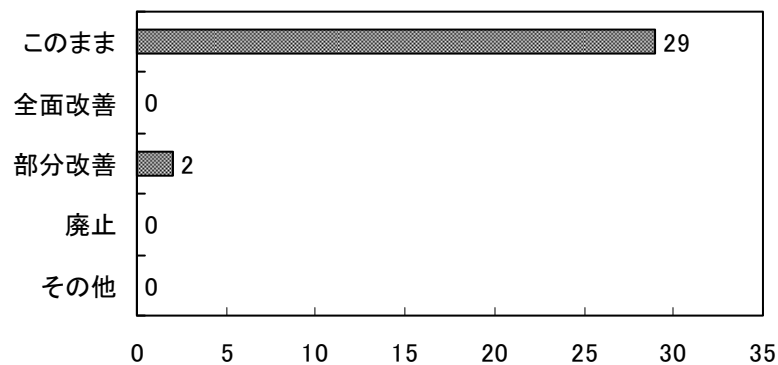
4. 第2副指導教員の配置大学

岐阜大	静岡大	信州大
8	9	13
27%	30%	43%



5. 入学試験方法について

このままでよい	全面的に改善すべき	部分的に改善すべき	廃止すべき	その他
29	0	2	0	0
94%	0%	6%	0%	0%

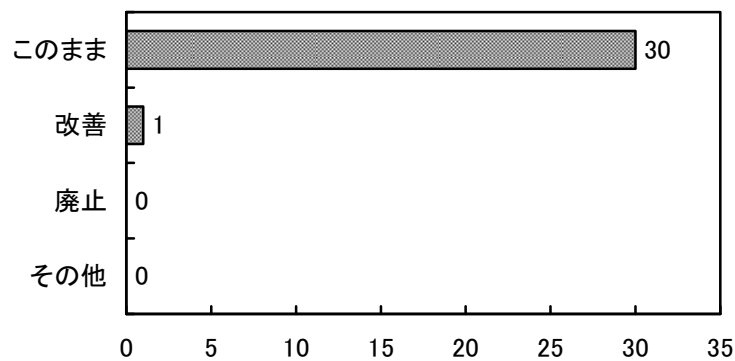


前面、部分改善、の例:

- * Should exam at the university that the applicant will stay

6. 入学試験の時期と回数について(現在は、9月と2月の2回行っております。英語特別コースは別途行っております。)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
30	1	0	0
97%	3%	0%	0%

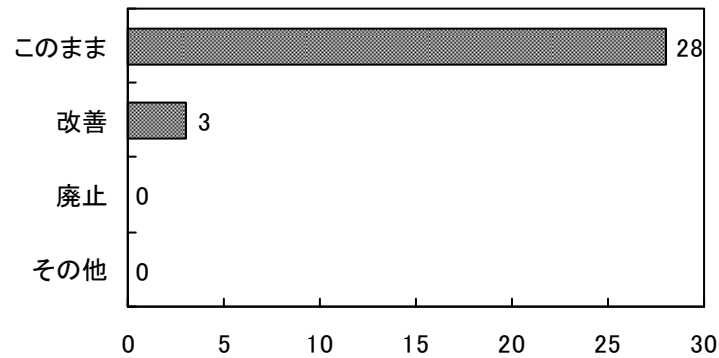


改善の例:

- * January, August

7. 入学式について(4月と10月の2回です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
28	3	0	0
92%	6%	1%	1%

改善の例:

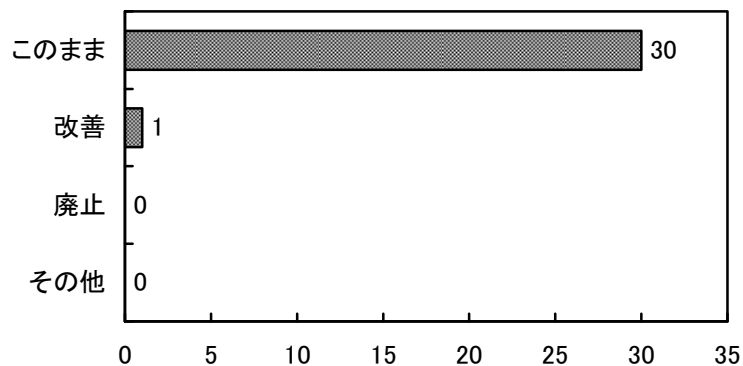
- * 4月の1回
- * 3 times a year, September, June, and March
- * September, February or March

その他の意見:

- * like Western style

8. オリエンテーションについて

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
30	1	0	0
97%	3%	0%	0%

改善の例:

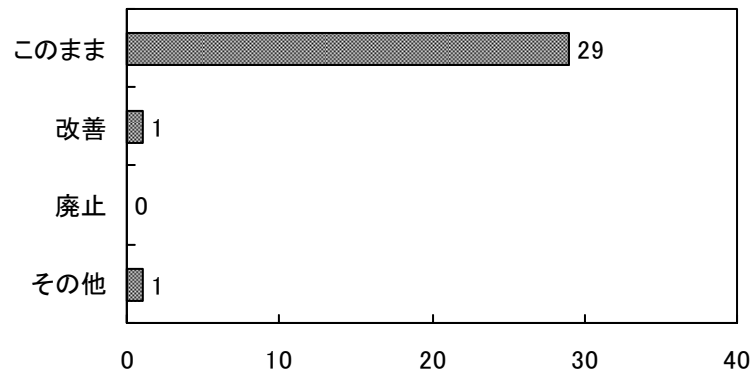
- * September, March

その他の意見:

- * but it should be more for foreign students

9. 入学時の研究計画書の書き方

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
29	1	0	1
94%	3%	0%	3%

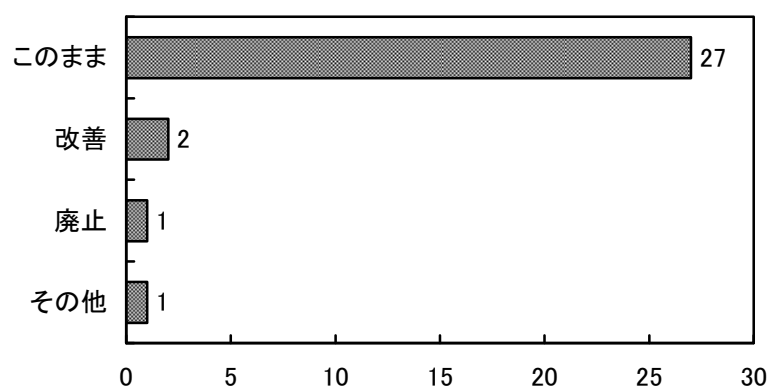


改善の例:

- * Research plan should be determined with his/her supervisor soon after the student is accepted

10. ゼミナール(一般)(合宿形式のゼミナールです)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
27	2	1	1
88%	6%	3%	3%



改善の例:

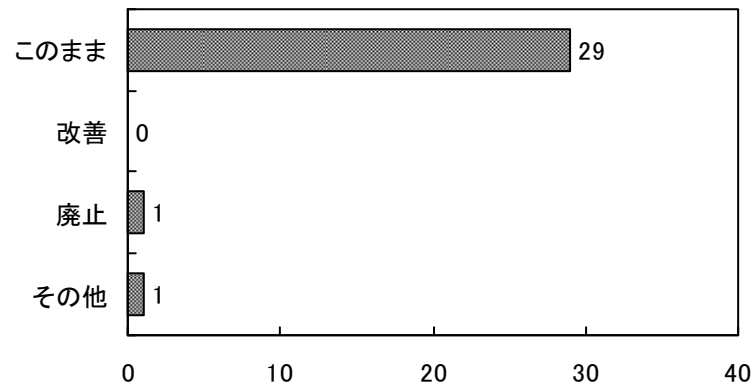
- * Better in small groups
- * 自分の専門に関連性のある集中講義が望ましい

その他の意見:

- * Should have more than one time
- * but we hope for more seminars like this

11. 共通ゼミナール(特別)(各教員が行う集中講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
29	0	1	1
94%	0%	3%	3%

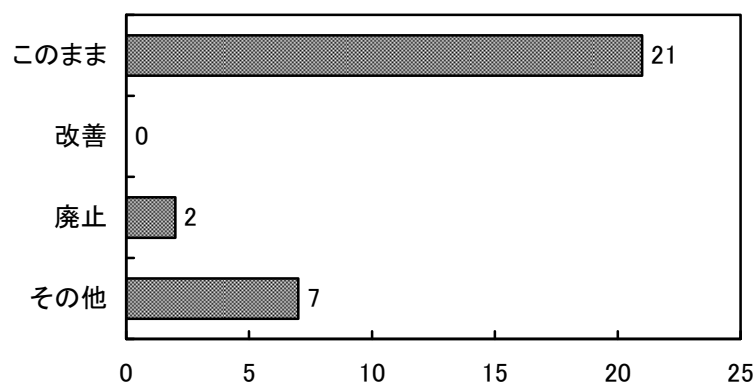


その他の意見:

- * Timing of each seminar shouldn't overlap

12. SCS連合一般ゼミナール(日本語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う日本語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
21	0	2	7
70%	0%	7%	23%

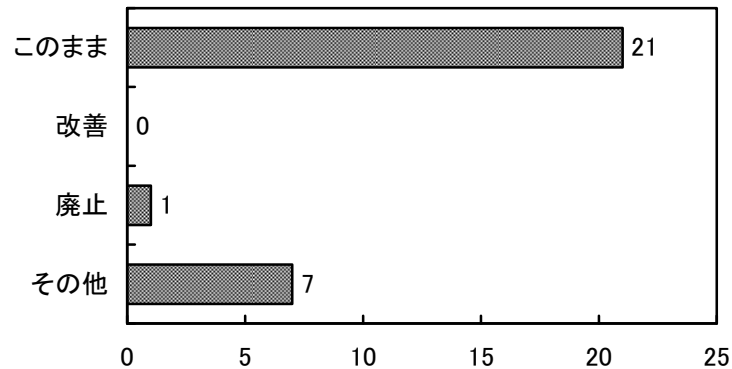


その他の意見:

- * When I was a student in Shinshu, SCS was not so interesting because it was not live seminar, and I could not ask any question to the presenter.
- * I have never used/attended the SCS seminar x4
- * Conduct more often

13. SCS連合一般ゼミナール(英語)(衛星を使って全国連合農学研究科で行う英語での講義です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
21	0	1	7
73%	0%	3%	24%

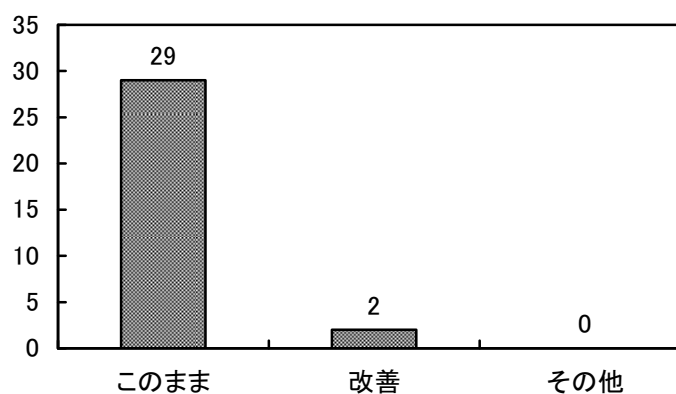


その他の意見:

- * It might be better if it was not a recorded tape as I have seen in Shinshu.
- * I have never used/attended the SCS seminar x5

14. 主指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
29	2	0
94%	6%	0%



改善の例:

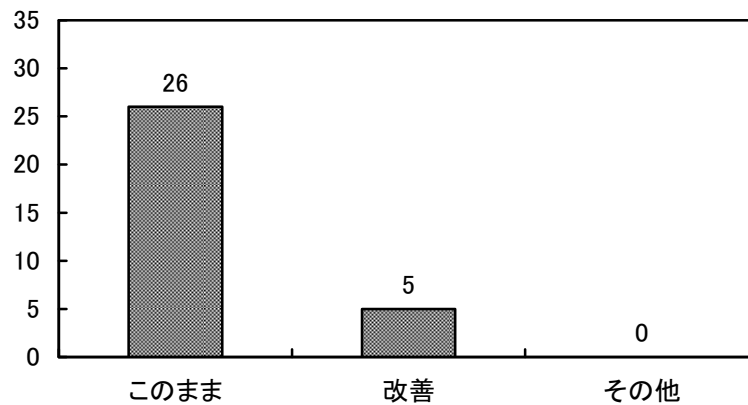
- * Require more practical approaches
- * Supervisor or professor should be more responsible for their students. E.g. course & Ph.D. thesis, research

その他の意見:

- * Very good for me

15. 第1副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
26	5	0
84%	16%	0%



改善の例:

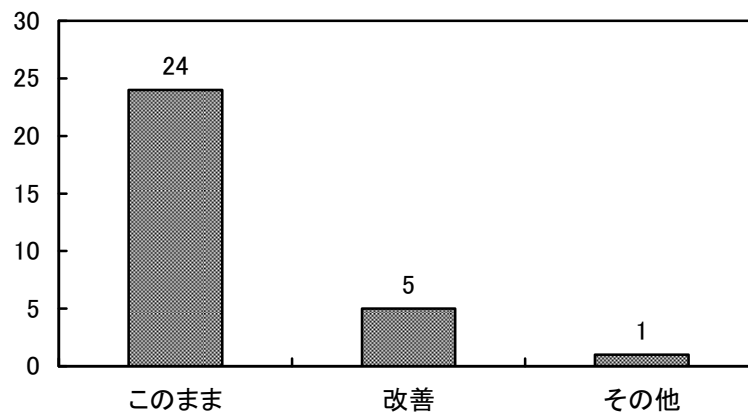
- * Individual seminars
- * More theory classes in related field
- * もっと communication すればよいと思います
- * 役割をもっとはっきりすること

その他の意見:

- * Very nice
- * Discussions about research progress should be done at least twice a year.

16. 第2副指導教員の指導方法について

このままでよい	改善すべき	その他
24	5	1
80%	17%	3%

改善の例:

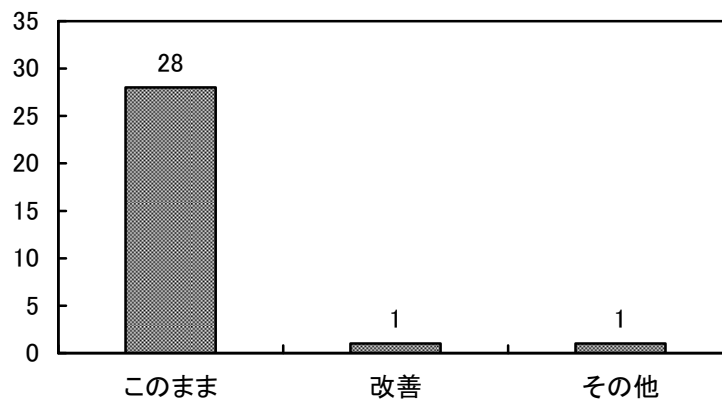
- * Individual seminars
- * Needs more interaction
- * They should have more communication between students & sub, second sub-supervisor, instead of only seeing each other in Ph.D. defense... In my case, my second sub-supervisor never gave me any suggestion in my research.
- * もっと communication すればよいと思います

その他の意見:

- * Take more active role in giving advice to the research and publication made by students
- * Discussions about research progress should be done at least twice a year.
- * Not efficient

17. 専任教員（Prof. Shinoda）の指導及び対応について

このままでよい	改善すべき	その他
28	1	1
94%	3%	3%

改善の例:

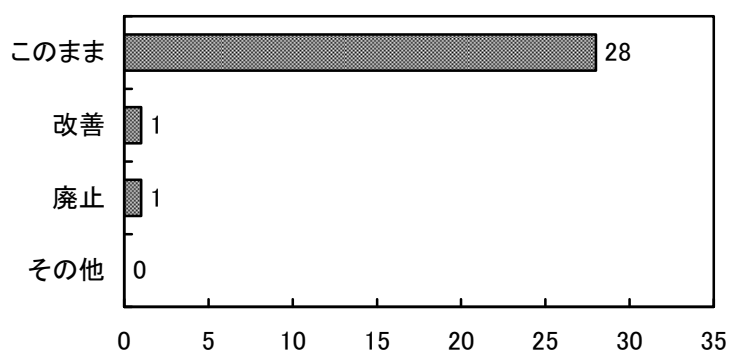
- * Communicate with the others more often

その他の意見:

- * Very very good approaches
- * Should give more information to students for example once per month
- * He was wonderful for me
- * I am impressed with his leadership. I have a dream to someday establish cooperation with Gifu University because our faculty will provide double degree with some universities in Japan to postgraduate master student
- * He is a nice teacher
- * He is a nice person & also very hard working. I appreciate his consideration very much.
- * Very good, とても優しい方だった

18. 中間発表の時期について(修了年度の夏頃に行っております)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
28	1	1	0
94%	3%	3%	0%



改善の例:

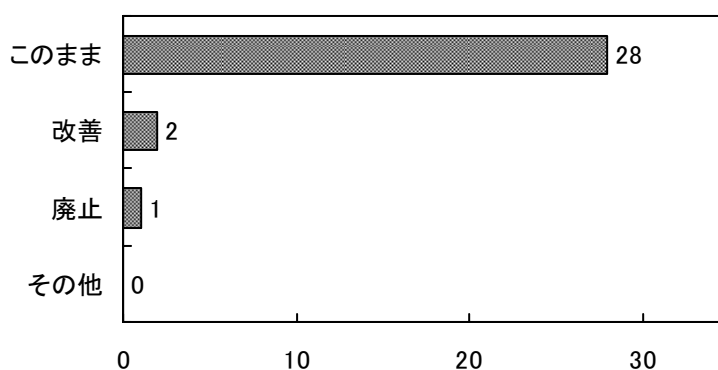
- * 1年前のほうがよい

その他の意見:

- * If possible, intermediate presentation should also be done during the summer session of the 2nd year.

19. 中間発表の方法について(レジメの提出と40分程度の発表です)

このままでよい	改善すべき	廃止すべき	その他
28	2	1	0
91%	6%	3%	0%



改善の例:

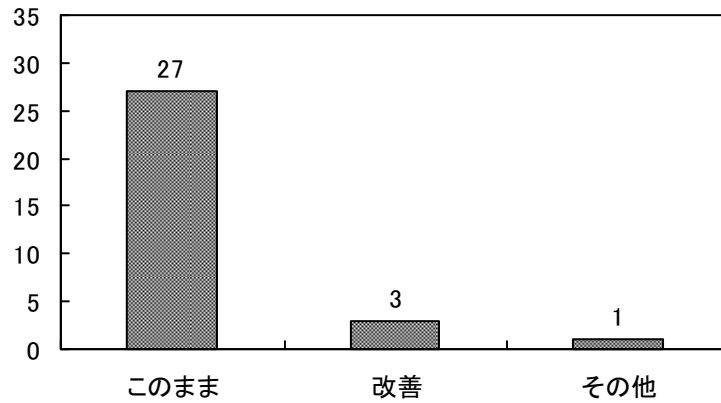
- * About 30 minute oral presentation
- * The time for oral presentation is too long

その他の意見:

- * The presentation should not be limited by time or better about 60 minutes.
- * It is very necessary for a Ph.D. program to hold this kind of presentation. I could find what I have to do next for my graduation or further research/career.

20. 学位申請時期(12月と6月が締め切りです)

このままでよい	改善すべき	その他
27	3	1
87%	10%	3%



改善の例:

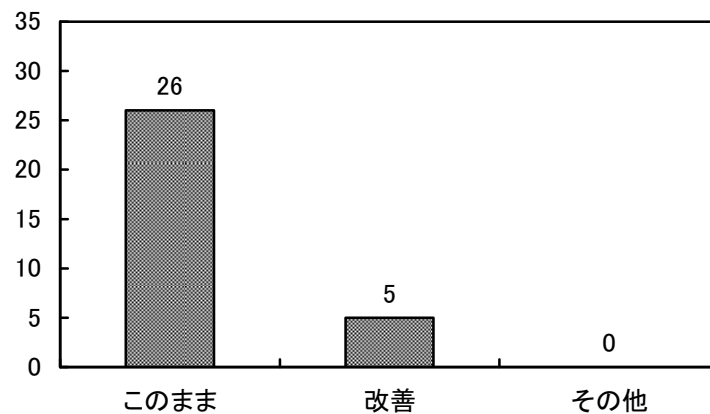
- * February, August
- * more than 3 times per year

その他の意見:

- * can submit every (very? over? any?) time

21. 学位申請条件(最低トップオーサーで国際雑誌に2報を要求しております)

このままでよい	改善すべき	その他
26	5	0
84%	16%	0%

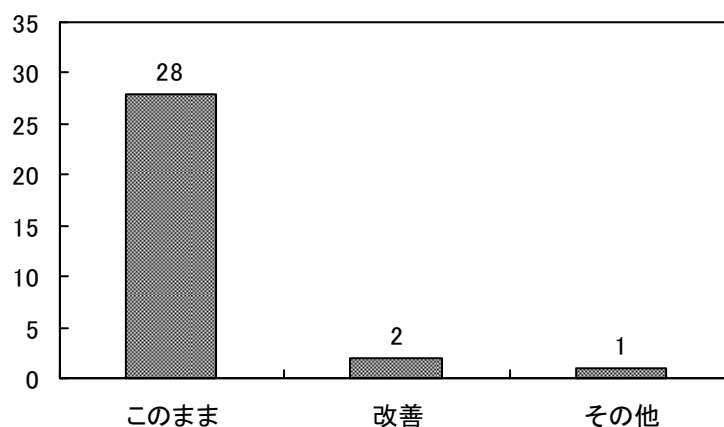


改善の例:

- * It's difficult for life science research. I think one paper (first-author) in top journal is fine. Like Gunma University for Ph.D. in medicine science or 東京大学
- * depend on the kind of thesis
- * 内容までチェック
- * 国内学術的な行事(例えば学会での発表を義務付けるなど)に参加

22. 学位記の記載事項(現在は、設置校名(岐阜大学)で発行しております)

このままでよい	改善すべき	その他
28	2	1
91%	2%	1%



改善の例:

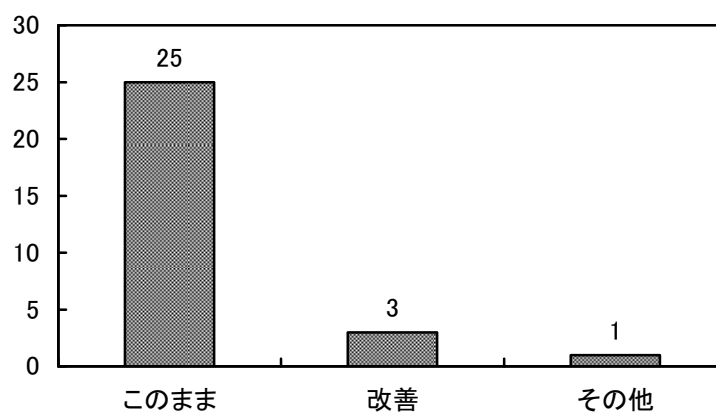
- * Should be attached with academic record of the alumnus published by the Dean of the Rendai.

その他の意見:

- * The degree should be provided in both English and Japanese versions

23. 学位記の種類について(現在は、博士(農学)です)

このままでよい	改善すべき	その他
25	3	1
87%	10%	3%



改善の例:

- * In natural science
- * The degree should not be issued in Agriculture only. It could include Life Science or Biology Science.

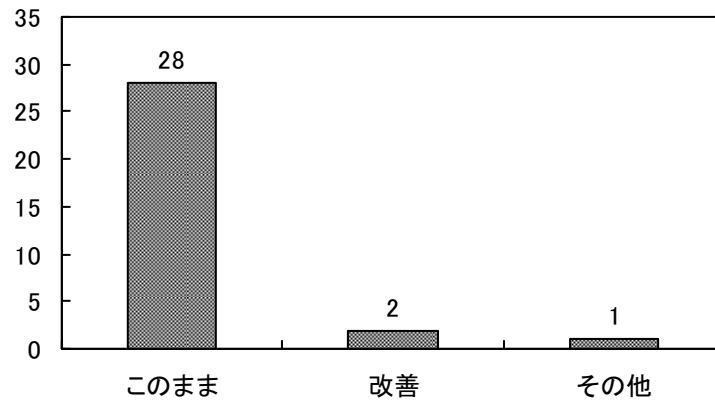
- * Too broad, be more specific: Ph.D. in Natural Science, for example.

その他の例:

- * should write in more detail

24. 学生への通知文書のありかた

このままでよい	改善すべき	その他
28	2	1
91%	6%	3%



改善の例:

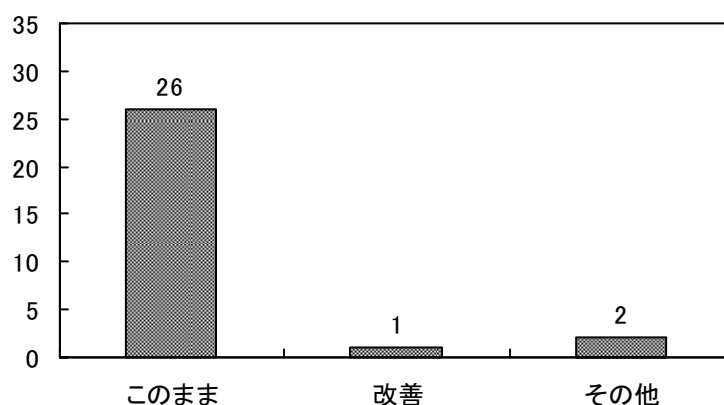
- * It is a serious problem of foreign student, we need English documents.
- * There should be someone who's in charge for submission (of official documents)

その他の意見:

- * All forms should be in English
- * Should add an English version

25. 職員の対応

このままでよい	改善すべき	その他
26	1	2
90%	3%	7%



改善の例:

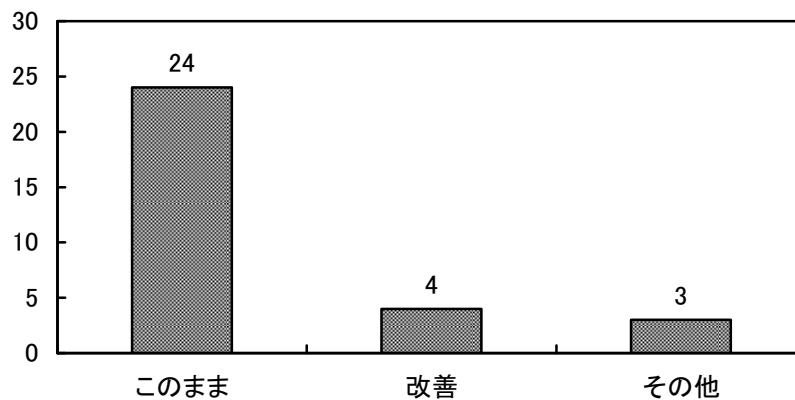
- * We should have more chances of taking courses in other campuses other than our own

その他の意見:

- * There should be an English speaker.
- * Communication and all documents should be provided in English.

26. 学生へのバックアップ体制について

このままでよい	改善すべき	その他
24	4	3
77%	13%	10%



改善の例:

- * Should have more suggestions about Japanese life.
- * Should have the special orientation for new comers at least 1 week before going back to own laboratory.
- * Because we belong to the united graduate school, we should have all campuses' support systems, lessons, lecture seminars, libraries, etc. from all three universities
- * The system should be upgraded
- * お互いの交流がない

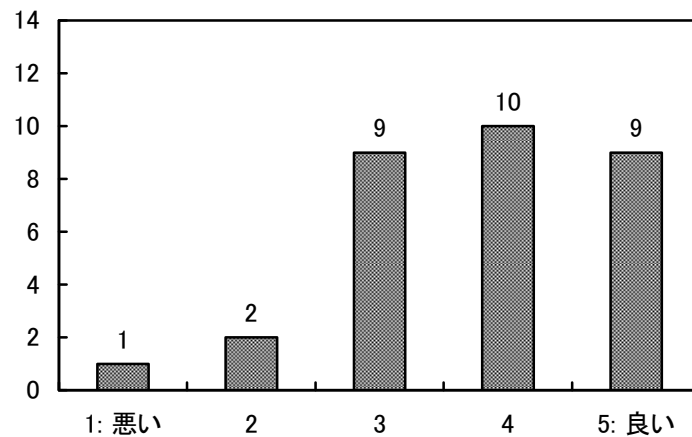
その他の意見:

- * More dormitory and scholarship
- * Should be increased via local ...

27. 次の各項目は、1から5にランクしてあります。「標準を3とし、1が最低、5が最高」です。適切と思う番号に○をつけてください。

A. 連合農学研究科での学生生活はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
1	2	9	10	9
3%	6%	29%	33%	29%

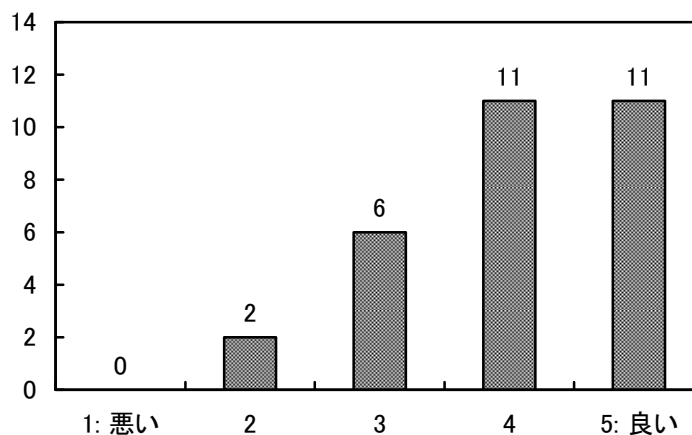


意見等:

* Shinshu is a very small campus

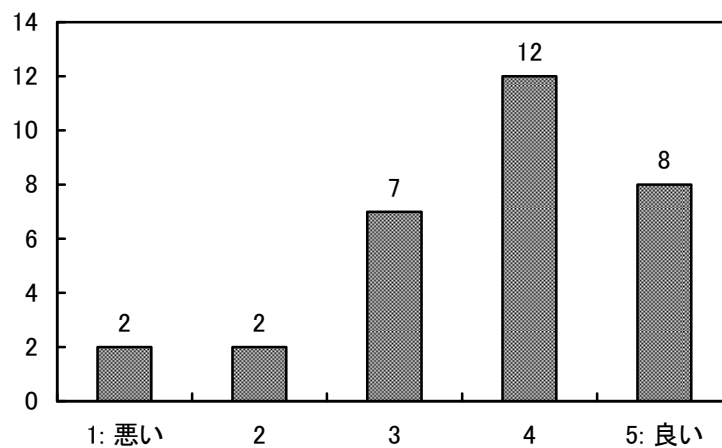
B. 指導体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
0	2	6	11	11
0%	6%	20%	37%	37%



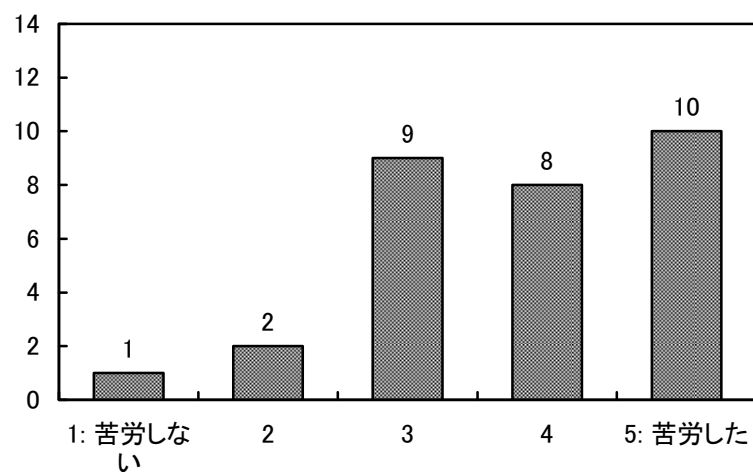
C. 事務などのサポート体制はいかがでしたか。

1: 悪い	2	3	4	5: 良い
2	2	7	12	8
6%	6%	23%	39%	26%



D. 学位を取得するのに苦労しましたか。

1: 苦労しない	2	3	4	5: 苦労した
1	2	9	8	10
3%	7%	30%	27%	33%

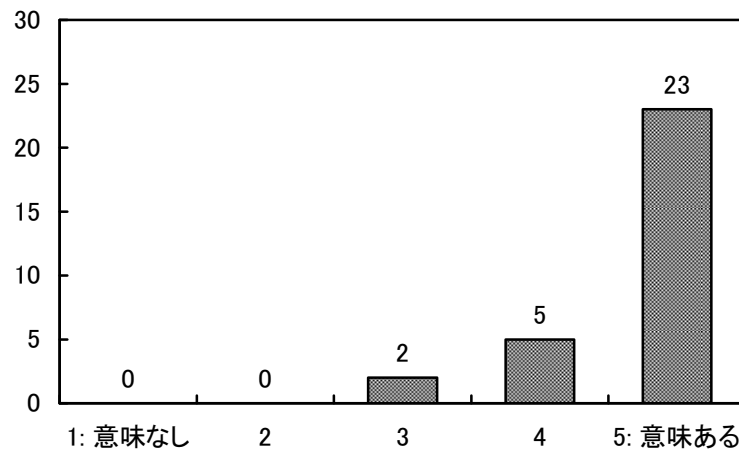


意見等:

* Yes, it was hard

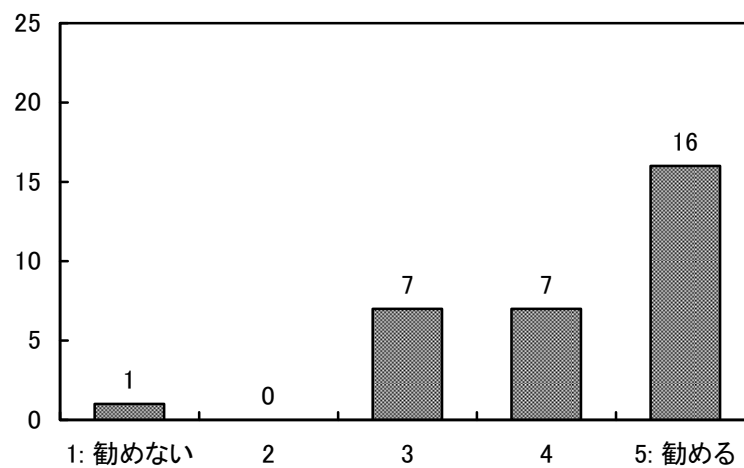
E. 学位を取得した意味はありますか。

1: 意味なし	2	3	4	5: 意味ある
0	0	2	5	23
0%	0%	7%	17%	76%



F. あなたは岐阜大学大学院連合農学研究科を後輩に勧めますか。

1: 勧めない	2	3	4	5: 勧める
1	0	7	7	16
3%	0%	23%	23%	51%



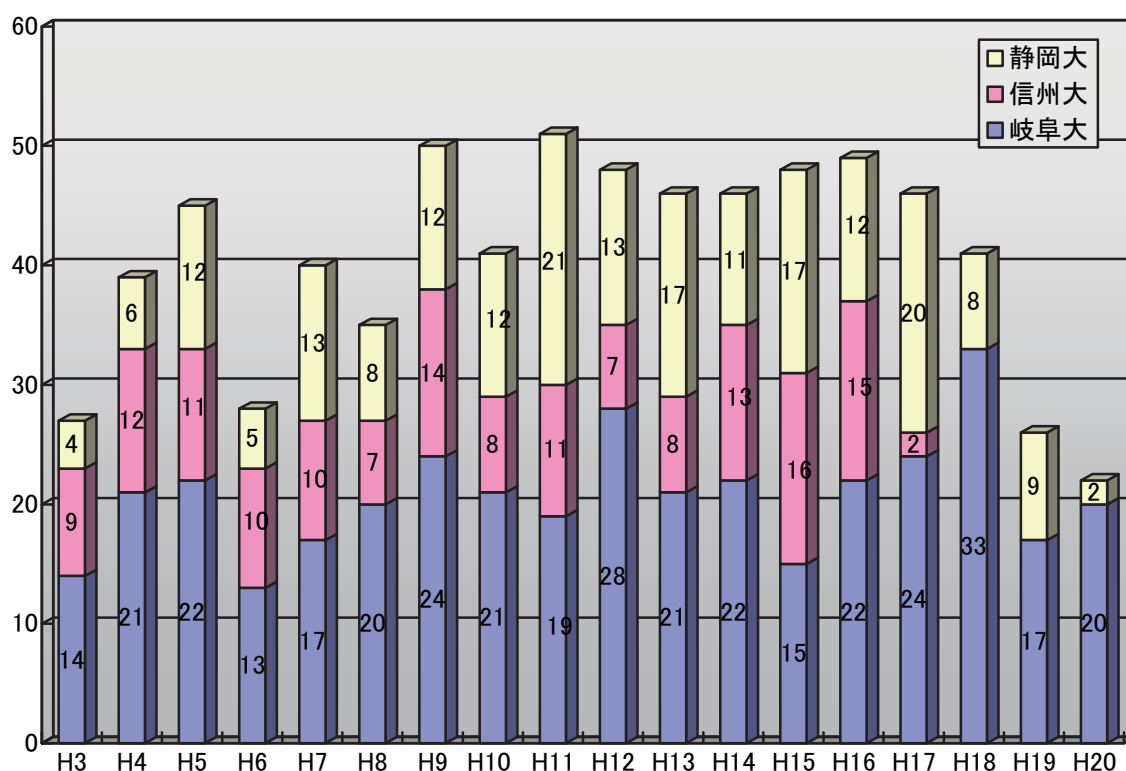
28. その他、連合農学研究科に対する希望やご意見をお書きください。

- * 1. Support system should be established for the honourable fellow of other scholarship such as World Bank. It is not well for Japan. 2. Arrangement of short visit for fellow after completion of Doctoral Programme.
- * 1. One of the weaknesses of Rendai is we have to attend courses in different cities. If the host university could provide free or cheap accommodation for students during his/her stay it would be great. 2. I would like as an alumnus to get information either by e-mail or printed paper about the current development of the university from which I graduated. 3. The university should also try to open cooperation with less developed countries like Indonesia to contribute the development of less developed universities
- * I would be happy if the Rendai would provide and send Gifu Rendai Newsletter for abroad alumni.
- * As a foreign student, I miss my life in Japan. I also thank very much to my professors & Dr. Shinoda's support & kindness. As a Rendai's graduate, I hope for a new & active Rendai coming after the reform in 2006 (independent entities). I hope one day I can go back to Rendai for research or other kind of activities.
- * My life in Shizuoka University was very fruitful, and the guidance, leadership and friendship of Dr Tsuyumu were the best thing of my life.
- * 今になって考えますとすごく幸せだったと思います。本当に不自由なくよかったね。たんぱく質工学を Prof.只左先生のもとで習って、その後プロテオミクスに変わって、すごく得したような気がする。バイオテクノロジー分野は今パストゲノムしだいですので、プロテオミクスにかかわる分野を学んで本当によかった。
- * 入試をやさしく、学位の取得を厳しくしていただきたいです。
- * 最新の知識および研究方法を了解するために、ゼミナールをもっと多く行えばよいと思います。
- * 十数年以来、岐大連農は本国のわがものだけでなく、周辺国の留学生も現代農業の高級技術人材を育成したことは日本と海外から高い評価をされました。この目標は変わらなくて続けばよいと存じます。
- * 母校の情報をもっと発信してほしいです。

入学生数、退学者数【まとめ】

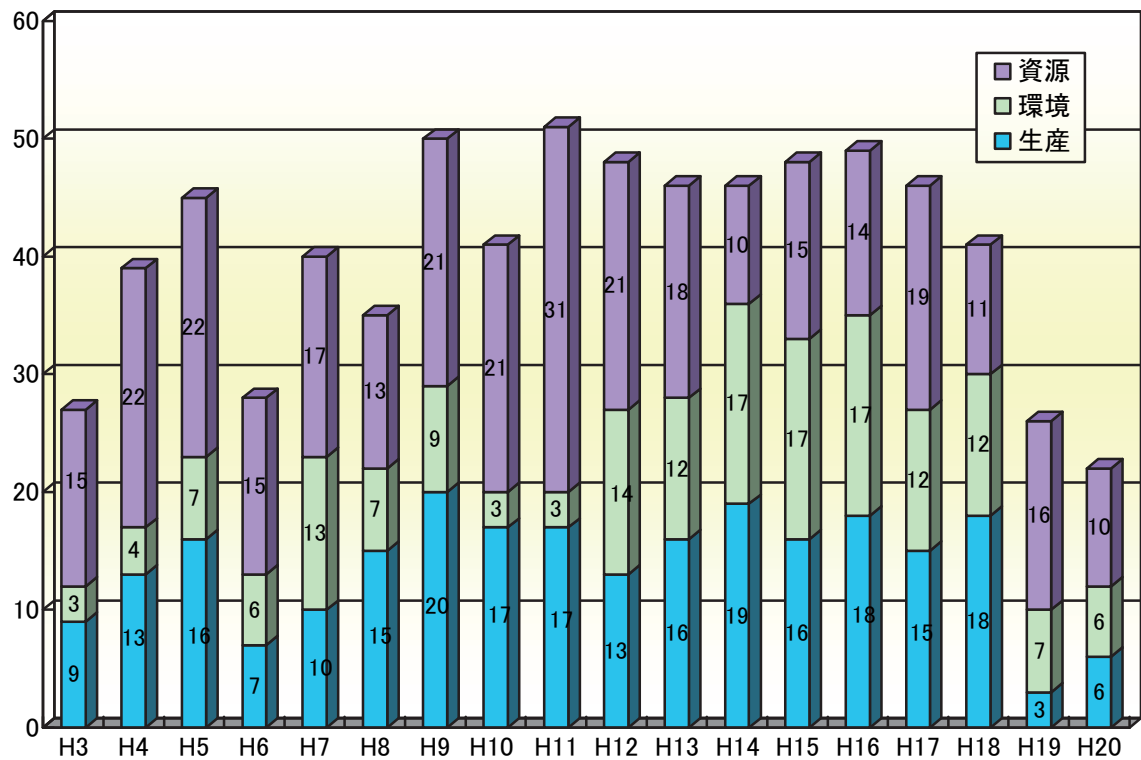
1. 入学生数 A. 大学別

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	14	21	22	13	17	20	24	21	19	28	21	22	15	22	24	33	17	20	373
信州大	9	12	11	10	10	7	14	8	11	7	8	13	16	15	2	0	0	0	153
静岡大	4	6	12	5	13	8	12	12	21	13	17	11	17	12	20	8	9	2	202
合計	27	39	45	28	40	35	50	41	51	48	46	46	48	49	46	41	26	22	728



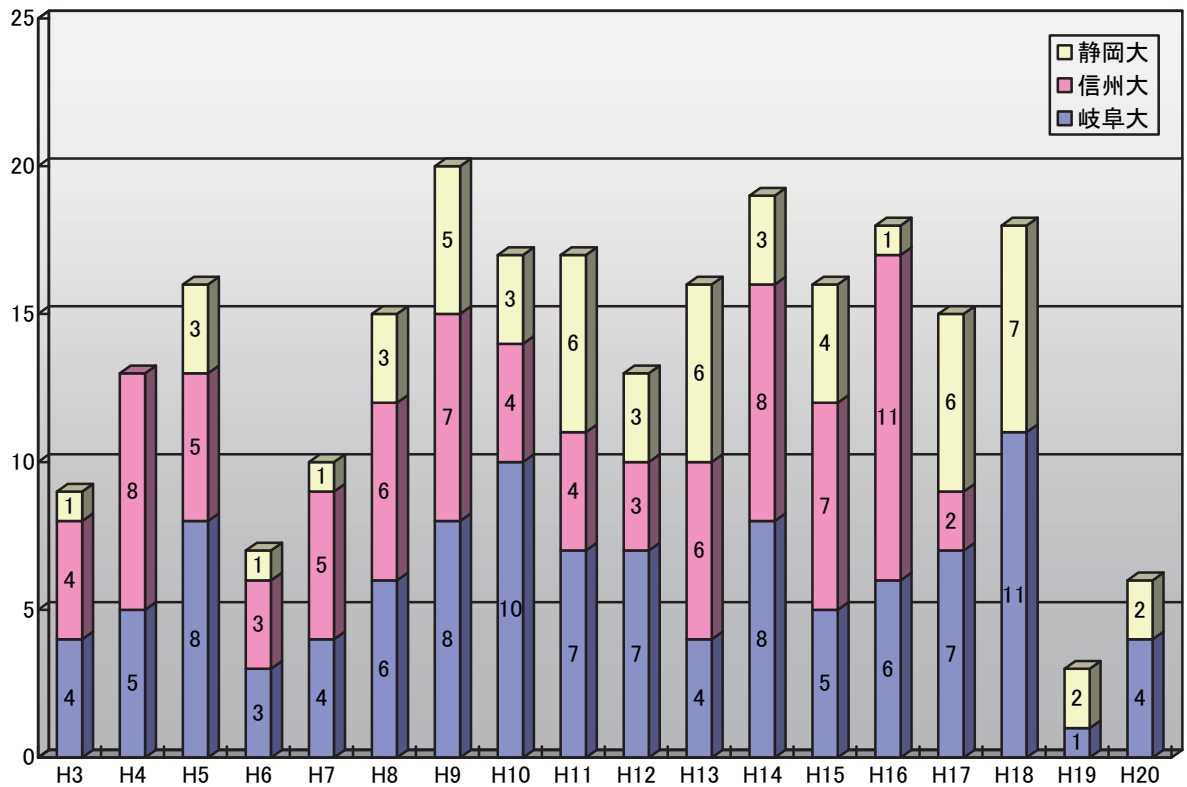
B. 専攻別

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
生産	9	13	16	7	10	15	20	17	17	13	16	19	16	18	15	18	3	6	248
環境	3	4	7	6	13	7	9	3	3	14	12	17	17	17	12	12	7	6	169
資源	15	22	22	15	17	13	21	21	31	21	18	10	15	14	19	11	16	10	311
合計	27	39	45	28	40	35	50	41	51	48	46	46	48	49	46	41	26	22	728



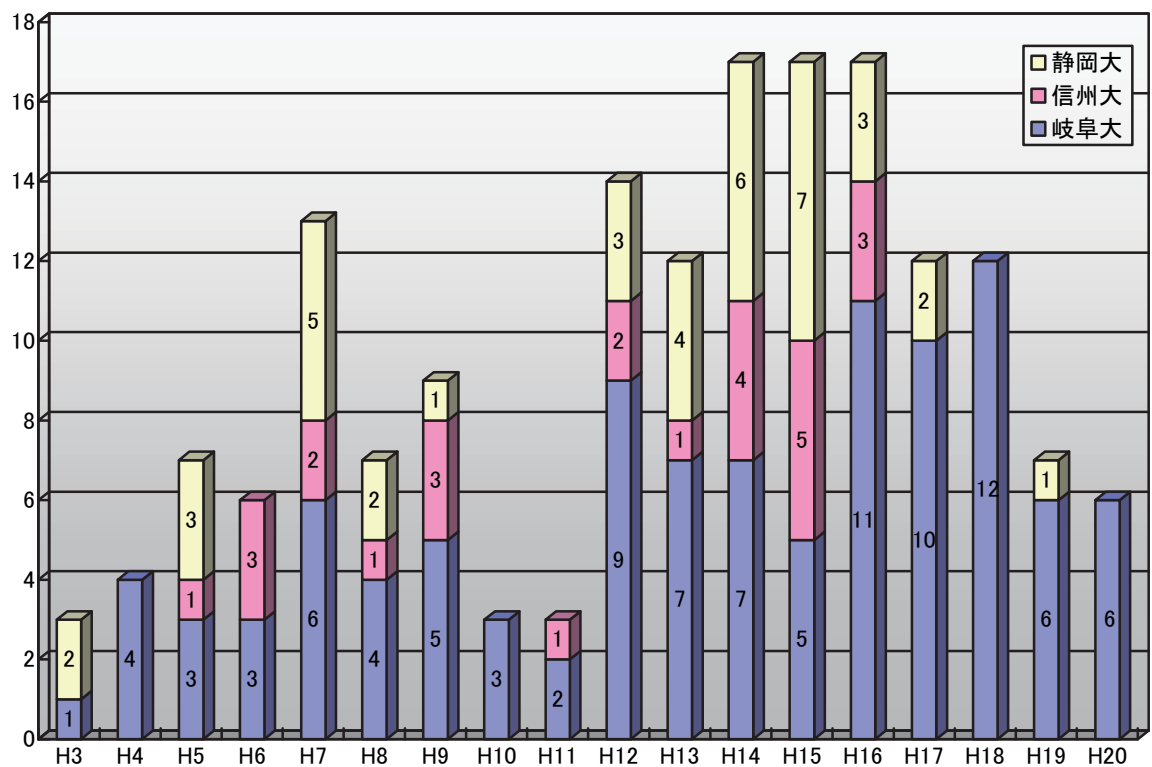
<生物生産科学>

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	4	5	8	3	4	6	8	10	7	7	4	8	5	6	7	11	1	4	108
信州大	4	8	5	3	5	6	7	4	4	3	6	8	7	11	2	0	0	0	83
静岡大	1	0	3	1	1	3	5	3	6	3	6	3	4	1	6	7	2	2	57
合計	9	13	16	7	10	15	20	17	17	13	16	19	16	18	15	18	3	6	248



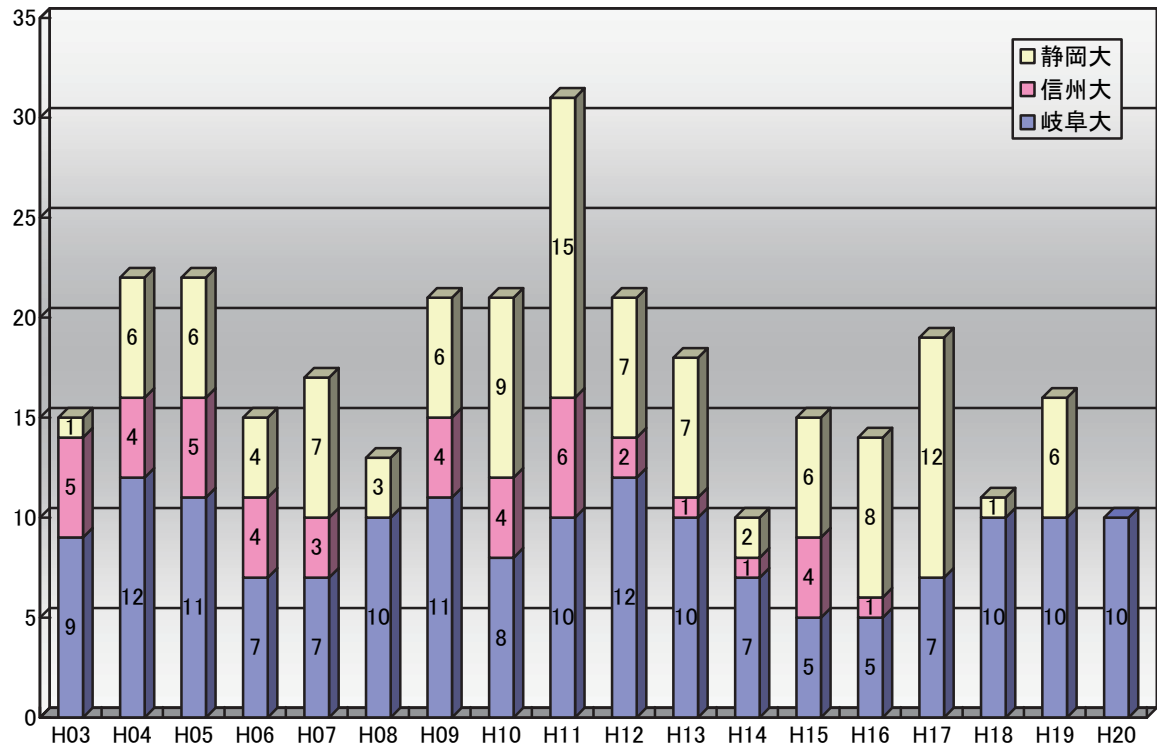
<生物環境科学>

	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	1	4	3	3	6	4	5	3	2	9	7	7	5	11	10	12	6	6	104
信州大	0	0	1	3	2	1	3	0	1	2	1	4	5	3	0	0	0	0	26
静岡大	2	0	3	0	5	2	1	0	0	3	4	6	7	3	2	0	1	0	39
合計	3	4	7	6	13	7	9	3	3	14	12	17	17	17	12	12	7	6	169



<生物資源科学>

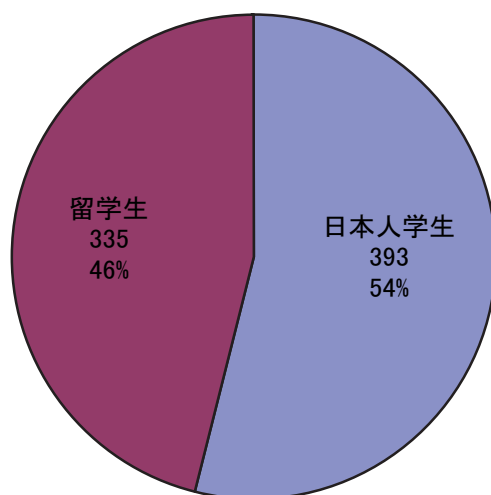
	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	9	12	11	7	7	10	11	8	10	12	10	7	5	5	7	10	10	10	161
信州大	5	4	5	4	3	0	4	4	6	2	1	1	4	1	0	0	0	0	44
静岡大	1	6	6	4	7	3	6	9	15	7	7	2	6	8	12	1	6	0	106
合計	15	22	22	15	17	13	21	21	31	21	18	10	15	14	19	11	16	10	311



C. 留学生と日本人の比率

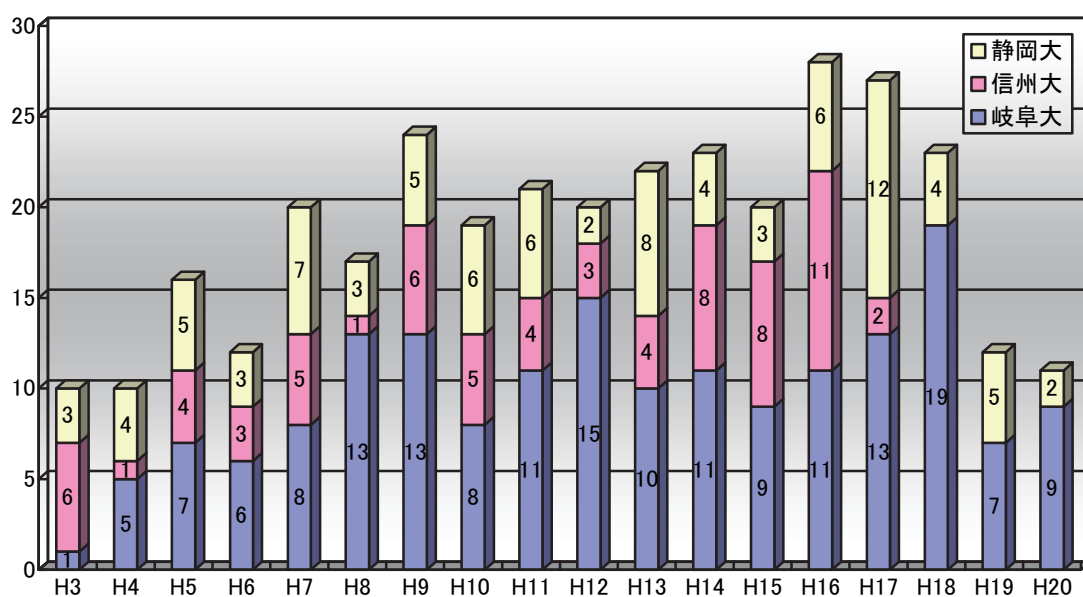
＜総入学生数＞

日本人学生	留学生	合計
393	335	728
54%	46%	100%



＜総留学生数＞

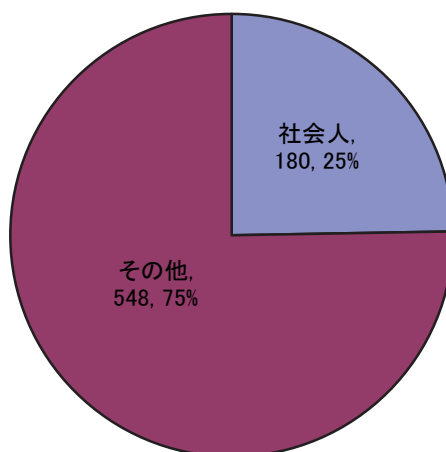
	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	1	5	7	6	8	13	13	8	11	15	10	11	9	11	13	19	7	9	176
信州大	6	1	4	3	5	1	6	5	4	3	4	8	8	11	2	0	0	0	71
静岡大	3	4	5	3	7	3	5	6	6	2	8	4	3	6	12	4	5	2	88
合計	10	10	16	12	20	17	24	19	21	20	22	23	20	28	27	23	12	11	335



D. 社会人学生とその他学生の比率

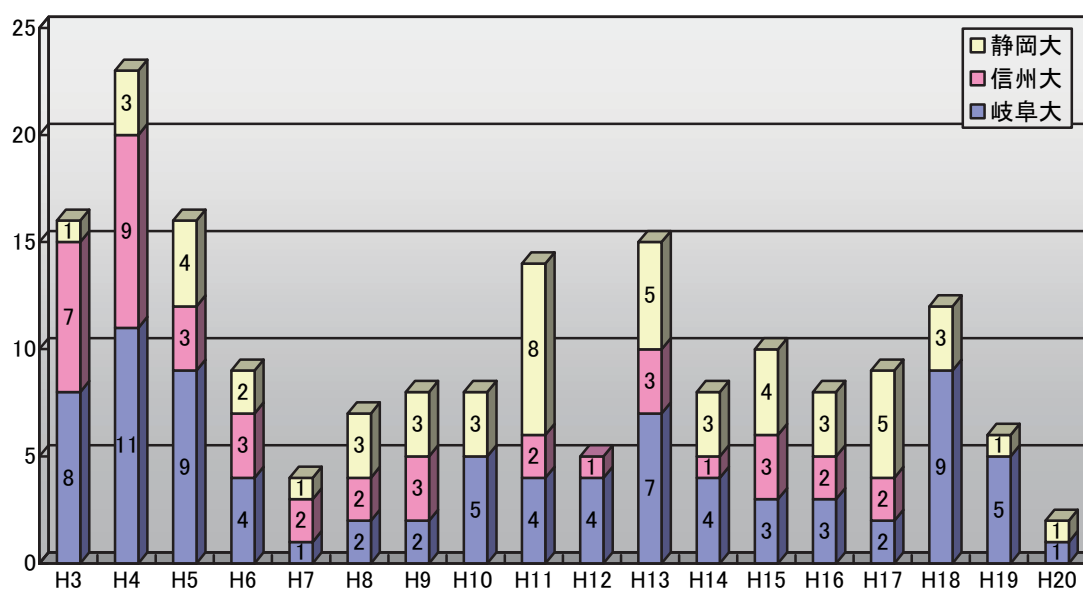
＜総入学生数＞

社会人学生	その他学生	合計
180	548	728
25%	75%	100%



＜総社会人学生数＞

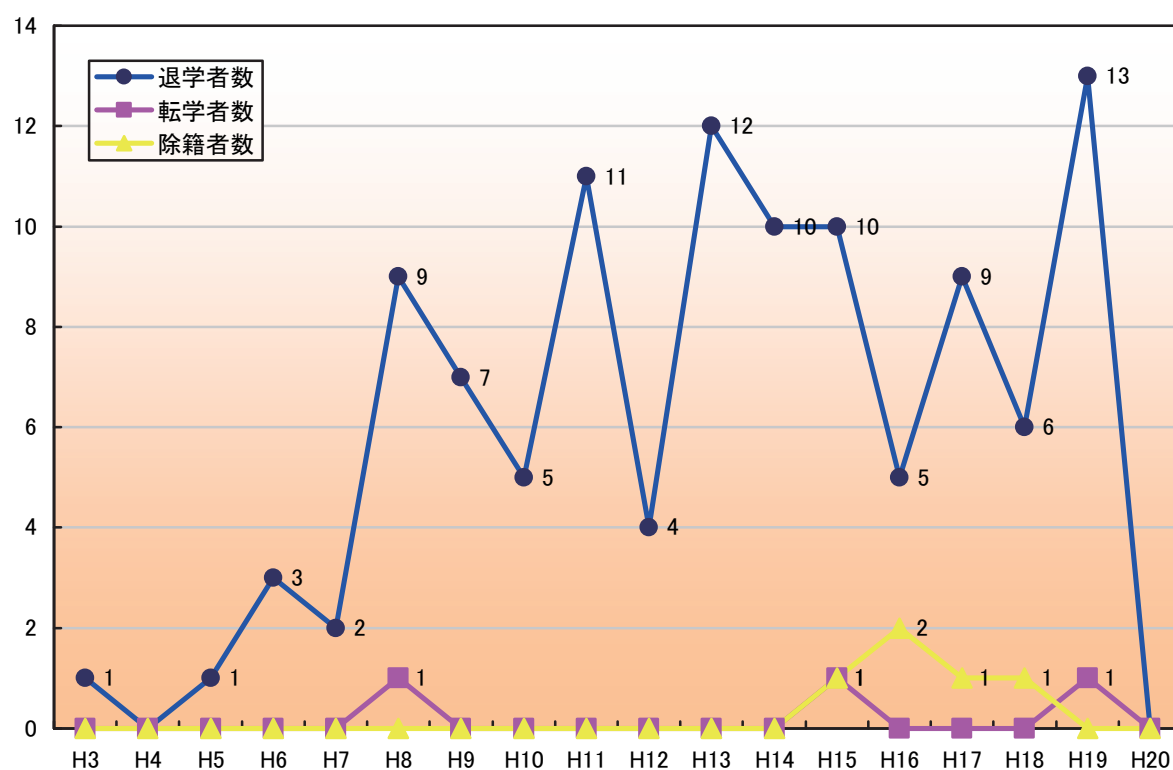
	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計
岐阜大	8	11	9	4	1	2	2	5	4	4	7	4	3	3	2	9	5	1	84
信州大	7	9	3	3	2	2	3	0	2	1	3	1	3	2	2	0	0	0	43
静岡大	1	3	4	2	1	3	3	3	8	0	5	3	4	3	5	3	1	1	53
合計	16	23	16	9	4	7	8	8	14	5	15	8	10	8	9	12	6	2	180



2. 退学者数

A. 退学者数の傾向（退学年度別）

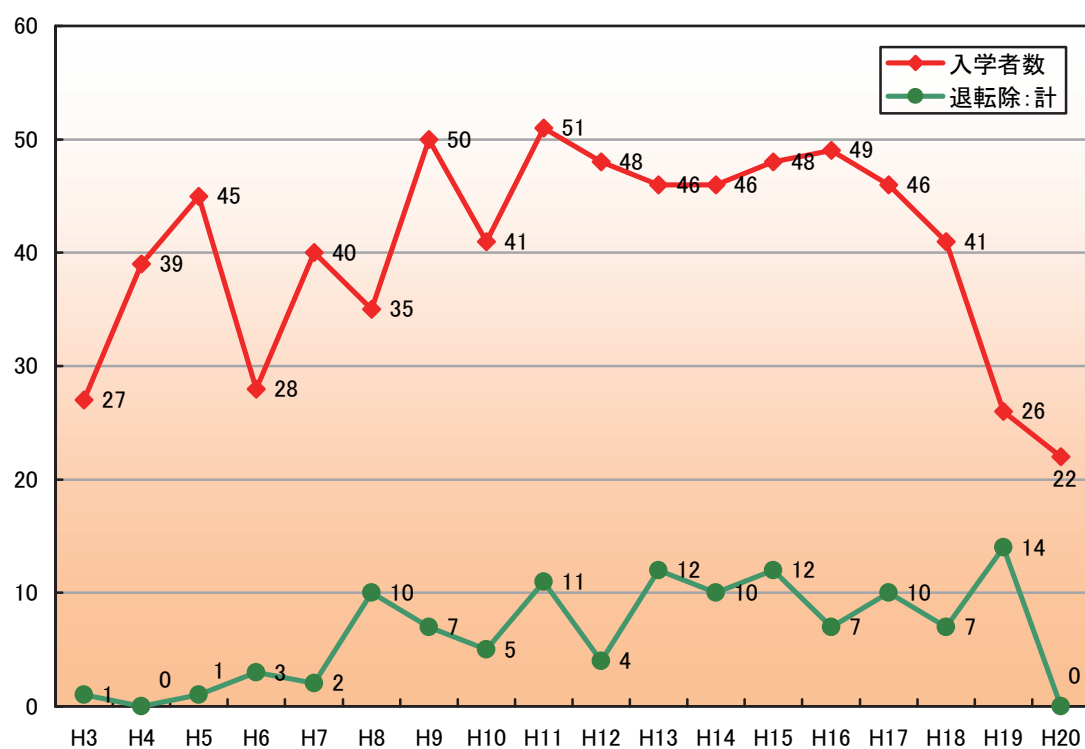
退学年度	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	計
退学者数	1	0	1	3	2	9	7	5	11	4	12	10	10	5	9	6	13	0	108
転学者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
除籍者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
合計	1	0	1	3	2	10	7	5	11	4	12	10	12	7	10	7	14	0	116



B. 退学者と入学生の比率

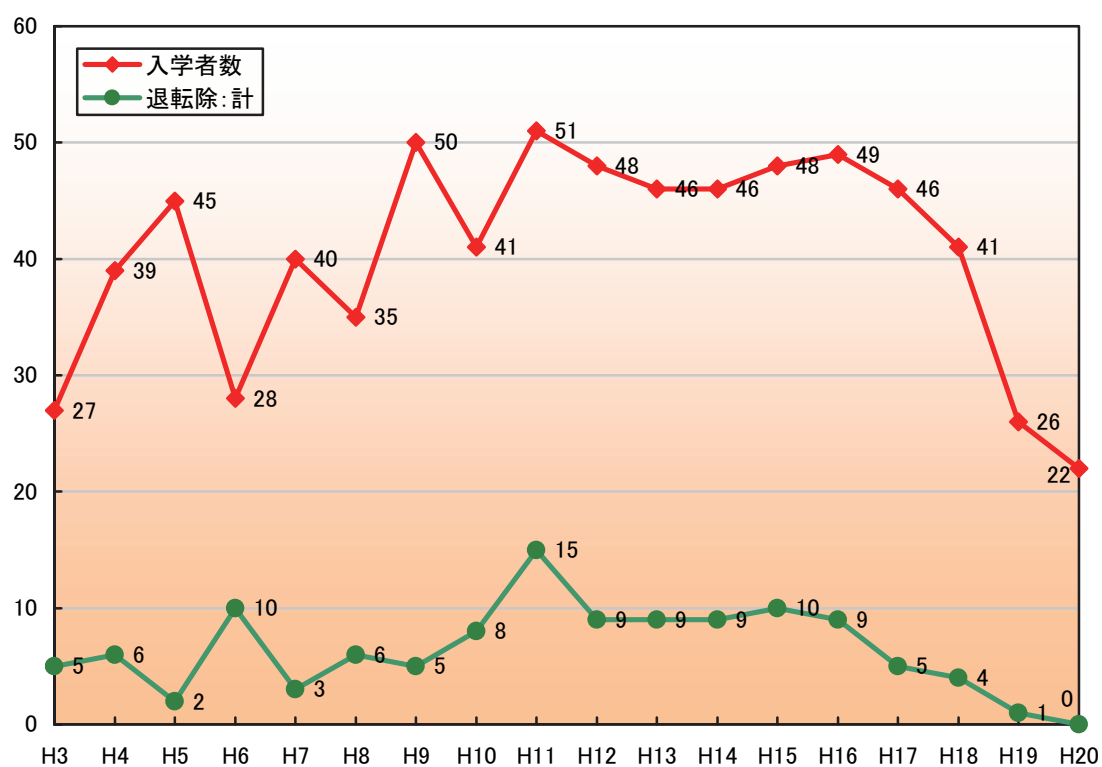
＜退学年度別＞

退学年度別	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	計
入学者数	27	39	45	28	40	35	50	41	51	48	46	46	48	49	46	41	26	22	728
退学者数	1	0	1	3	2	9	7	5	11	4	12	10	10	5	9	6	13	0	108
転学者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
除籍者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	5
退転除:計	1	0	1	3	2	10	7	5	11	4	12	10	12	7	10	7	14	0	116
比率	4%	0	2%	11%	5%	6%	14%	12%	22%	8%	26%	22%	25%	14%	22%	17%	54%	0	16%



<入学年度別>

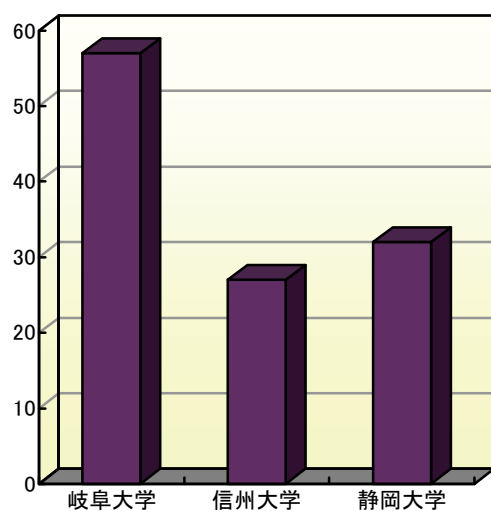
入学年度別	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	計
入学者数	27	39	45	28	40	35	50	41	51	48	46	46	48	49	46	41	26	22	728
退学者数	5	6	2	10	3	5	5	8	14	9	9	8	8	7	4	4	1	0	108
転学者数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
除籍者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	5
退転除:計	5	6	2	10	3	6	5	8	15	9	9	9	10	9	5	4	1	0	116
比率	17%	15%	4%	36%	7.5%	17%	10%	20%	29%	19%	20%	20%	21%	18%	11%	10%	4%	0	16%



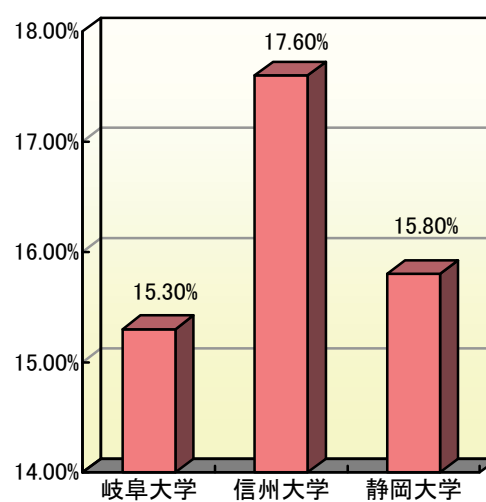
C. 大学別

	岐阜大学	信州大学	静岡大学	合計
総入学生	373	153	202	728
退学者	53	24	31	108
転学者	2	1	0	3
除籍者	2	2	1	5
合計	57	27	32	116
比率	15.3%	17.6%	15.8%	15.9%

大学別退学者数

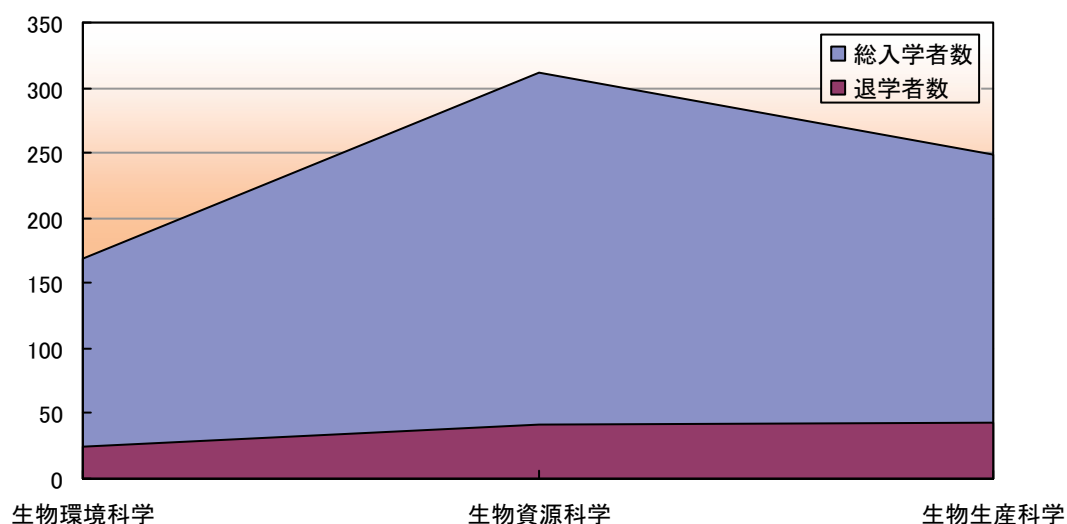


大学別退学者数 比率



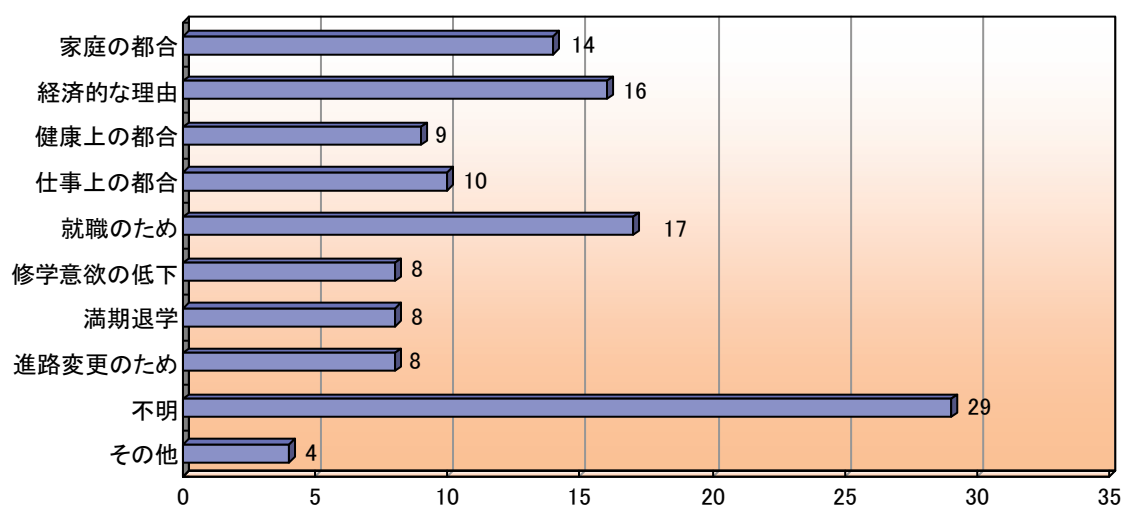
D. 専攻別

	生物環境科学	生物資源科学	生物生産科学
総入学者数	169	311	248
退学者数	24	41	43
比率	14.2%	13.2%	17.3%



E. 退学理由別

家庭の都合	経済的な理由	健康上の都合	仕事上の都合	就職のため	修学意欲の低下	満期退学	進路変更のため	不明	その他
14	16	9	10	17	8	8	8	29	4
11%	13%	7%	8%	14%	7%	7%	7%	23%	3%

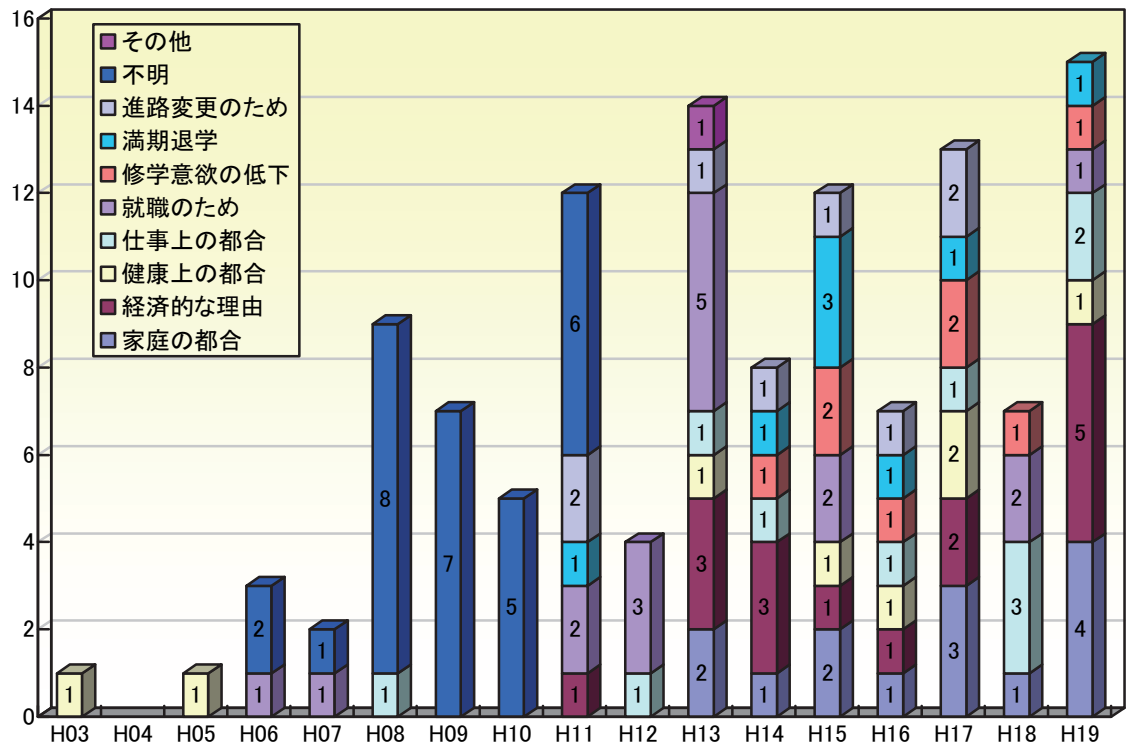


※理由が「不明」な分は、元のデータの消失のため、「不明」とした。

※複数の理由があるため、総退学者数の数値とは合致しない。

F. 退学年度、理由別

	H03	H04	H05	H06	H07	H08	H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
家庭の都合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	1	3	1	4
経済的な理由	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	1	1	2	0	5
健康上の都合	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1
仕事上の都合	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	3	2
就職のため	0	0	0	1	1	0	0	0	2	3	5	0	2	0	0	2	1
修学意欲の低下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	2	1	1
満期退学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	1	0	1
進路変更のため	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	2	0	0
不明	0	0	0	2	1	8	7	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	1	3	2	9	7	5	12	4	14	8	12	7	13	7	15

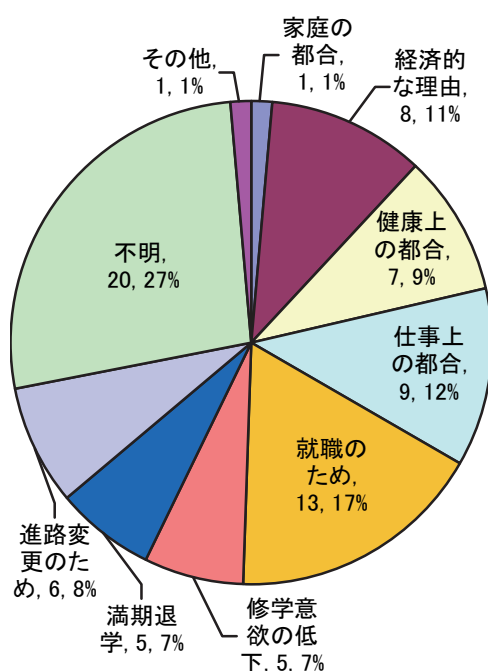


※理由が「不明」な分は、元のデータの消失のため、「不明」とした。

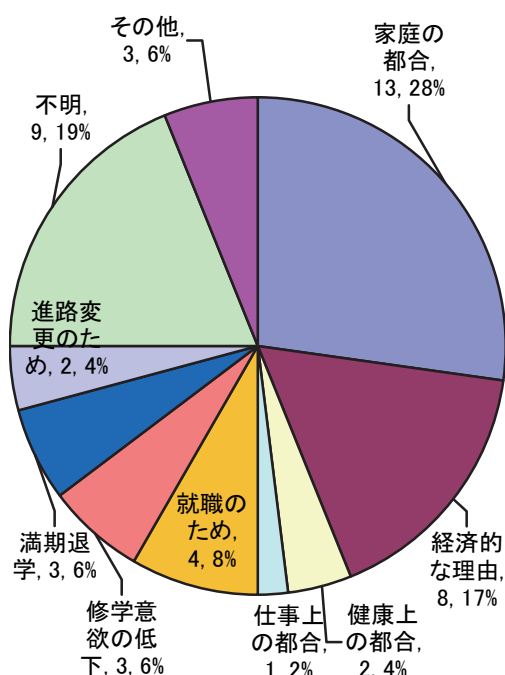
G. 留学生と日本人の比率

	家庭の都合	経済的な理由	健康上の都合	仕事上の都合	就職のため	修学意欲の低下	満期退学	進路変更のため	不明	その他
日本人学生	1	8	7	9	13	5	5	6	20	1
留学生	13	8	2	1	4	3	3	2	9	3

日本人学生:理由別



留学生:理由別



※理由が「不明」な分は、元のデータの消失のため、「不明」とした。

日本人学生の理由の例:

<健康上>

- * 将来への不安によりうつ状態に陥り、進路変更のためアパレル関連の専門学校への入学を決定。
- * 病気のため x2
- * 精神的ストレス、経済的余裕低減、研究継続意志もなくなったため
- * 妊娠に伴う体調の変化により、仕事と実験の両立が不可能になったため。
- * 長期入院、治療が必要となり、学業継続が困難。
- * 病気のため

留学生の理由の例:

<家庭の都合>

- * 父親の病の看護のため、母国オーストラリアに帰国。
- * 「本国の家庭内問題により日本で安心して勉学できる状況ではなく、帰国して早急に職を探さなければならぬ」ため。
- * 両親の介護、母国スリランカにて学習支援ボランティア活動に専念するため。

(次ページへ続く)

- * 家族の不幸があり、本国バングラディッシュへ一時帰国、しかし帰国のための予想外の出費、生活費、学費の工面ができない状況に陥った。夫との別居生活で精神的な安定の観点からも、本国へ帰国することになったため。
- * 家族の幸せのため。
- * 育児のため。
- * 両親の病気により、家庭を支えなければならないため。
- * 家族で本国に帰国するため。
- * 育児のため、勉強の時間がなくなり、経済的にも余裕がなくなった。
- * 子育て、家事専念。
- * 高齢の両親の介護。

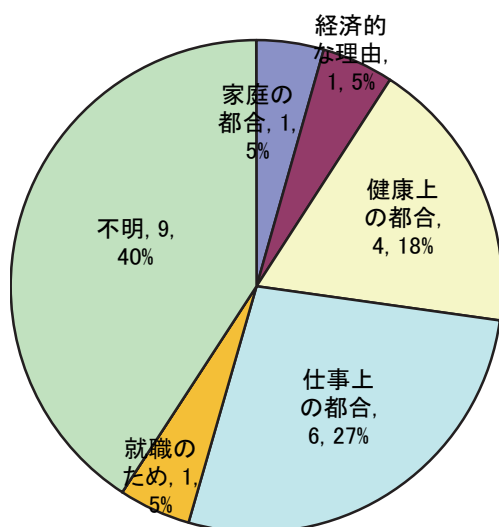
<経済的な理由>

- * 経済状況の悪化、体調不良。
- * 経済的な理由により、学業の継続が困難になったため。X2
- * 経済的な理由に加え、「自身の性格と、研究活動という仕事の間に違和感があるため」(本人記述)、また、「事実上失踪したり、誰からの連絡も拒否し続けた態度は、(中略)博士学位を目指す人物としては不適切と判断し、退学が望ましい」(主指導教官記述)ため。
- * アルバイトのみで生活費と学費をまかなうため、アルバイトと学業の両立が極めて困難となったため。進路変更を模索中。
- * 事業の倒産のため、学業との両立が困難。
- * 生活が苦しく学業を続けることが難しくなったため。論文博士を目指す。
- * 経済的な理由により、勉学に集中できなくなったため。

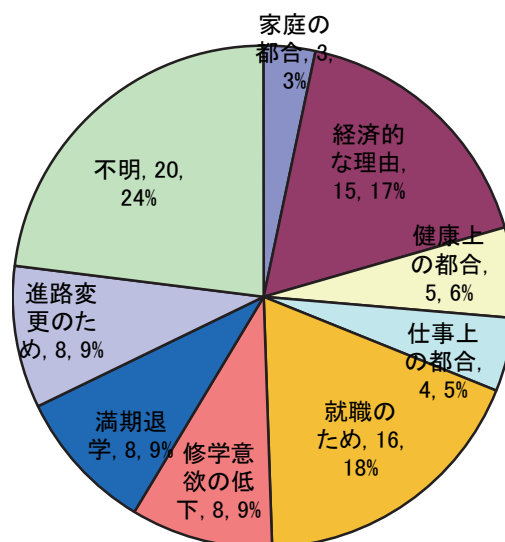
H. 社会人学生とその他学生の比率

	家庭の都合	経済的な理由	健康上の都合	仕事上の都合	就職のため	修学意欲の低下	満期退学	進路変更のため	不明	その他
社会人学生	1	1	4	6	1	0	0	0	9	1
その他学生	3	15	5	4	16	8	8	8	20	3

社会人学生：理由別



その他学生：理由別



※理由が「不明」な分は、元のデータの消失のため、「不明」とした。

社会人学生の理由の例：

<仕事上の都合>

- * 就職先の仕事で転勤、および忙しかったため。
- * 長期出張のため。
- * 公務多忙のため、研究の時間がない。研究サイトがアフリカのため、十分な追跡調査ができない。仕事と平行して研究活動をする。
- * 勤務先の仕事(研究)が忙しくなり、学業との両立が困難になったため。
- * 勤務先での転属のため、研究継続が困難になったため。

<健康上の理由>

- * 腎臓の不調が見つかり加療を続けていたが、回復の目途が立たないとの診断のため。
- * 妊娠に伴う体調の変化により、仕事と実験の両立が不可能になったため。
- * 長期入院、治療が必要となり、学業継続が困難。
- * 病気のため。